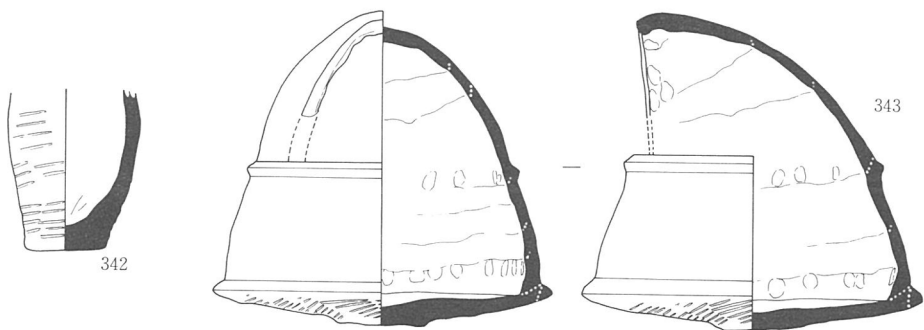
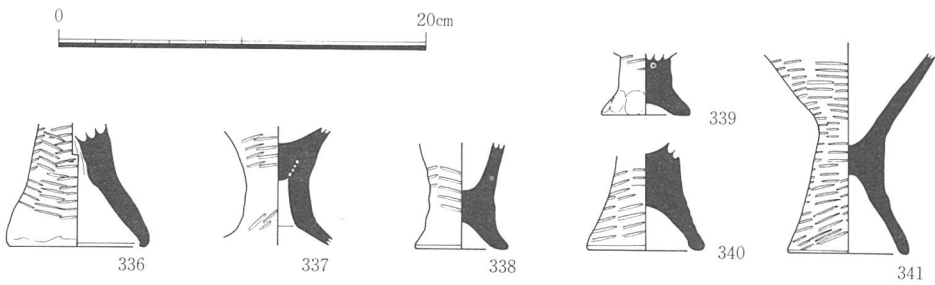
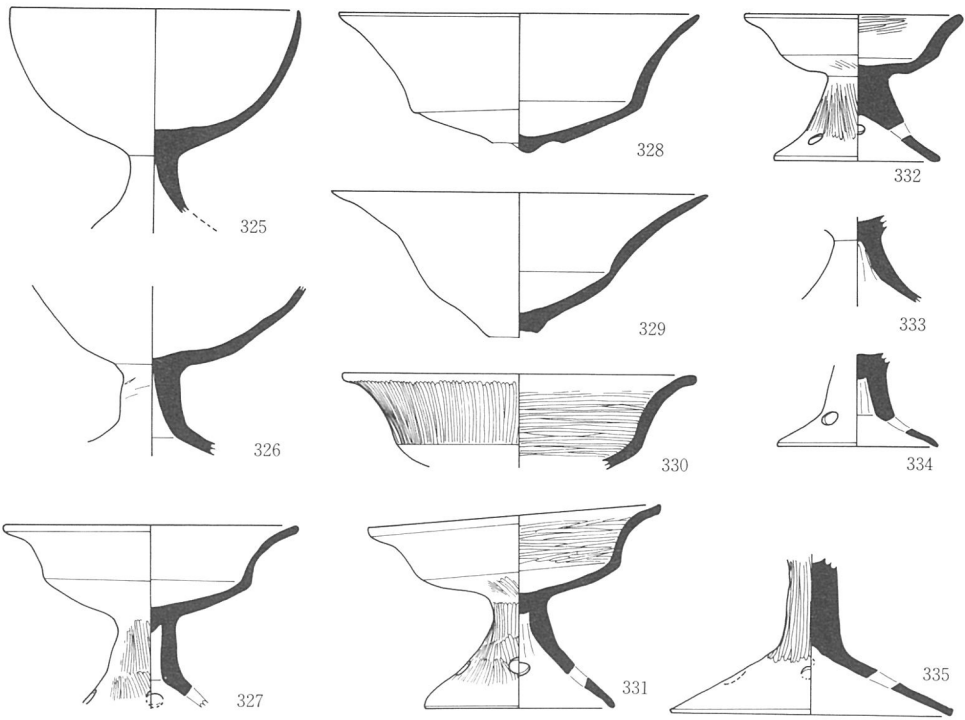


第51図 922-O R 遺物図3



第52图 922-O R 遺物图 4

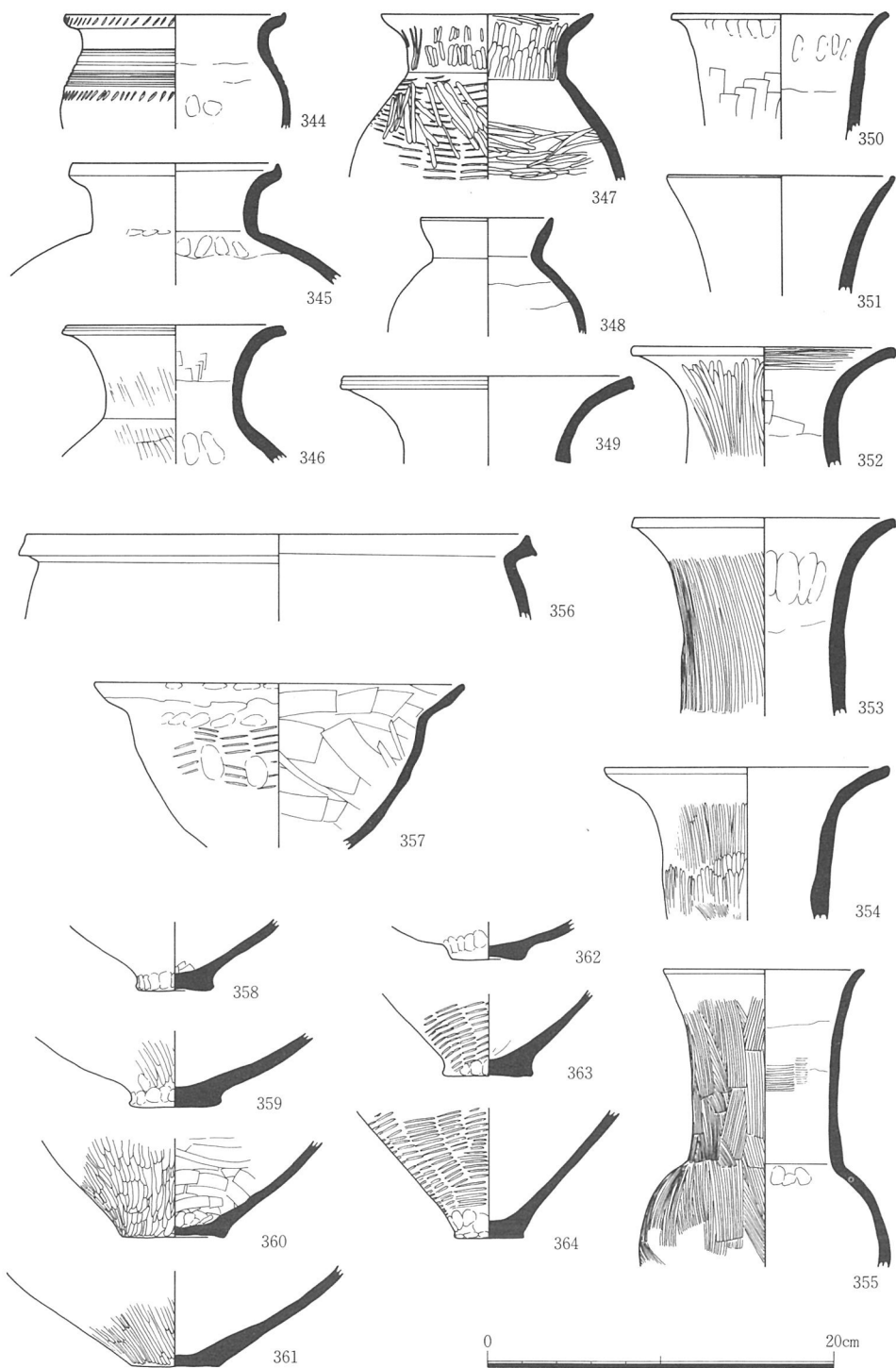
上げるもの352・354がある。広口壺は口縁端部を上方に屈曲させるもの345、体部をタタキ調整の後、粗くヘラミガキで仕上げるもの347、口縁部外面と体部上方に列点文を施し、さらに体部の列点文の上方に頸部まで櫛描直線文で飾るもの344もある。甕は口縁部を「く」の字状に外反させるもの365～374、ゆるやかに外反させるもの375がある。また口縁端部に刻み目を施すもの373、口縁端部をやや上方に屈曲させ、口縁部が「受け口」状を呈するもの374がある。鉢は浅い椀型の体部で口縁部を「く」の字状に外反させるもの357、外上方に開く体部から内側に屈曲してそのまま口縁部となり、口縁部の一部を外反させて片口状を呈するもの376がある。調整は両者とも外面はタタキにより仕上げている。特に376は口縁端部までタタキ目が認められる。高杯は口縁部が外反して稜が明瞭なもの382～388、椀型の杯部を持ち口縁部外面に数状の擬凹線を施すもの378～380、椀型の杯部で擬凹線のないもの381がある。脚部は中空のものがほとんどである。調整はヘラミガキで仕上げるものが多いが、ハケ調整によるものもある。

1 3 6 1・1 3 6 2（第122図；図版24） IV区南半部で部分的に検出した小河川で、調査区をほぼ南北に走るものと思われる。調査時は1361・1362と別の遺構番号つけたが、これは河川内の大きな流れによりできたものと思われ、ここでは一つの遺構として報告する。最大幅9m、深さ30～50cmを測り、南側から北側に向かって流れていたものと思われる。この河川のベースとなる土層は、926-ORの最上層にあたる灰黄褐色粘質シルト層である。埋土は岸側に黄褐色系のシルト層が認められ、中央部は下層より褐灰色系の細砂層、黄褐色系の砂層、褐色系のシルト層が認められる。

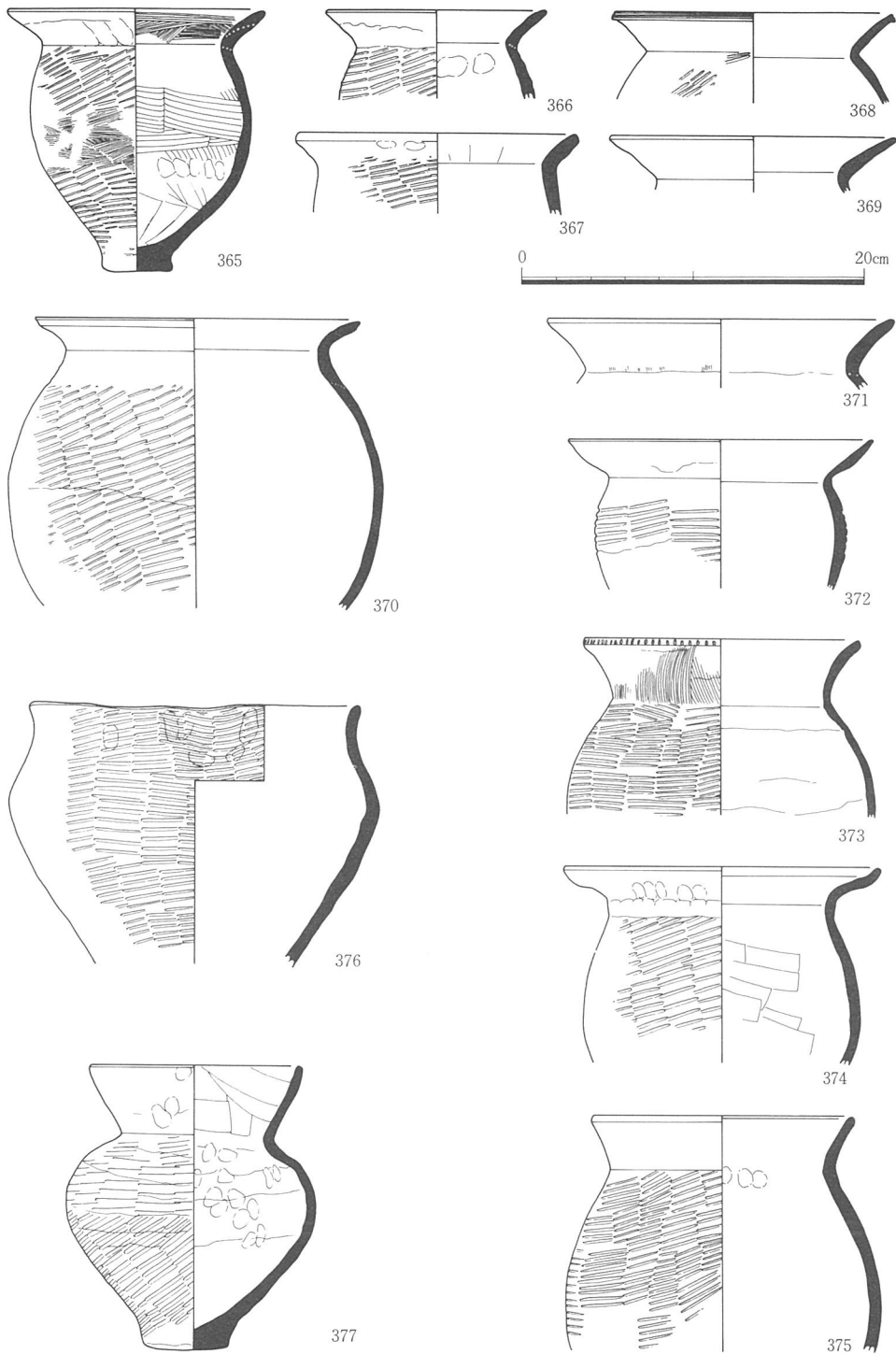
遺物はきわめて少なく、1361-ORの最下層の褐灰色細砂中より、甕の口縁部が1点出土している。この甕は口径32cmを測り、口縁部はやや内弯しながら立ち上がり、端部は内側に若干肥厚するものである。

5 0 2（第56・122図；図版65） IV区の東端A25B I～A20X Lで検出した。調査区の東端であり、攪乱土坑も多いことから正確な規模等について把握することはできなかった。埋土は拳大の礫混じりの砂層、青灰色のシルト層が互層になっており、砂礫層から遺物が出土したが、比較的少ない。

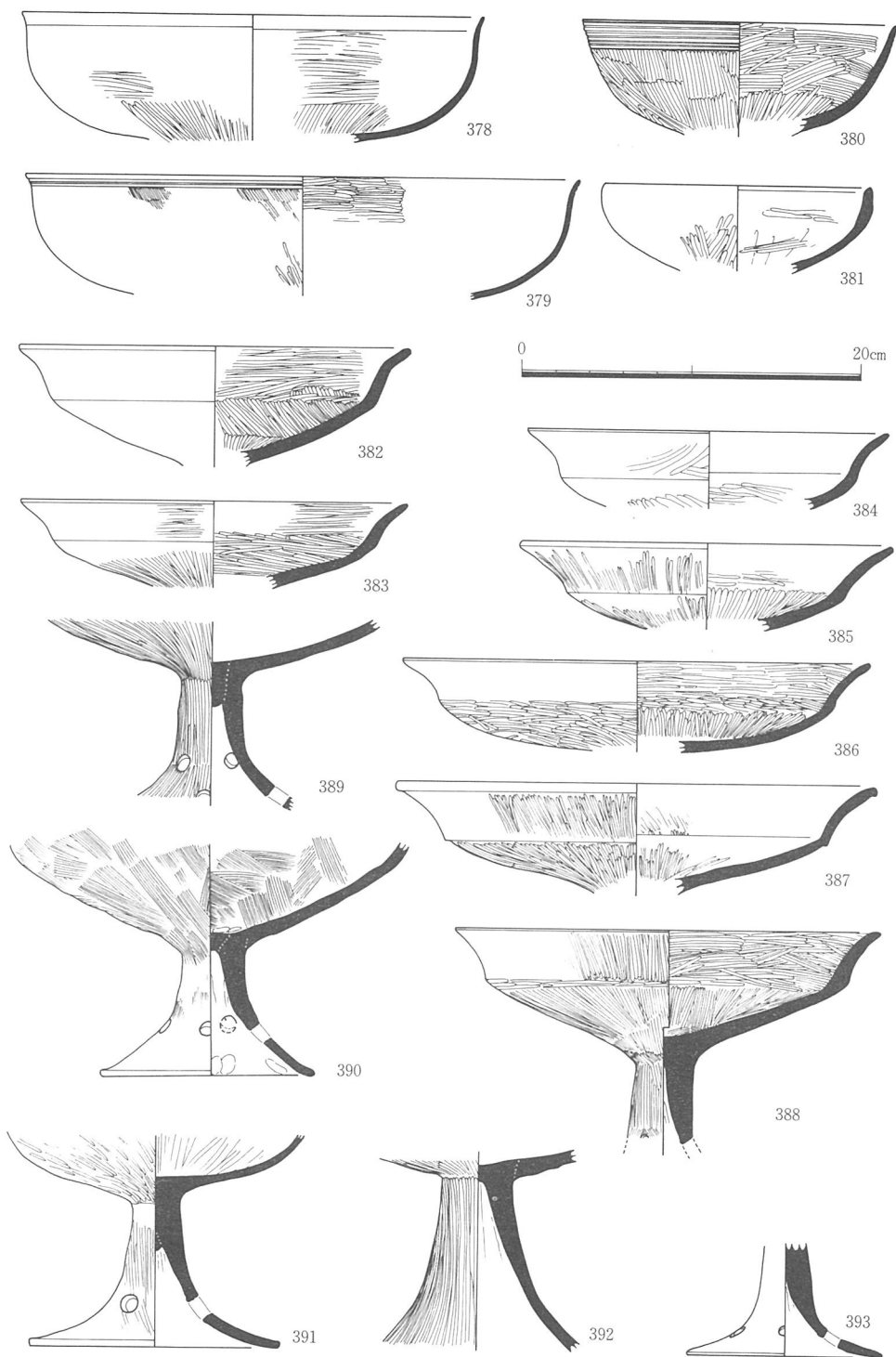
出土遺物は壺29点（396～402）、甕27点（394・395）、高杯19点（403）、底部21点（404～413）である。壺は、直立気味の頸部から外反した口縁部に拡張した端部を付するもの396・398、直立する頸部が短く口縁部は外反してそのまま終わるもの397・400・402、頸部から口縁部に続くもの399がある。甕は受け口状の口縁部を持つ395と外反して終わる



第53图 926-OR 遺物图 1

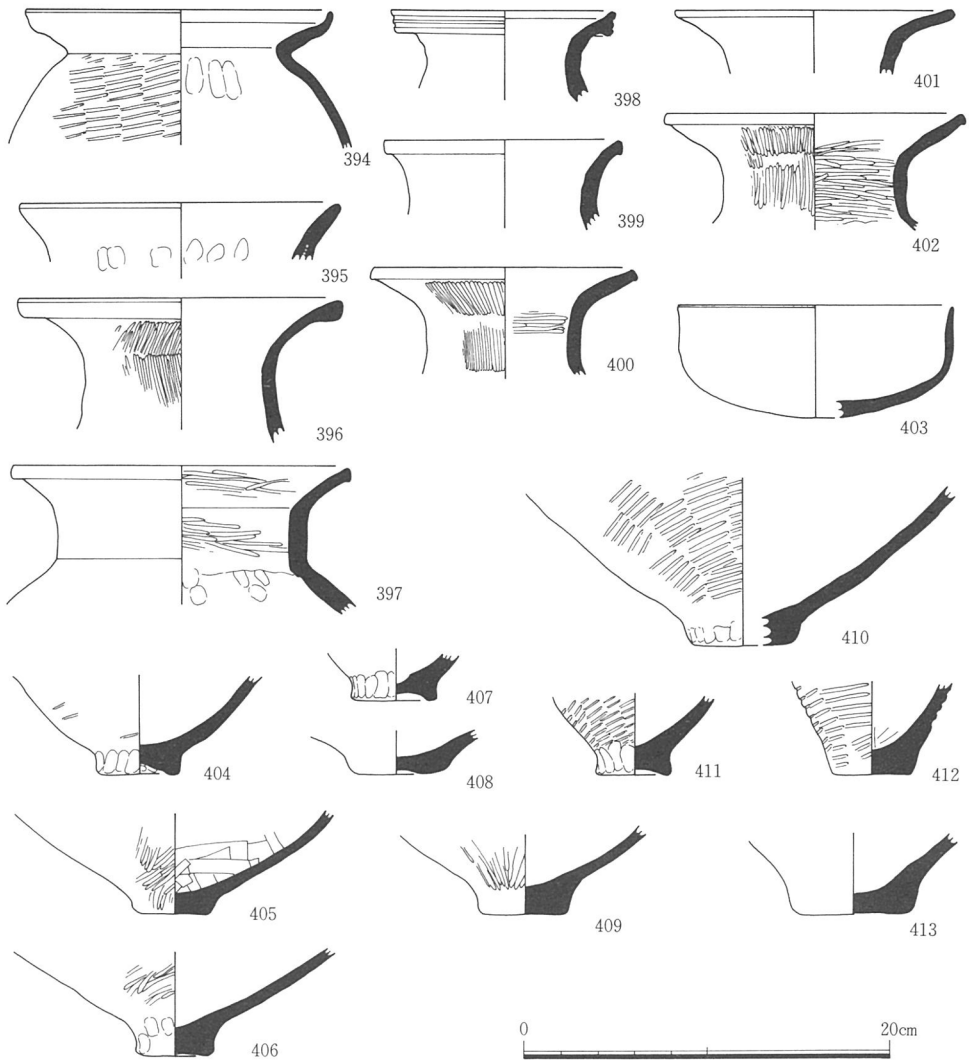


第54図 926-O R 遺物図 2

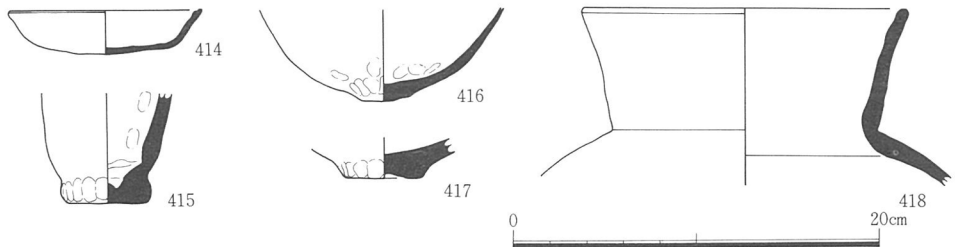


第55图 926-O R 遺物图 3

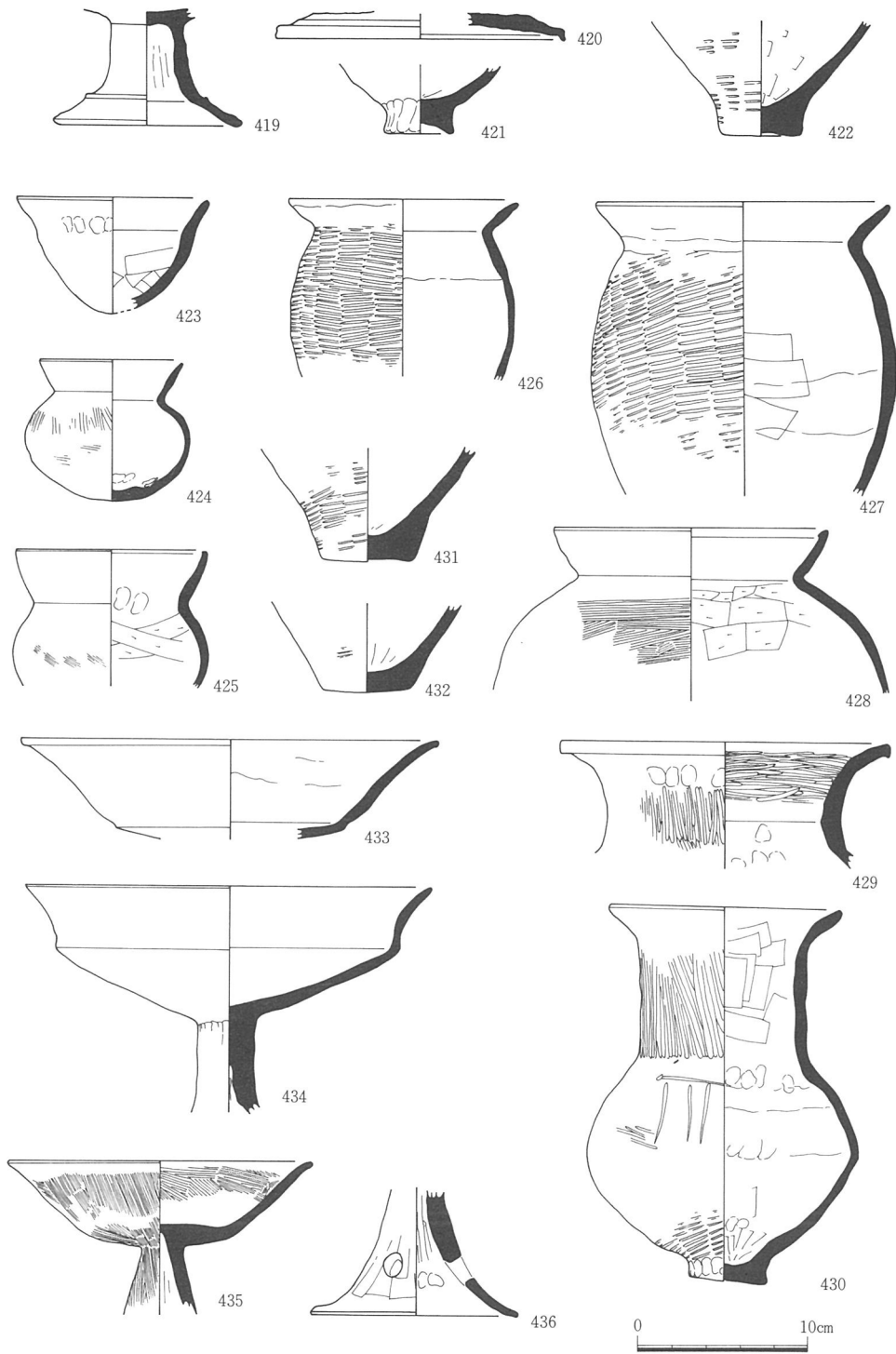
口縁部を持つ396がある。高杯は椀型の杯部を持つものである。



第56図 502-O R 遺物図



第57図 1647-O R 遺物図



第58图 1641-O R 遺物图



1 6 4 1 (第58図；図版26・71) V区南西半部に位置する。全幅は検出しえなかったが、川幅12m以上のものである。深さは約2mで緑灰色粘土層よりなる河床を検出した。埋土は暗オリーブ灰色、黄灰色、褐灰色等の砂礫堆積層からなる。

出土遺物は壺24点(424・425・429・430)、甕59点(422・426～428・431・432)、高杯46点(419・433～436)、鉢6点(421・423)、蓋1点(420)等がある。424・425は小型丸底埴である。両者とも口縁部内外面は横ナデ、体部にはハケ目を施す。424は内面調整が剥離のため不明であるが、425はヘラケズリが施される。429は広口壺の口頸部である。口縁部外面とその内面端部は横ナデ、頸部外面と口縁部から頸部にかけての内面はヘラミガキを施す。430は長頸壺である。頸部から体部上半の外面はヘラミガキ、内面には板状工具によると思われるナデ、体部外面下半にはタタキが施される。なお体部上半はヘラ状工具によると思われる線刻が認められる。422・426・427・431・432は体部外面にタタキを施す甕であるが、428は体部外面にハケ目、内面にヘラケズリを施す甕である。高杯は419のみ須恵器である。423は小型の丸底の鉢である。外面は剥離が著しく調整は不明であるが、内面にわずかに板状工具によるナデが認められる。421は鉢の底部、420は須恵器の蓋である。

1 6 4 7 (第57図；図版26) V区北東半部に位置する。全幅は検出しえなかったが、川幅9m以上のものである。深さは約2.5mで緑灰色粘土層よりなる河床を検出した。埋土は最上層に層厚20cm前後を測る明褐色粘質シルト層が堆積する他、灰褐色、明褐色等の砂礫堆積層からなる。出土遺物は壺7点(416・418)、甕3点、高杯1点、皿1点(414)、杯3点、椀1点の他、底部片(415・417)等がある。414は土師器である。口縁部内外面ともに横ナデを施す。底部内面は、摩耗が著しく調整は不明、外面には指オサエが認められる。416は突出度の少ない丸みをもつ底部である。内外面とも剥離が著しいが、外面には指オサエが認められる。418は口縁部から肩部である。口縁部内外面はともに横ナデ、肩部は外面剥離が著しく調整不明であるが、内面にヘラケズリが認められる。

## 5. 不明遺構(OX)

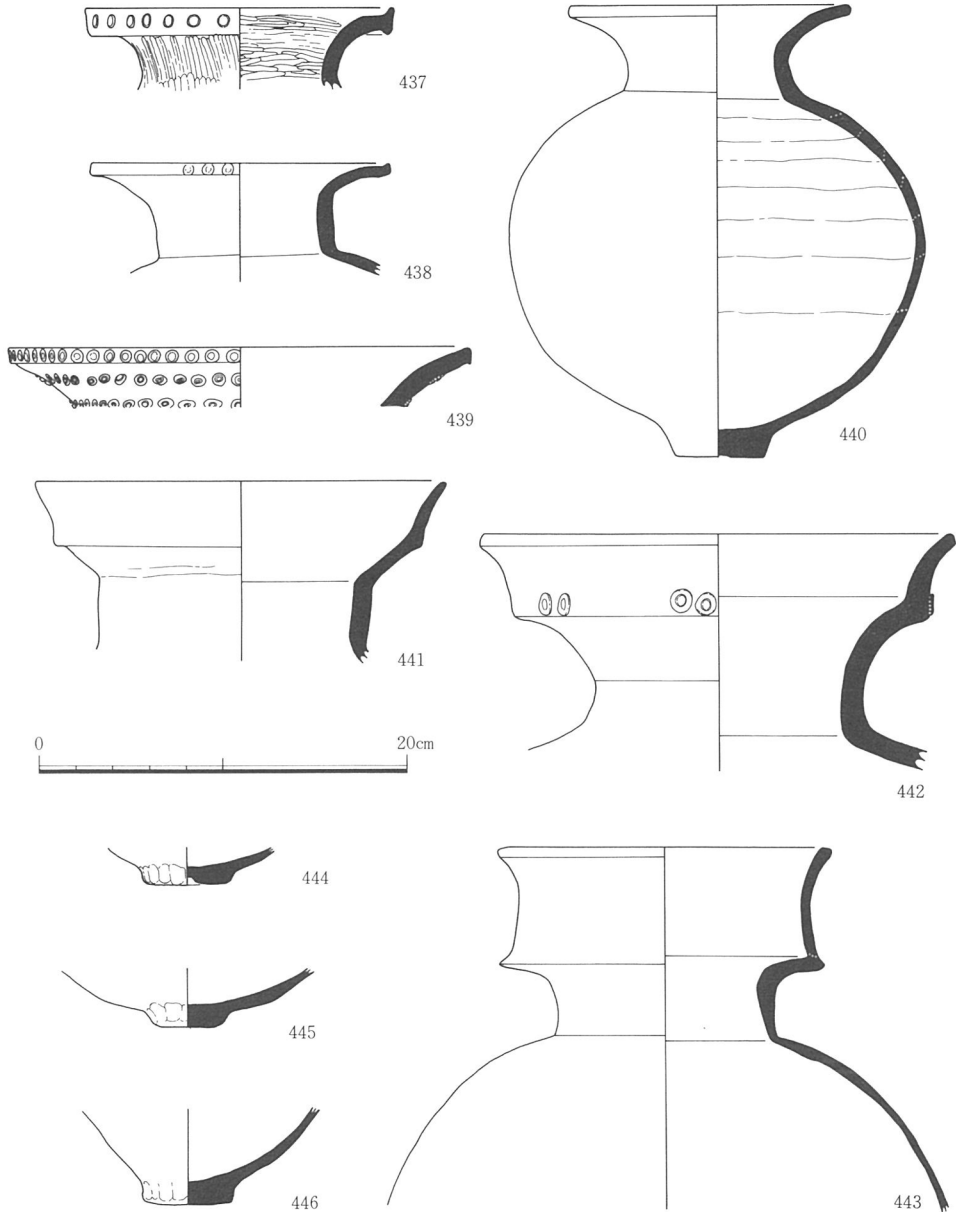
5 3 3 (第59～68図；図版27・72～82) I区のほぼ中央A19G F付近に位置する。自然河川501-ORの肩上端部に河川に沿って帯状に検出されたもので、多量の壺・甕・高杯・鉢・製塩土器等が集中して認められた。土坑等の掘方状の遺構は認められず、501-ORの肩が当初のものからやや内側に形成された時点で、その上面に投棄あるいは設置されたものと考えられる。

出土遺物は全て土器類で、総破片数約1500片、約320個体、図示しえたものは108点である。壺28点（437～443）、甕214点（447～456・469～508）、高杯43点（509～533）、鉢10点（538～544）、製塩土器4点（534～537）、底部21点（444～446・465～468）である。壺は出土土器全体量の中で比較的少なく、8.8%である。器形的には短く直立する頸部に外反する口縁部を付する、いわゆる二重口縁とよばれるものが多く、457～439・442は口縁部外面に円形浮文が認められる。444～446は外面にタタキ目がなく、外側に大きく広がることから、壺の底部と考えられる。甕は出土土器全体量の中で圧倒的に多数を占め、66.9%である。口径は11.5～20.1cm、器高は8.5～28.4cmと法量にかなりの幅が認められるが、大きく大・中・小の3種に大別できると思われる。調整は外面には底部から体部上端にかけて右上がりか一部水平方向のタタキ目が認められ、口縁部は横方向のナデである。底部は中央を若干凹めたものが多く、指による粗いナデが施され、セピア色を呈するものがかなりある。内面は底部から体部上端にかけて板状工具によるナデと考えられる。底部に「クモの巣」状の圧痕が見られるものがある。板状工具の小口の痕跡かもしれない。内面調整の方法として板状工具によるナデといわゆる「ハケ目」の区別が困難であるが、「ハケ目」状の筋目の確認されるものもあるが、布留式土器の外面に認められる「ハケ目」を基準とした場合、当遺構出土の甕の内面調整に認められる筋目は比較的粗いもので1cm当り8本を数える。また、内面をヘラケズリしたものも認められない。次に成形段階において、鉢部の外面にタタキを施した後、体部と接合したもの447・448・451・478・475・480・482・489・490・496・498・499・507・508がある。457～468の底部片は外面にタタキ

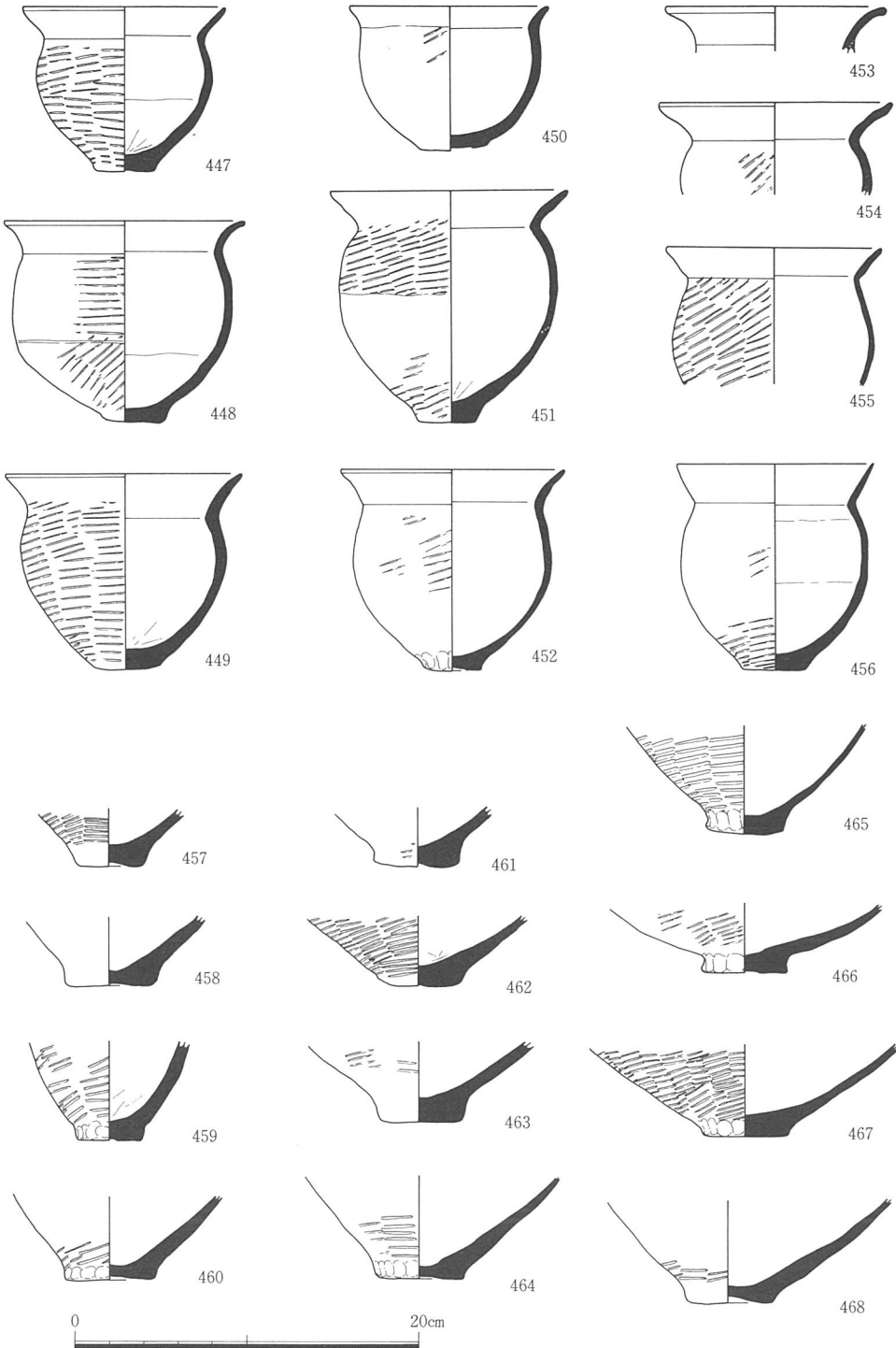


第59図 533-O X 平・断面図

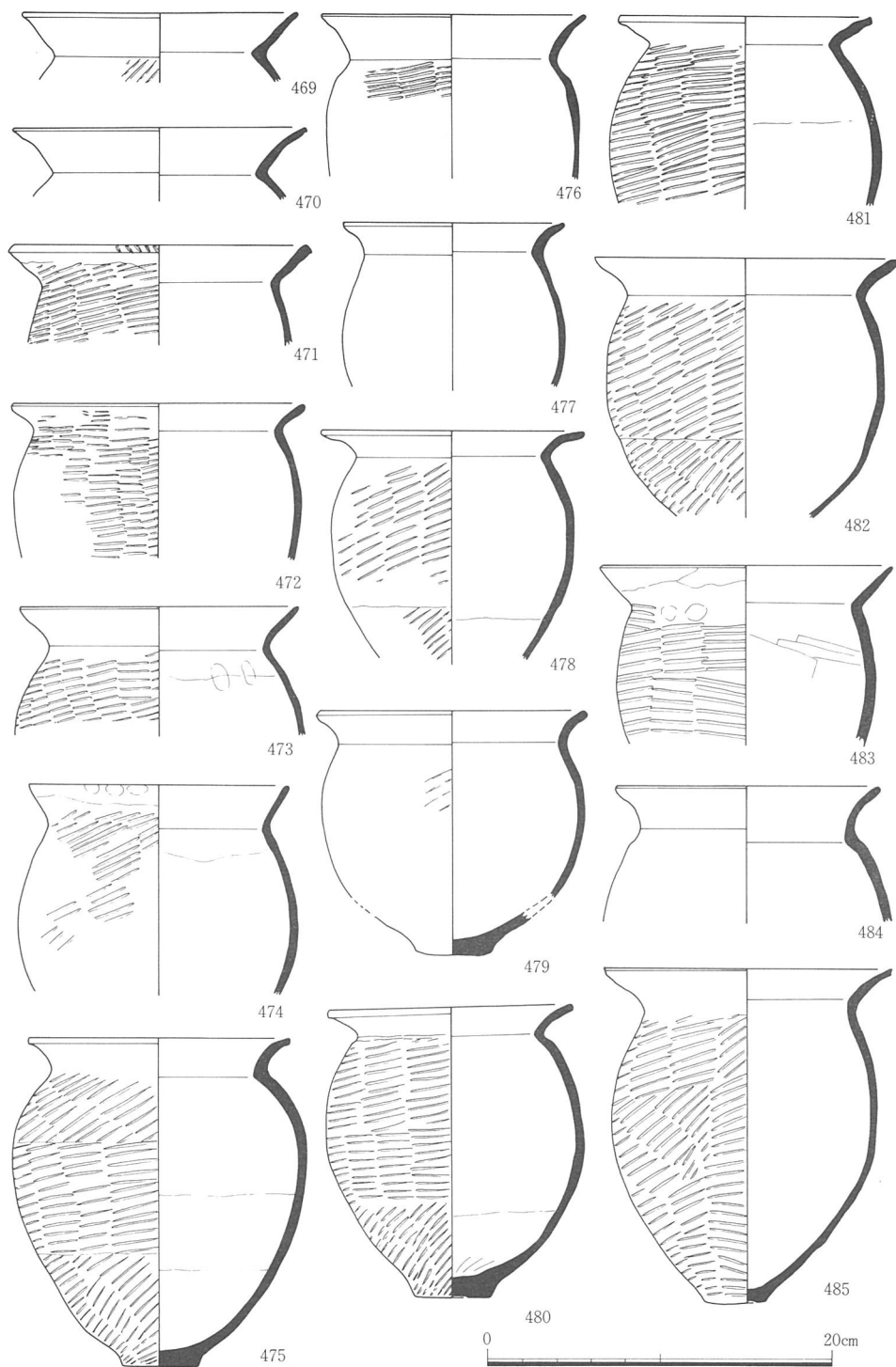
目が認められることから甕か鉢と考えられる。高杯は出土土器全体量の13.4%を占める。杯部の形態によって大きく2種に大別できる。杯部が水平もしくは外上方に開いた後、屈曲して立ち上がる口縁部を持つもの（509～522）A類、杯部が碗型を呈するもの（523～528）B類がある。また、A類の場合513・518～521は屈曲部分があまり明瞭でなく、杯部



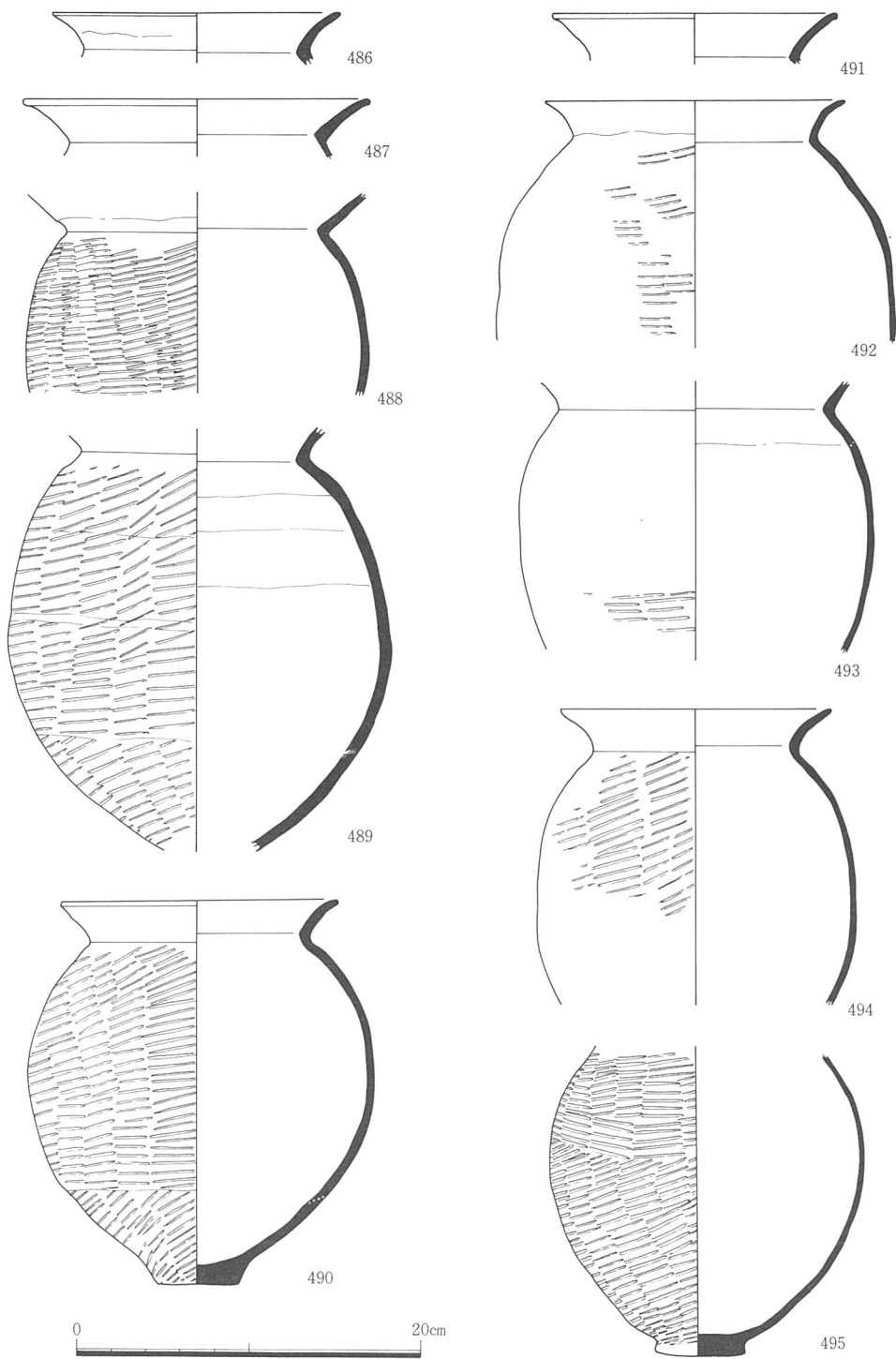
第60図 533-O X 遺物図1



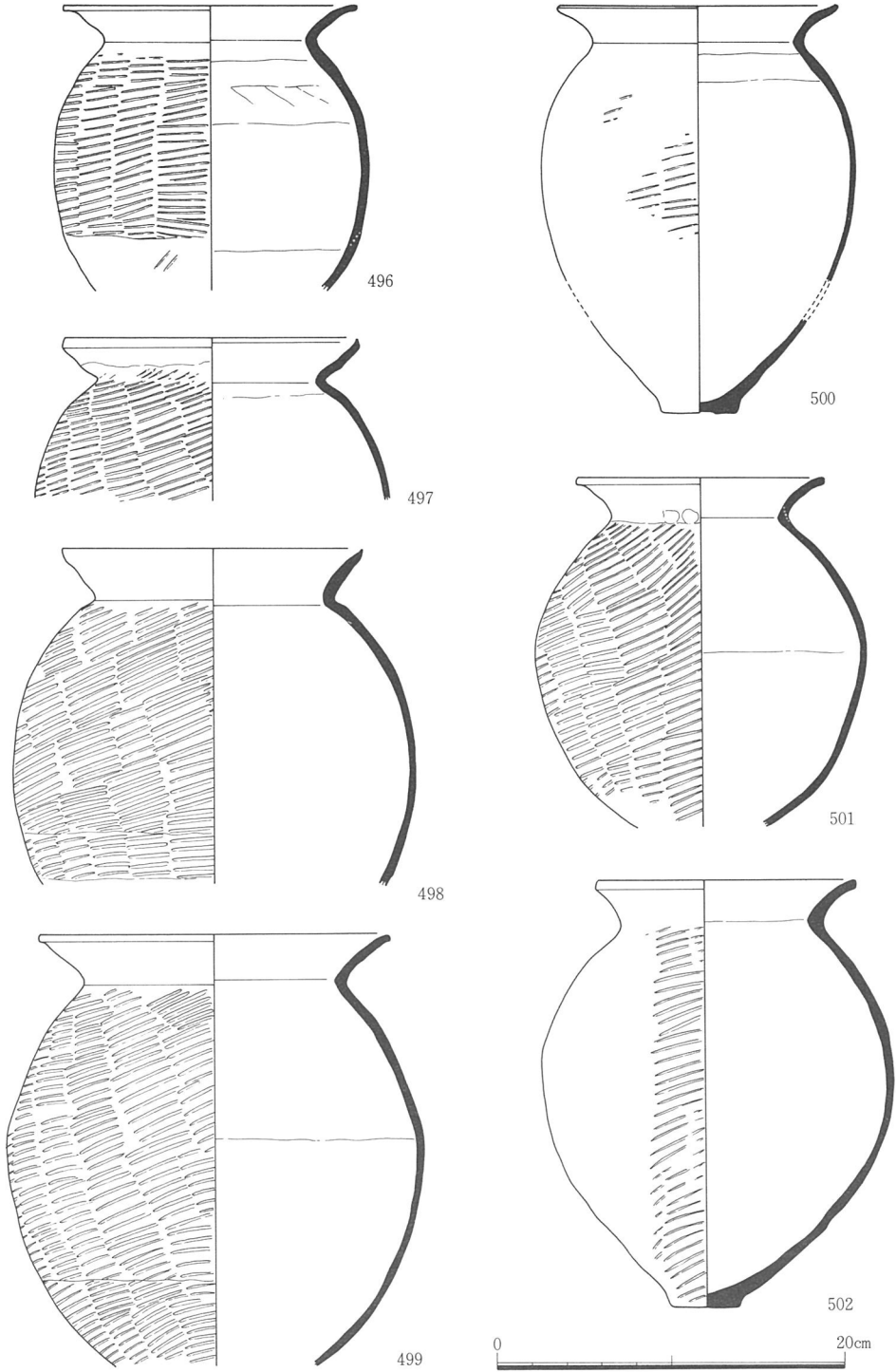
第61図 533-O X 遺物図2



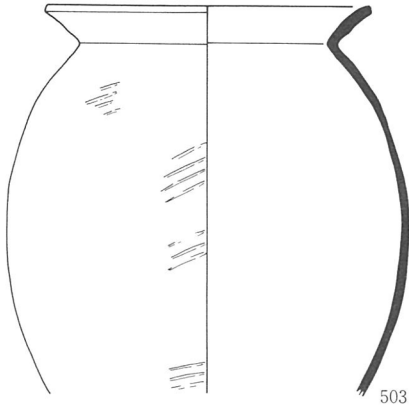
第62図 533-O X 遺物図 3



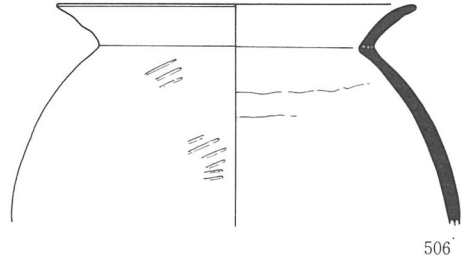
第63図 533-O X 遺物図4



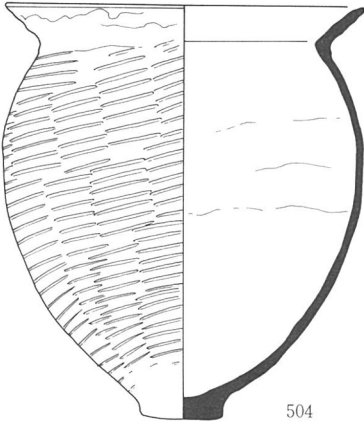
第64図 533-O X 遺物図 5



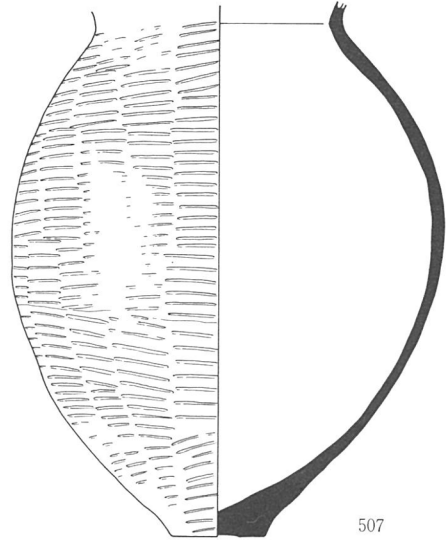
503



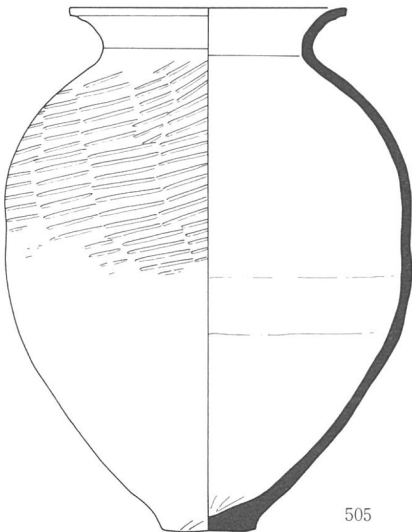
506



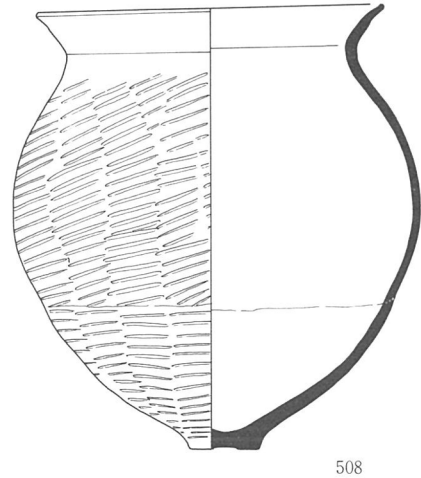
504



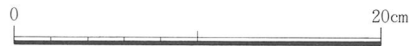
507



505

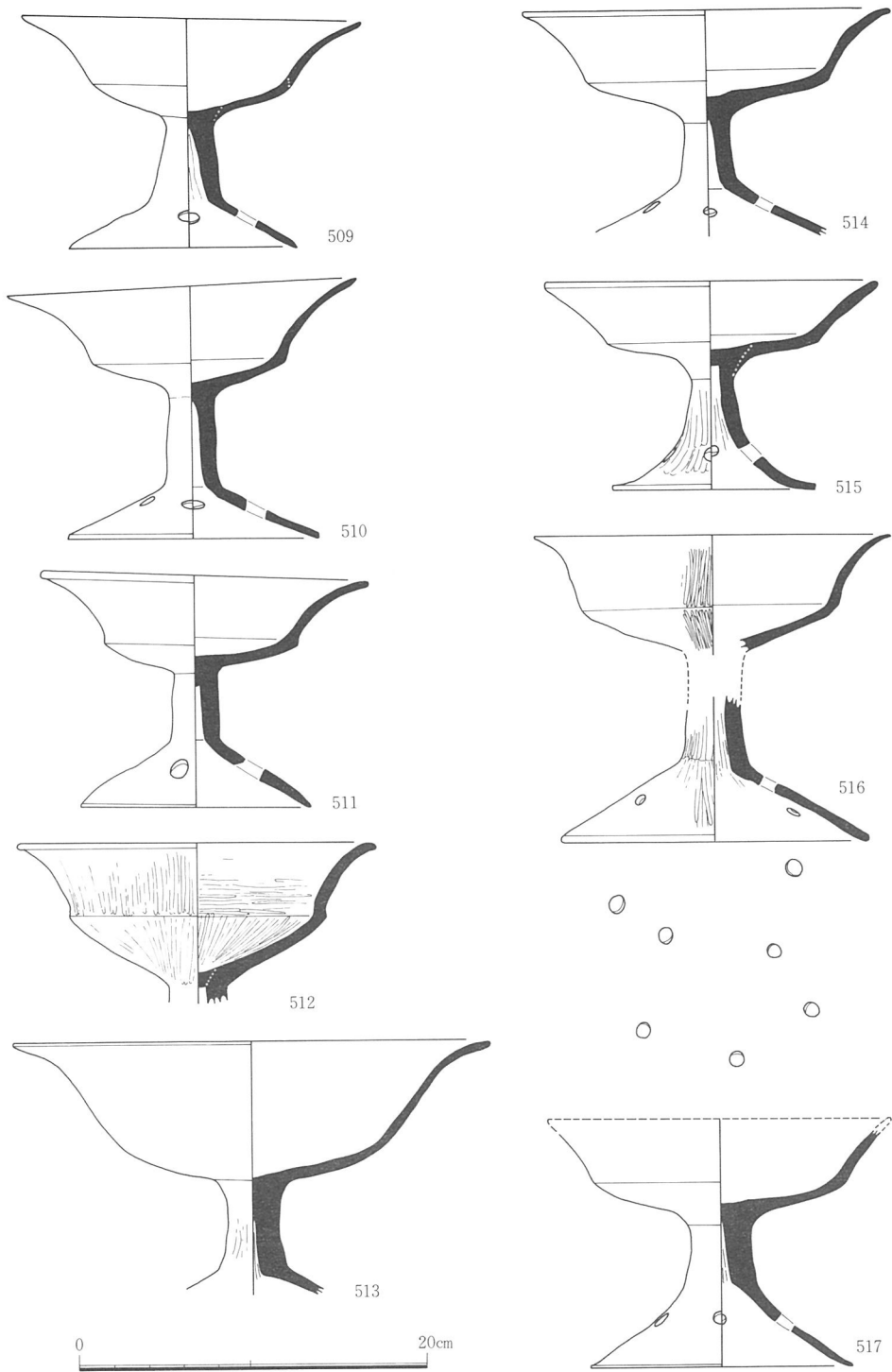


508

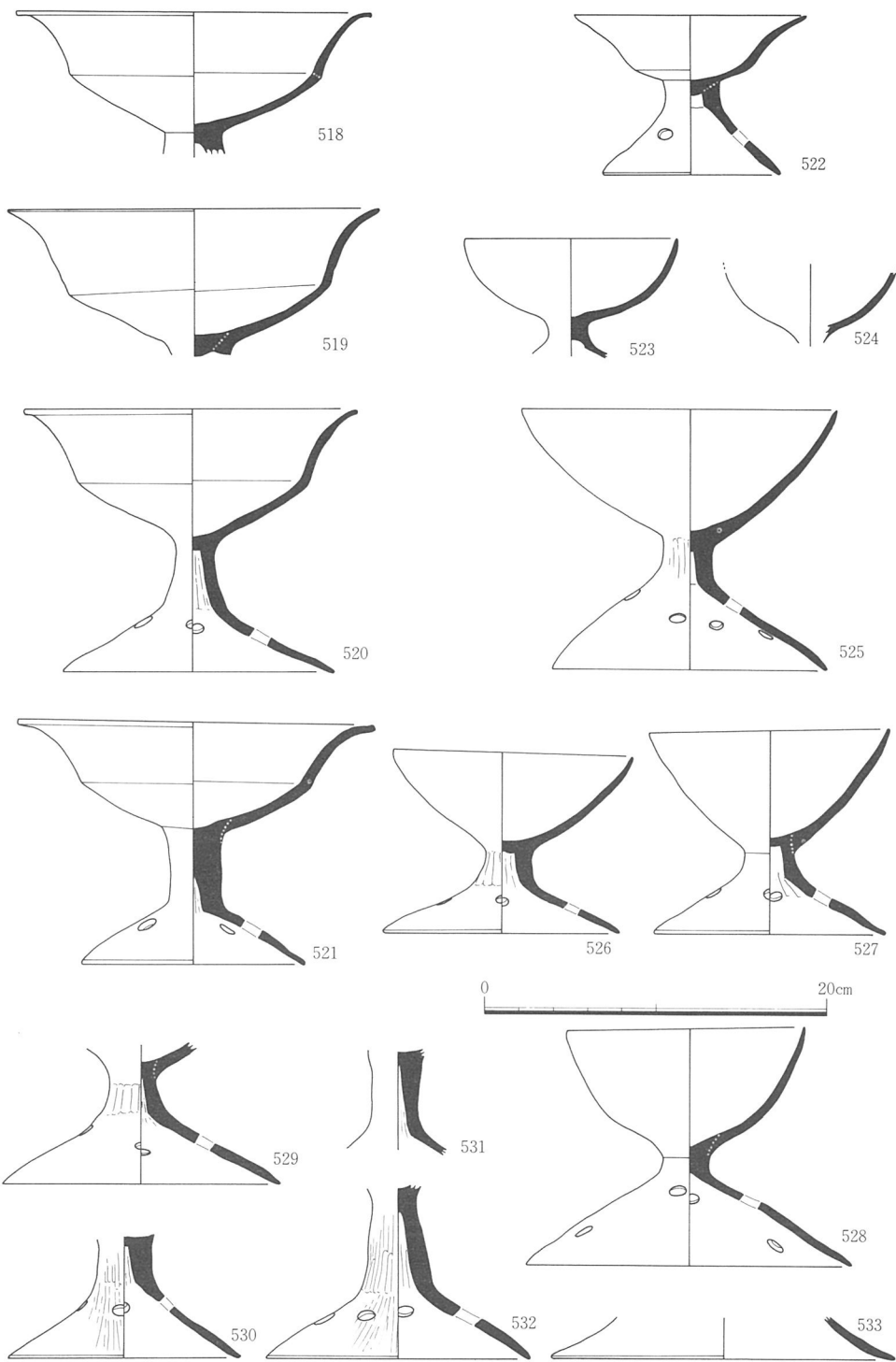


第65図 533-O X 遺物図 6

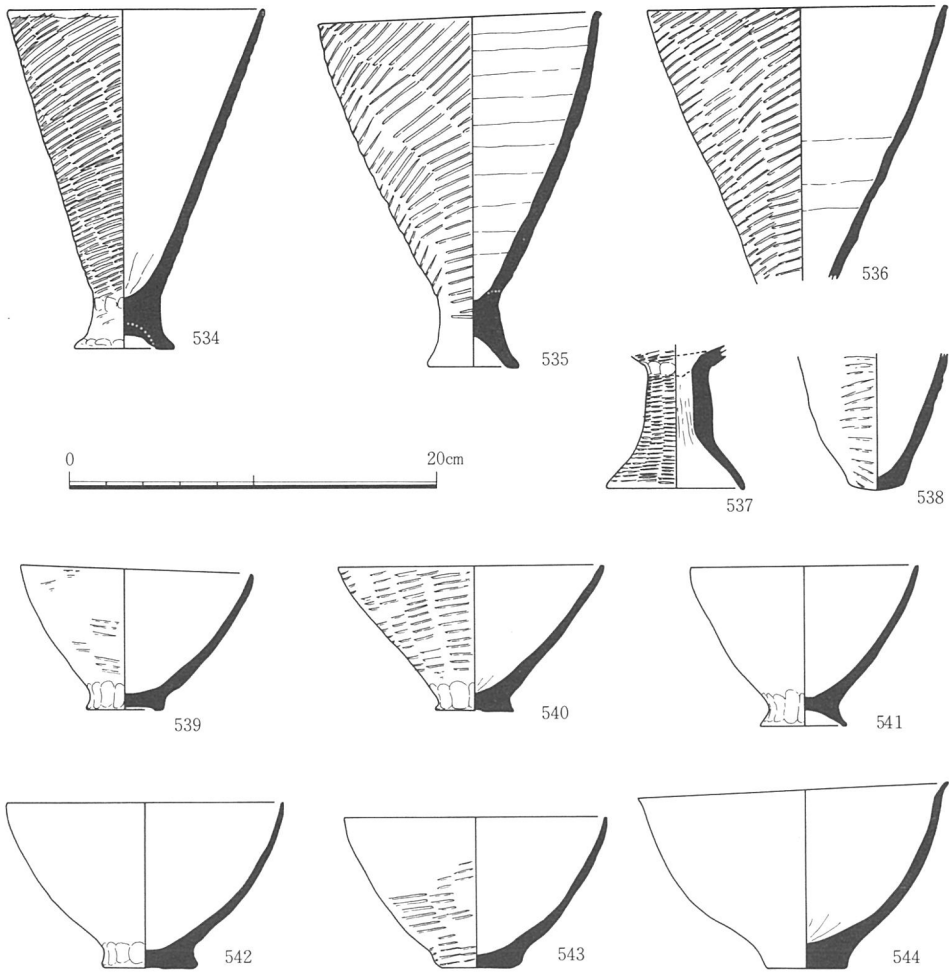




第66图 533-O X 遺物图 7



第67図 533-O X 遺物図 8



第68図 533-O X 遺物図9

の器高が深いものから515のように杯部がほぼ水平に開いた後、屈曲して外上方に立ち上がる口縁部を持ち、器高が浅いものまでである。内外面の調整はヘラミガキによって仕上げられるものが多い。鉢は、体部からそのまま口縁部となるもの539・540・542・543と544のように口縁部をやや外側に開くものがある。538は他の鉢とは異なっており、タコ壺か製塩土器の脚台がはずれたものに当たると思われる。調整は、外面をタタキ、内面に板ナデを施したものが多い。製塩土器は低い脚台を付すものA類534・535と537のように高い脚台に円盤充填法を用いたものB類がある。調整は、A類が鉢部外面を右上がりの粗いタタキ、内面は粗いナデを施し成形段階の粘土紐の痕跡も顕著に残っている。脚台部外面は指オサエである。B類は脚台部外面にもタタキ目が認められる。

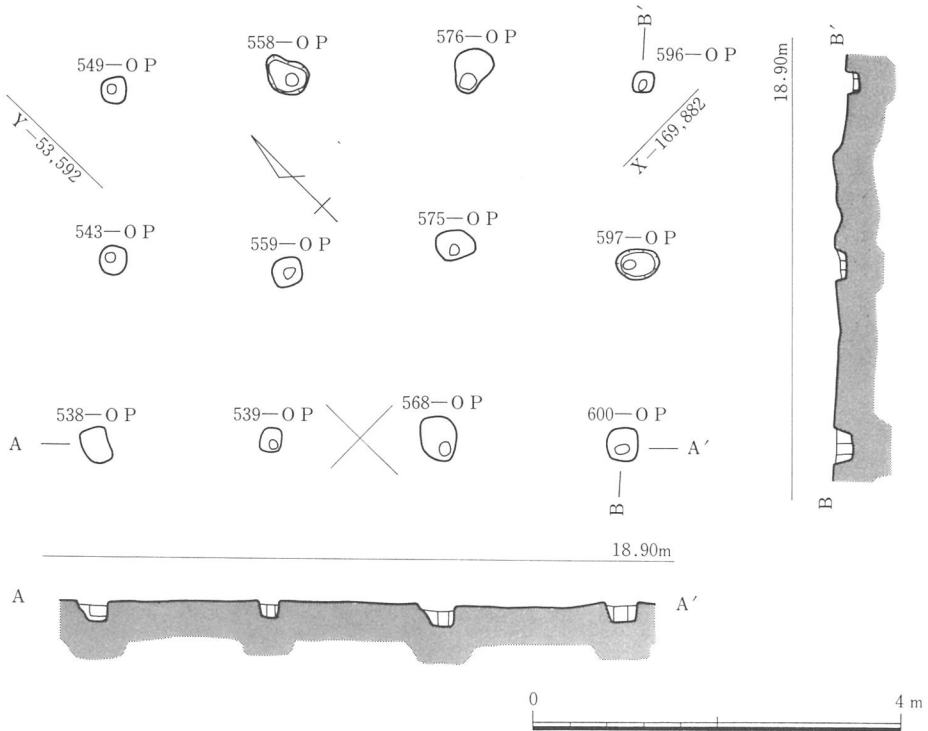
### 第3節 平安時代～室町時代

#### 1. 掘立柱建物（OB）

914（第69図；図版28・83） IV区のほぼ中央A25UC付近に位置する。方位はN42°Wである。梁行3間（5.7m）×桁行2間（3.8m）の総柱で、柱間はすべて約1.9mである。建物に伴うピットは全部で12検出した。それらは直径20～40cm、深さ25～40cmのもので柱痕直径は約15cmである。掘方あるいは柱痕の埋土はにぶい黄褐色シルト層、褐色シルト層等である。

出土遺物は土師質土器鉢1点（760）、黒色土器椀2点（762・763）、須恵器甕体部片1点（761）等がある。

915（第70・71図；図版29・83・84） IV区の東端A25UG付近に位置する。方位はN35°Wである。梁行5間（10.1m）×桁行3間（6.0m）で、柱間は梁行の南東端1間分が1.8mの他は全て2.0～2.1mである。南東隅の1間分は庇の可能性が高い。建物に伴うピットは全部で20検出した。それらは直径30～40cm、深さ35～40cmのもので柱痕直径は20



第69図 914-OB 平・断面図

cm前後である。掘方の埋土は黄褐色ないし灰黄色系のシルト層、柱痕の埋土は褐色系のシルト層ないし粘質シルト層である。

出土遺物は土師質土器皿5点(545・546)、黒色土器椀4点(547)等がある。

916(第122図; 図版83) IV区東半部A20WF付近に位置する。方位はN46°Eである。梁行3間(6.0m)×桁行2間(4.3m)のものである。建物に伴うピットは全部で10検出した。それらは直径20~40cm、深さ7~43cmのもので柱痕直径は15cm前後である。掘方あるいは柱痕の埋土は黄褐色シルト層、にぶい黄橙色シルト層等である。

出土遺物は瓦器椀1点、土師質土器釜1点(764)、黒色土器椀2点(765・766)等がある。

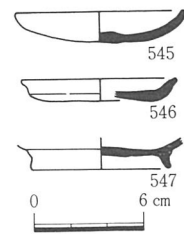
927(第122図) IV区東半部A20WE付近に位置する。方位はN41°Wである。梁行は4間(8.6m)で桁行は1間分(2.3m)検出したが、後世に削平されていることを考慮すると本来の桁行はもう少し長かったものではないかと思われる。建物に伴うピットは全部で10検出した。それらは直径24~40cm、深さ20cm前後のもので柱痕直径は約15cmである。掘方あるいは柱痕の埋土はにぶい黄褐色シルト層、灰黄褐色シルト層等である。

出土遺物は土師質土器小片がわずかに認められる。

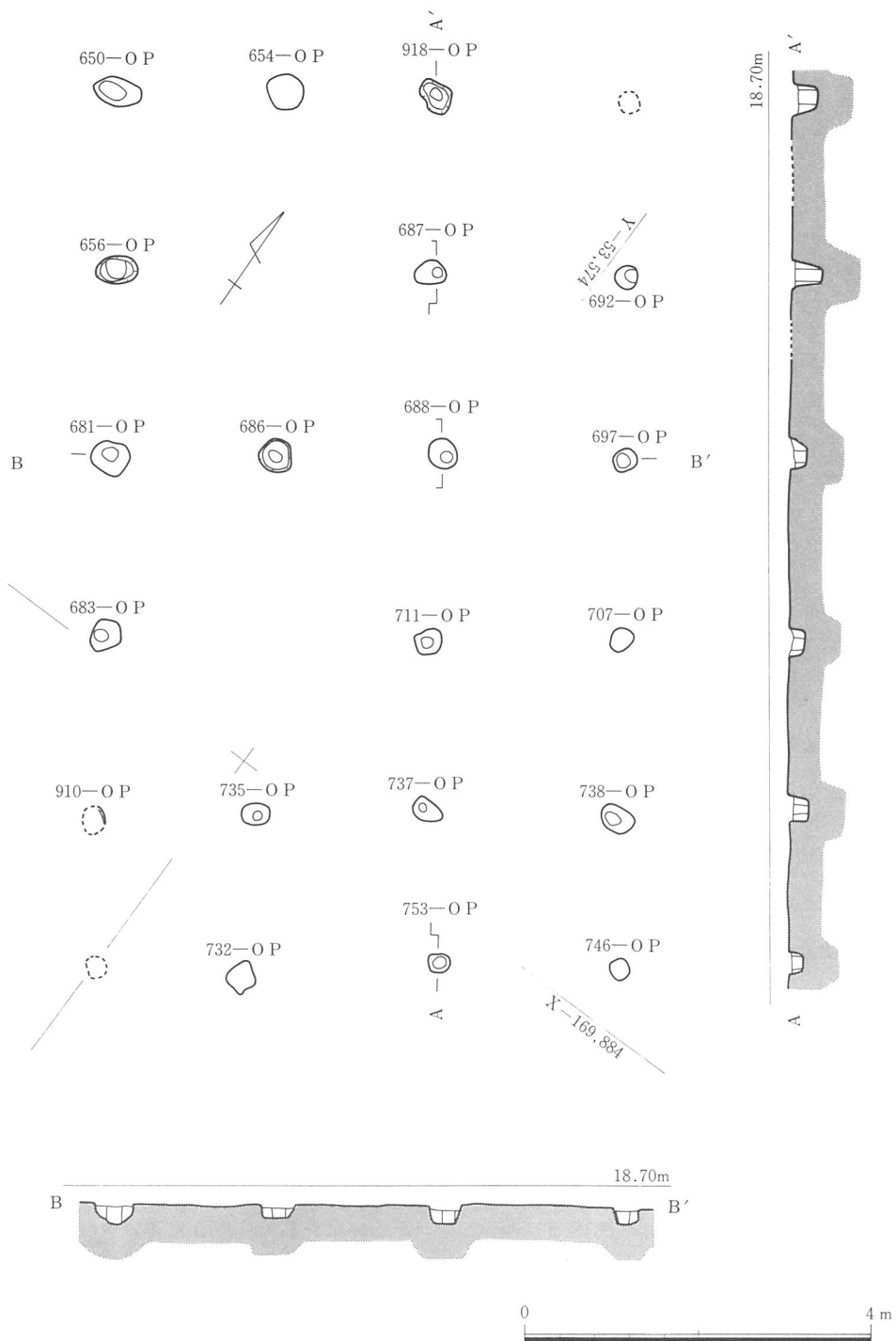
1359(第72図; 図版30・32) IV区南側A19WX付近に位置する。方位はN54°Wである。調査範囲の関係上、3間(6.4m)×1間(2.1m)分しか確認されなかったが、さらに南西にのびるものと考えられる。建物に伴うピットは全部で9検出した。それらの掘方の平面形は円形を呈し、直径26~40cm、深さ20~40cmで、柱痕径は15~20cmである。また建物の南東部に位置する1420-OPは、他の柱穴と比較して若干ではあるが小規模であり、北西側に対応する柱穴も認められず、庇の可能性も考えられる。

出土遺物は弥生土器の細片が2点あるが、建物の時期に相当すると思われるものは認められなかった。

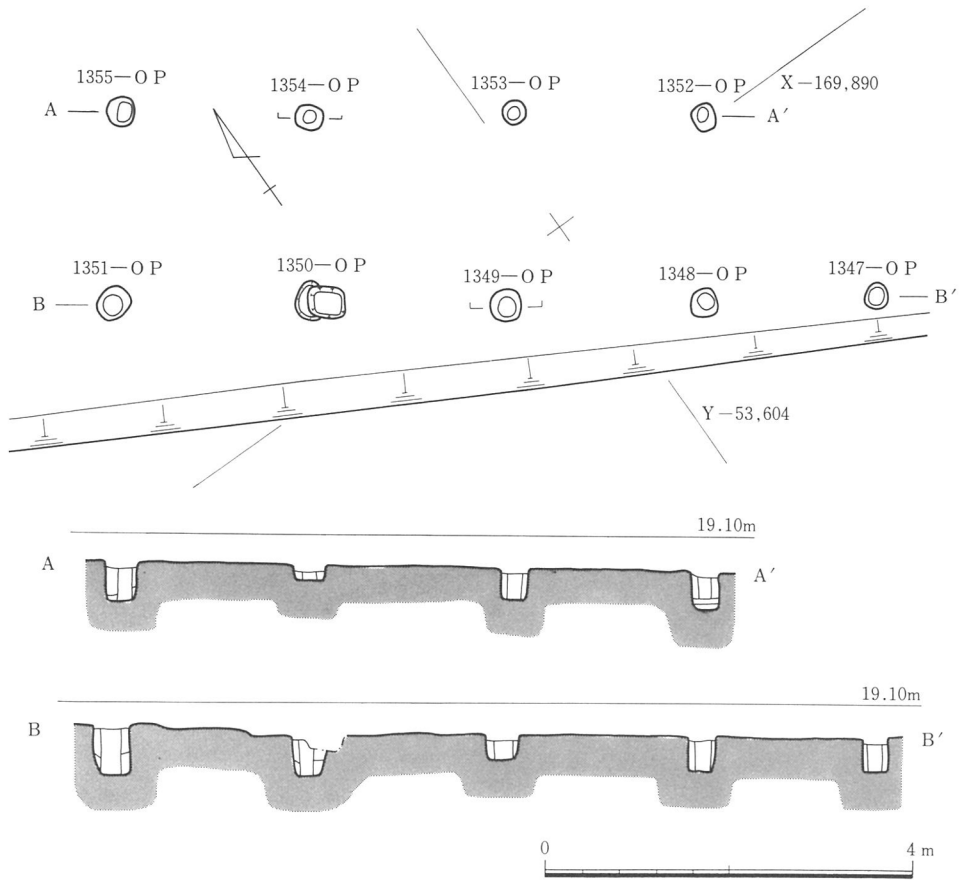
1273(第73・74図; 図版31・83・84) V区東半部A25BT付近に位置する。方位はN33°Wである。梁行4間(8.4m)×桁行4間(7.9m)のものである。庇等建物の細部構造については明確ではない。建物に伴うピットは全部で22検出した。それらは直径20~40cm、深さ25~40cmのもので柱痕直径は約15cmである。掘方あるいは柱痕の埋土はにぶい黄褐色シルト層、褐色シルト層等である。なおV区ではこの建物の北西辺と南西辺あるい



第70図 915-OB  
遺物図



第71図 915-OB 平・断面図



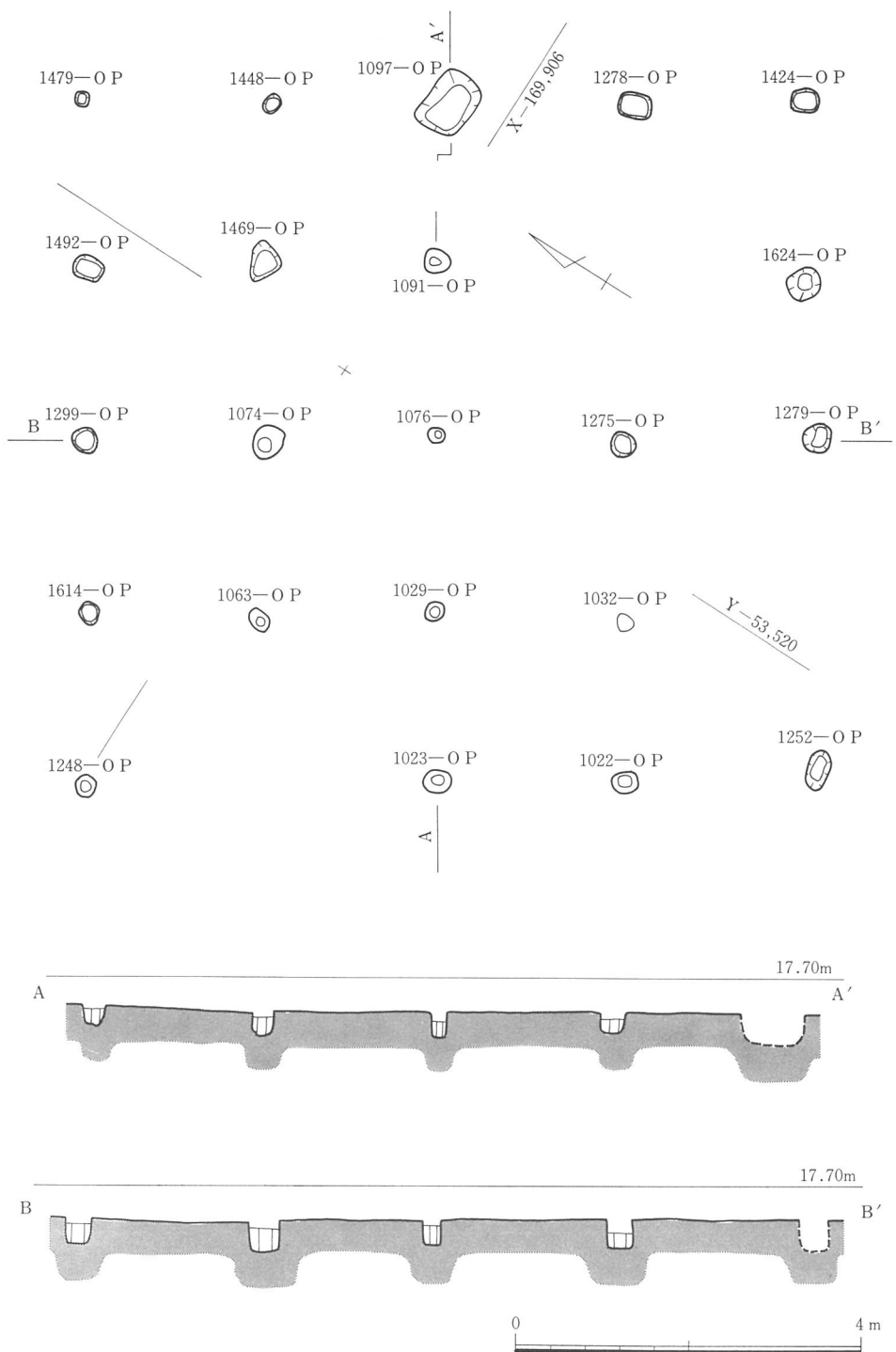
第72図 1359-OB 平・断面図

は南東辺と平行する溝 (1041・1216・1219-OS) が認められ、この中に他の遺構も集中することからこの建物を中心とした土地区画があったものと考えられる。

出土遺物は瓦器椀67点 (548~552)、皿8点 (553・555・556・557・560)、土師質土器皿63点 (554・558・559)、釜2点、黒色土器椀4点、瓦質土器釜1点 (562)、青磁椀1点 (767)、白磁椀1点 (561)、平瓦1点等がある。

1369 (第75図) A20YS付近で、1273-OBの北西方向に約3m隔てた場所に位置する。方位はN39°Wで、1273-OBとは約6°異なる。梁行3間 (6.2m)×桁行2間 (3.8m)である。建物に伴うピットは全部で12検出した。それらは、直径20~40cm、深さ15~30cmのものであり、柱痕直径は約15cmである。掘方あるいは柱痕の埋土はにぶい黄褐色粘質シルト層、褐色シルト層等である。

出土遺物は土師質土器皿1点、釜体部片1点、黒色土器椀1点、平瓦1点の他、土師質土器小片等がある。

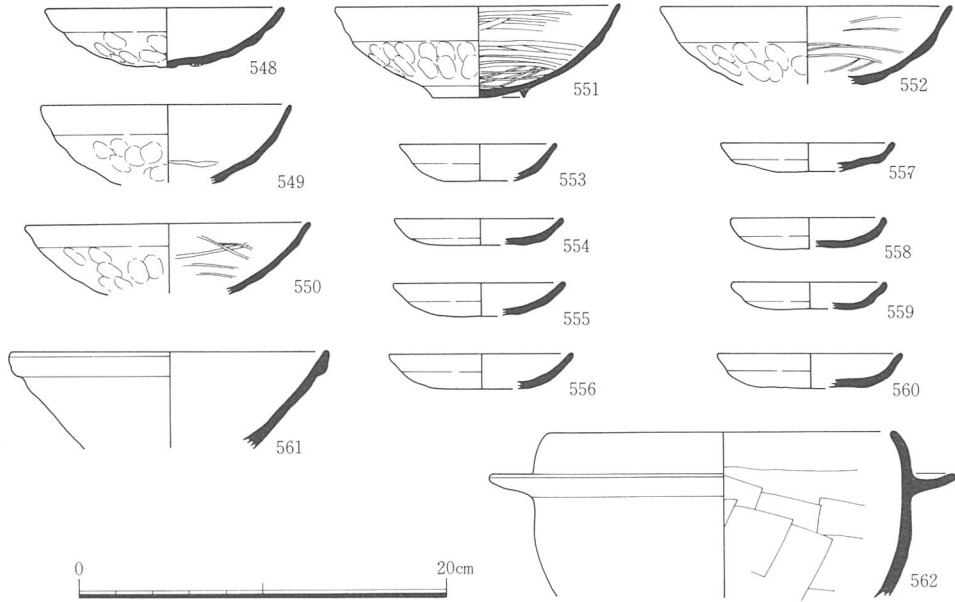


第73図 1273-OB 平・断面図

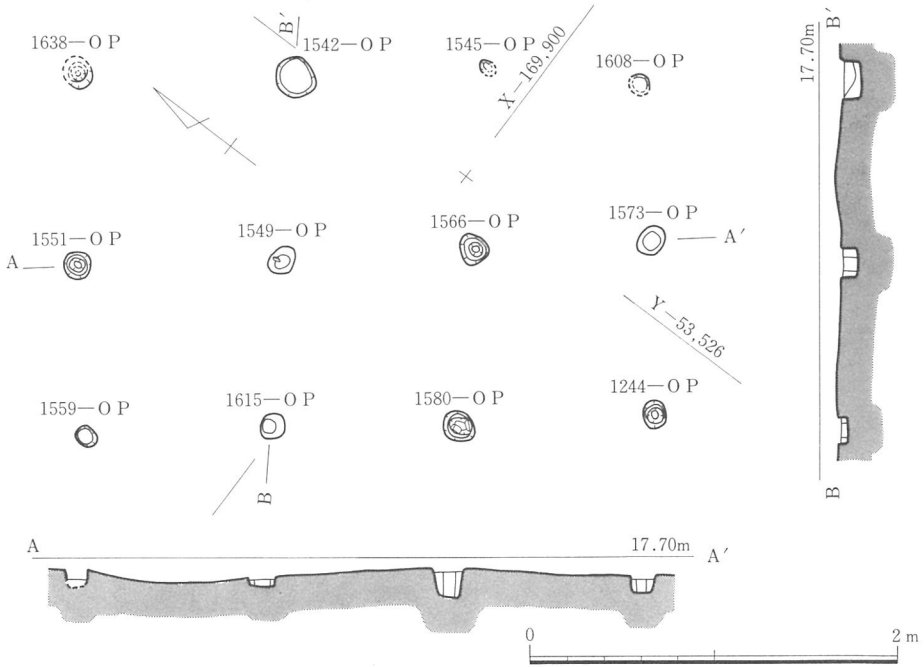


2. ピット (OP) 群 (第119・122・123・124図; 図版33・34・84)

ピットはI区、IV区、V区において認められる。これらのピットはそれぞれの地区においても集中するところとそうでないところがあり、ここではそれらについてピット群として



第74図 1273-OB 遺物図



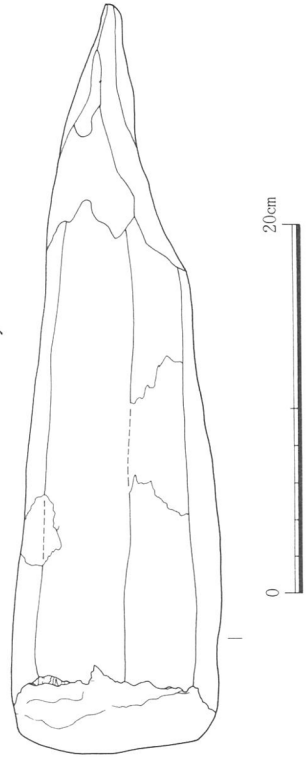
第75図 1369-OB 平・断面図

て各地区ごとに記述する。

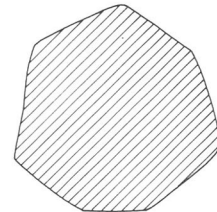
I区は他の地区に比べてピット数が最も少ない地区である。ほとんどは楕円形を呈し、長径30cm前後、短径20cm前後、深さ5～10cmのものである。A19DG付近に集中して見られるが、掘立柱建物等は確認できなかった。出土遺物はいずれからも認められない。

IV区のピットは914～916・927-OBが位置する北東半部に集中し、1359-OBが位置する付近にはあまりピットは見られない。平面形は円形あるいは楕円形を呈し、直径10～30cm、深さ5～20cmで、埋土は黄褐色系のシルト層のものが多い。出土遺物は土師質土器皿、黒色土器椀、皿等がある。

V区のピットは1041・1216・1219-OSに囲まれた地区に多く、さらにその中でも1273・1369-OBが位置する東部に集中する。これらは円形あるいは楕円形を呈し、直径20～30cm、深さ10～30cmである。埋土は黄褐色系のシルト層のものが多い。出土遺物は瓦器椀(768・770・775)、皿(774)、土師質土器皿(769・771～773)、釜、黒色土器椀、須恵質土器鉢、平瓦、砥石等がある。768・770は1436-OPから出土したものである。768は口径15.7cm、器高4.9cmで、断面三角形の高台が付く。770は口径15.3cmで、口縁部外面に横ナデ、内面底部に暗文が認められる。769・771は1110-OPから出土したもので、769は口径8.1cm、771は口径7.6cmのものである。772・773は1223-OPから出土したものである。772は口径8.3cmで口縁部内外面に横ナデ、底部内面にナデ、外面に指オサエが認められる。773は口径7.5cmのものである。774は1096-OPから出土したもので、口径8.8cm、外面の調整は不明であるが、内面底部に暗文が認められる。775は1123-OPから出土したもので、口径16.2cm、器高3.5cmのものである。



1228(第76・123図; 図版32) A25CRに位置するピットである。平面形は楕円形を呈するもので、長径30cm、短径26cm、深さ30cmである。埋土は灰黄褐色砂層である。直径約11cmで、側面を面取りした柱材(563)が遺存していたが、建物としてのまとまりは確認できなかった。



第76図 1228-OP遺物図

3. 土坑 (OO)

514 (第119図) A19DG付近に位置する。平面形は一辺約1.5mの三角形を呈し、深さ約44cmである。埋土は灰褐色粘質土層である。出土遺物は認められないが、瓦器を含む包含層の上面から検出された。

1001 (第123図; 図版86) A20YO付近に位置する。平面形は長方形を呈する。長辺約9.2m、短辺約2.5m、深さ20cm前後で、埋土は灰黄褐色粘質シルト層である。

出土遺物は瓦器椀15点 (779・784)、土師質土器皿4点、釜9点、平瓦3点等がある。

1004 (第99図) A25DWに位置する。V区の遺構の中では上層遺構とされるものである。平面形は方形に近い不定形で、長辺1.5m、短辺1m、深さ約5cmである。埋土はにぶい黄橙色土層である。出土遺物は瓦器椀1点、土師質土器皿2点、釜1点等がある。

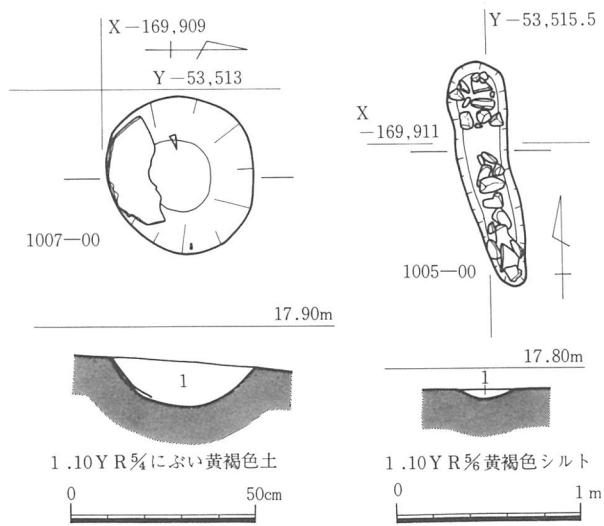
1005 (第77・99・113図; 図版41) A25CWに位置する。V区の遺構の中では上層遺構とされるものである。長さ約1.2m、幅約30cm、深さ約10cmの溝状を呈する。埋土は灰黄褐色土層で、4~15cm大の礫が多数見うけられる。出土遺物は土師質土器釜1点、軒平瓦1点 (746)、平瓦5点等がある。

1007 (第77・99図; 図版41・85) A20CVに位置する。V区の遺構の中では上層遺構とされるものである。平面形は円形を呈し、直径45cm、深さ15cmで、埋土はにぶい黄褐色土層である。出土遺物は瓦器椀1点、須恵質土器鉢1点 (776) がある。

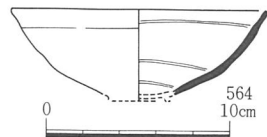
1014 (第78・82図; 図版35・86) A25CT付近に位置する。平面形は1.3×2.8m以上、深さ24cmの長方形を呈すると思われるが、

南東部分は1013-OSに切られて不明である。北東部の一部は1015-OOを切る。出土遺物は瓦器椀16点 (564)、土師質土器皿2点、釜2点、平瓦4点、丸瓦1点等がある。

1015 (第82図; 図版35・86) A25CT付近に位置する。 第78図 1014-OO 遺物図

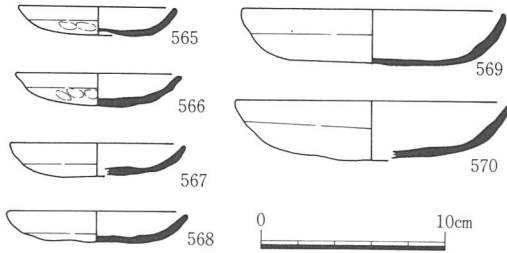


第77図 1005・1007-OO 平・断面図

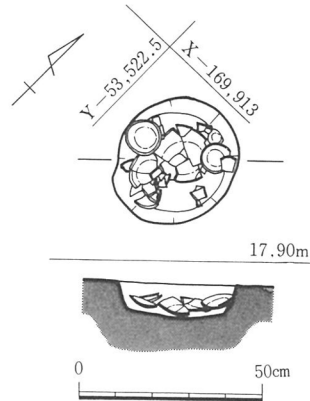


平面形は一辺2mの正方形を呈する。埋土は2層に分かれ、上下層ともに灰黄色系のシルト層である。出土遺物は瓦器椀1点、皿1点、土師質土器皿1点(787)、釜3点等がある。

1021(第79・80図; 図版35・85) A25DTに位置する。直径30cmの円形を呈し、深さは9cmである。埋土は灰褐色粘質土層である。出土遺物は、土師質土



第79図 1021-〇〇 遺物図



第80図 1021-〇〇 平・断面図

器皿の完形品(565~570)6点の他、瓦器椀、皿の小片がある。

1056(第123図) A25CUに位置する。平面形は楕円形を呈し、長径約60cm、短径55cm、深さ18cmで、埋土はにぶい黄褐色シルト層である。出土遺物は須恵質土器甕体部片1点の他、弥生土器甕体部片1点、高杯1点等がある。

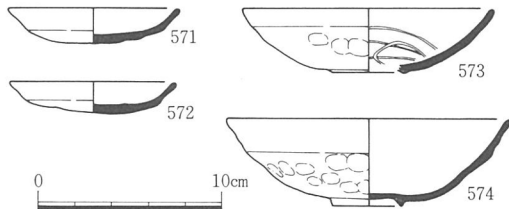
1057(第82図; 図版36・86) A25CTに位置する。平面形は円形に近い不定形である。直径約1.3m、深さ5~10cm程度である。埋土は黄褐色ないし黄灰色のシルト層である。出土遺物は数点で、瓦器椀4点(782)等が認められる。

1073(第123図; 図版36・86) A25BT付近に位置する。平面形は楕円形に近い不定形である。短径1.3m、長径は南東半部が削られているため不明、深さは12cm程度である。出土遺物は瓦器椀13点(783)、土師質土器皿2点等が認められる。

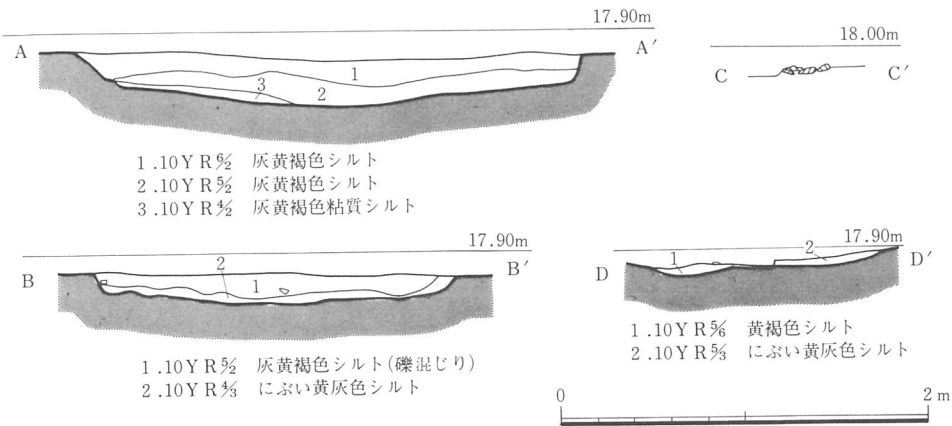
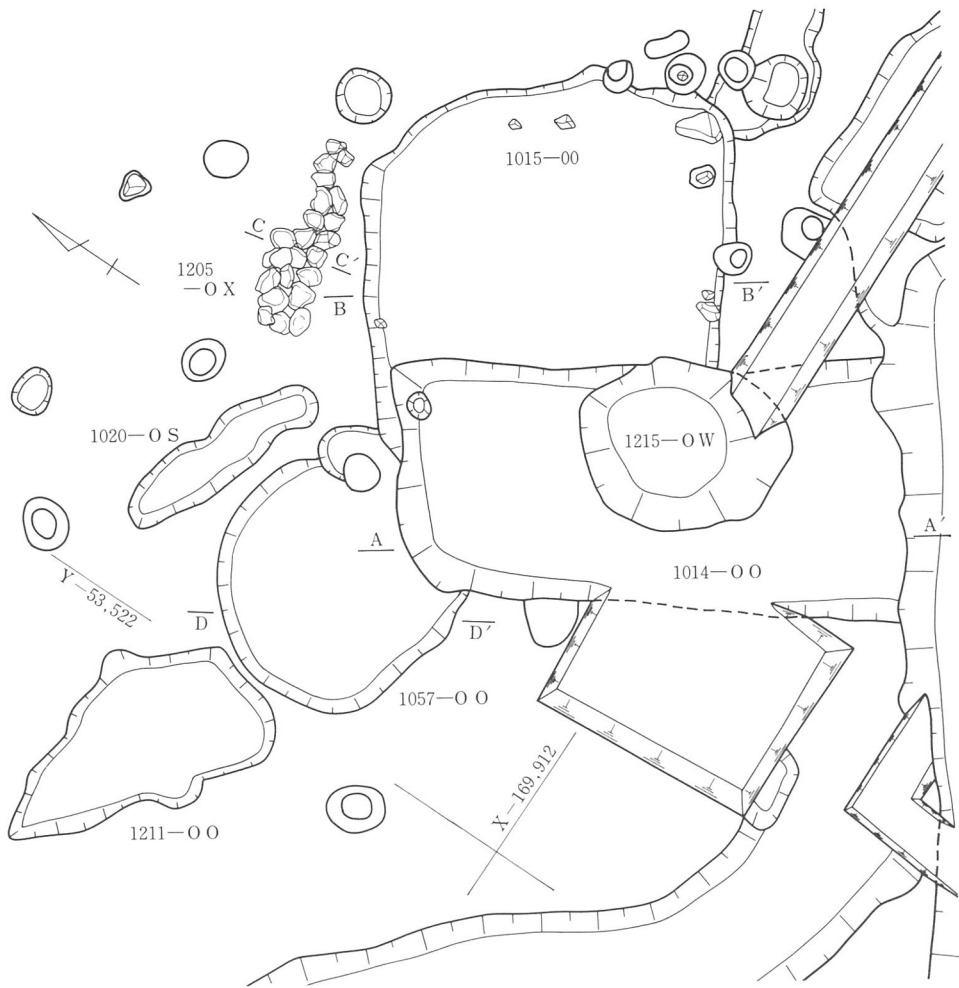
1149(第81・119図; 図版36・86) A25CSに位置する。平面形はほぼ円形を呈し、直径は、102~106cm、深さは12cmである。埋土は大きく2層に分かれ、褐色系の砂層あるいはシルト層である。出土遺物は数点で、瓦器椀6点(573)等が認められる。

1150(第81・119図; 図版36・85)

A25ARに位置する。平面形は円形を呈し、直径72cm、深さ20cmである。出土遺物は小規模な土坑にしては多く、瓦器椀11点(574)、皿2点(571・572)、



第81図 1149・1150-〇〇 遺物図



第82図 1014・1015・1057・1211-OO、1215-OW、1020-OS、1205-OX 平・断面図

土師質土器皿5点、釜1点、鉄釘1点等がある。

1154 (第123図；図版37・86) A20YRに位置する。平面形はほぼ円形を呈し、直径は約55cm、深さ約20cmである。埋土は2層に分かれ、黄褐色系のシルト層である。出土遺物は瓦器椀6点(781)、土師質土器皿1点がある。

1159 (第123図；図版37・86) A25ARに位置する。平面形は長方形を呈すると思われるが不明である。長辺1.7m以上、短辺1.2m、深さは10~15cmである。

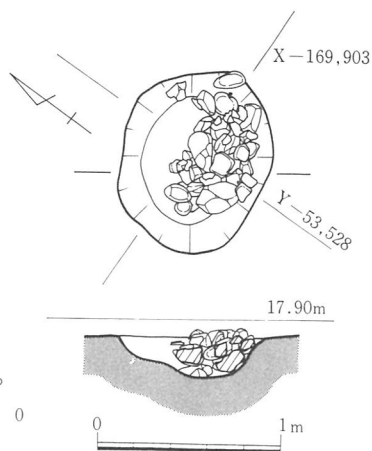
出土遺物は瓦器椀19点(777)、土師質土器皿18点、釜2点、白磁椀1点等がある。

1160 (第83・84図；図版37・85・87) A25AR・ASに位置する。平面形は楕円形に近い不定形である。長径約1m、短径約0.8m、深さ約0.5mである。土坑内には20~40cm程度の礫が詰まっている。埋土は1層で暗褐色シルト層である。

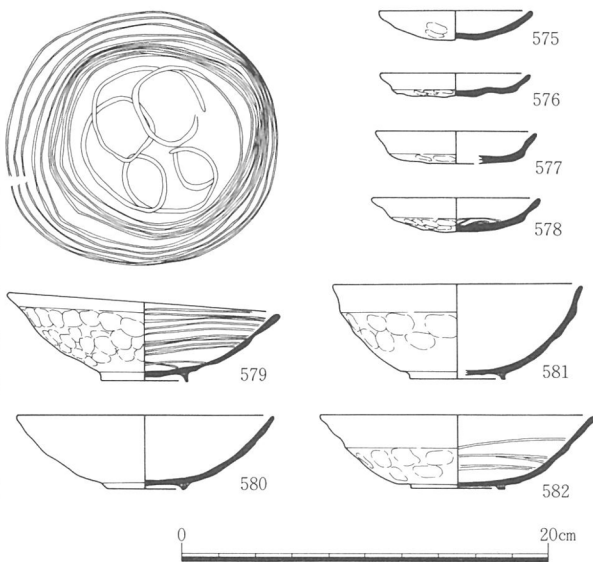
出土遺物は、瓦器椀24点(579~582)、皿4点(575~578)、土師質土器皿8点、平瓦3点等

がある。瓦器椀579の内面は底部にラセン状の暗文、体部に口縁部付近までヘラミガキが施されている。外面は指オサエの跡が顕著である。579の高台は細く高いが580~582のものは端部がつぶれて低くなっている。瓦器皿は575が底部から口縁部にかけてゆるやかに立ち上がる。576~578は底部と口縁部の境が強いナデによって明瞭である。底部外面はいずれも指オサエである。

1184 (第123図；図版37) A25ARに位置する。平面形は長方形に近い不定形である。長辺130cm、短辺約60cm、深さ約20cmである。埋土は1層で茶褐色粘質土層である。出



第83図 1160-OO 平・断面図

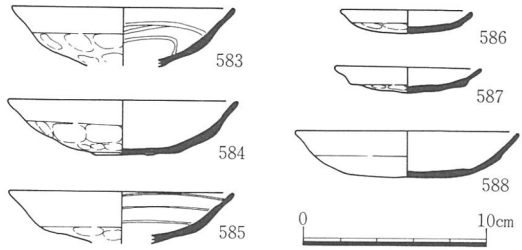


第84図 1160-OO 遺物図

土遺物は認められない。

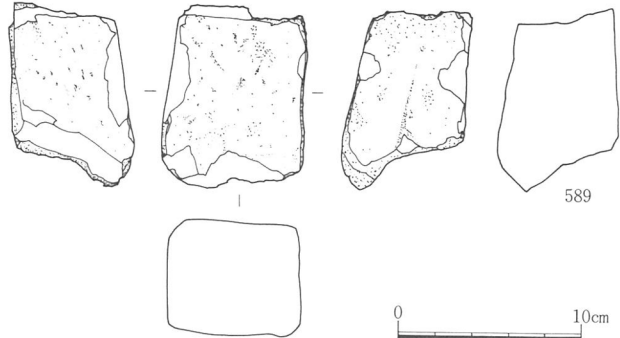
1200 (第85・86・88図；図版38・87)

A25C V付近に位置する。平面形はおおよそ4×3m以上の方形を呈するものと思われる。深さは、西半部が段を有して深くなっており、下段で45cm、上段で25



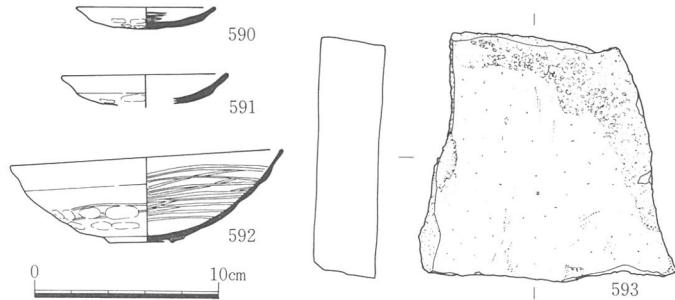
第85図 1200-O O 遺物図 1

cmである。埋土はにぶい黄褐色シルト層、明黄褐色粘質シルト層、暗褐色シルト層等である。南西端部では1295-O Wを切っている。出土遺物は瓦器碗119点 (583~585)、皿21点 (586・587)、土師質土器皿32点 (588



第86図 1200-O O 遺物図 2

)、釜 21 点、瓦質土器 三足釜 1 点、青磁皿 1 点、緑釉陶器碗 1 点 (789)、須恵器壺 1 点、杯 1 点、平瓦 13 点、砥石 1 点 (589) 等がある。



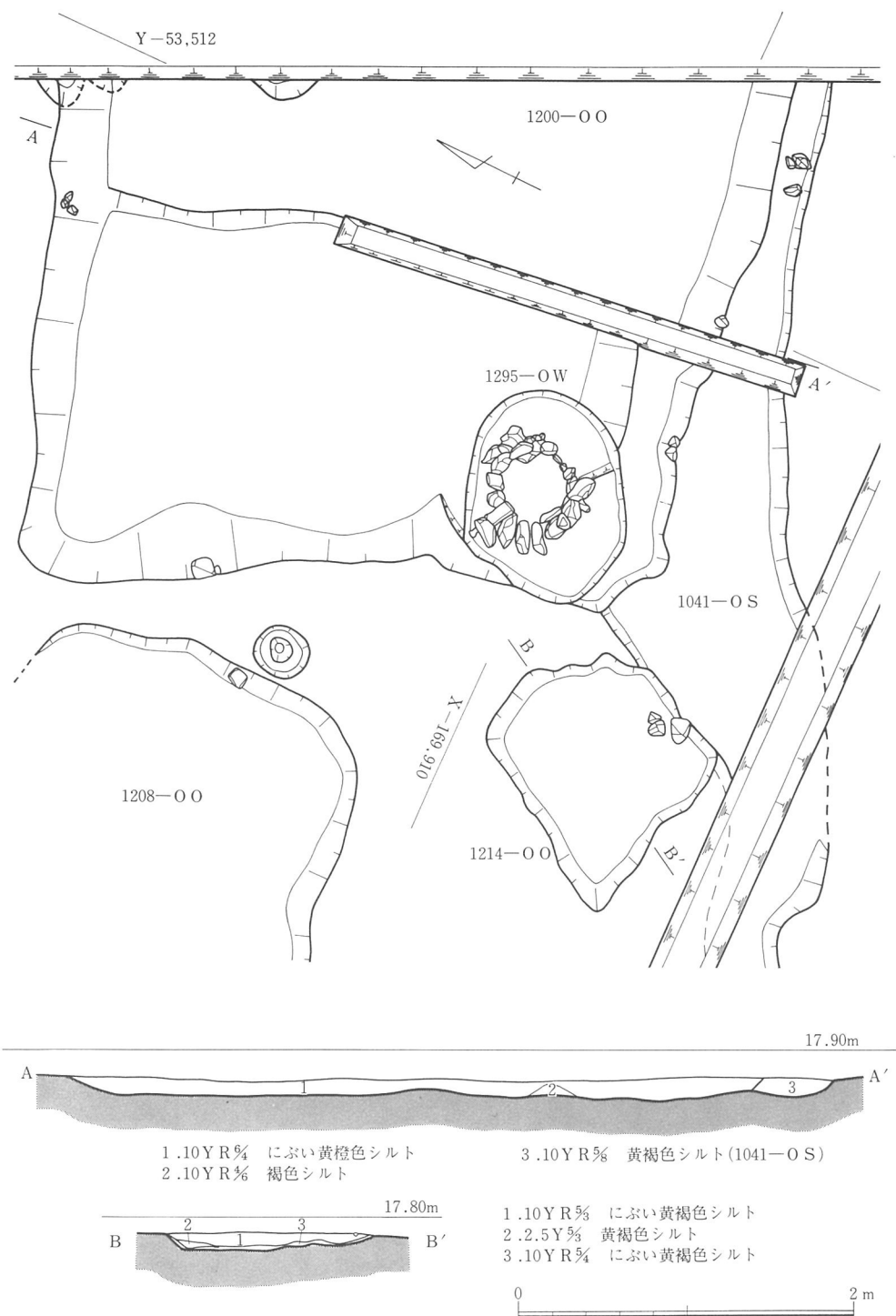
1201 (第87・89図；  
図版38・87) A25A U

第87図 1201-O O 遺物図

・BUに位置する。平面形はおおよそ3×3m以上の方形を呈するものと思われる。深さは25cmである。埋土はにぶい黄褐色シルト層、褐色シルト層等である。

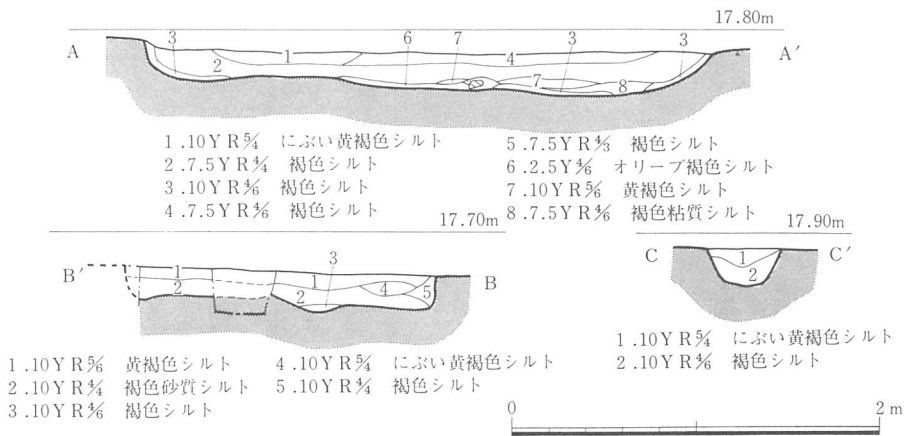
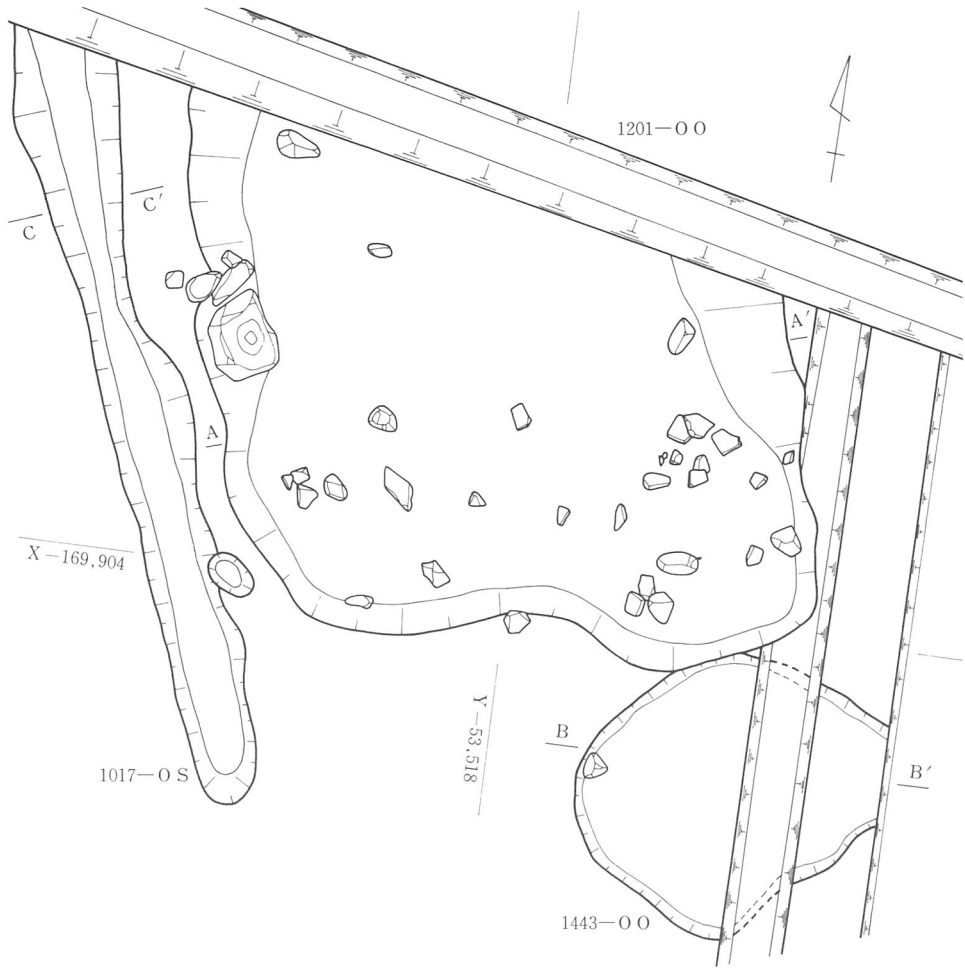
出土遺物は瓦器碗87点 (592)、皿10点 (590・591)、土師質土器皿 5 点、釜 6 点、鉢 3 点、須恵質土器鉢 1 点、平瓦 2 点、砥石 1 点 (593)、不明石製品 1 点である。不明石製品は、45×35cm、厚さ20cmで、上面に直径16cmの半球状の窪みを有する。上面および側面は加工を施し平坦に仕上げるが、下面は未加工である。

1208 (第88図；図版38・86) A25C U付近に位置する。平面形は方形に近い不定形で、一辺約2.3m、深さ20cmである。埋土は黄灰色シルト層と灰白色シルト層の2層で、埋土中には10~50cm大の礫が多数包含される。北端では1210-O Oを切る。



第88図 1200・1208・1214-O O、1295-O W、1041-O S 平・断面図





第89図 1201・1443-O O、1017-O S 平・断面図

出土遺物は瓦器椀21点、皿2点(785)、土師質土器皿11点、釜2点、鉢1点、須恵質土器皿1点、壺1点、白磁椀1点、平瓦5点である。

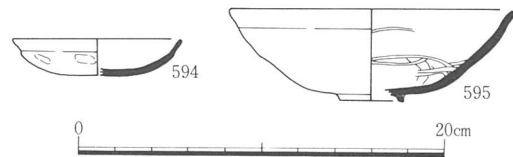
1210(第123図; 図版39・86) A25BVに位置するものであるが、他の土坑等に切られ50×80cm分のみを検出した。深さは約10cmである。埋土は灰黄褐色シルト層である。北端部では1416-OOを切る。

出土遺物は土師質土器皿1点(786)、釜1点、黒色土器椀1点の他、瓦器、土師質土器の小片が若干出土している。

1211(第82図; 図版39) A25CTに位置する。平面形は方形を呈し、長辺約1.6m、短辺約90cm、深さ約5cmである。埋土は黄褐色シルト層とにぶい黄灰色シルト層との互層を呈する。

出土遺物は土師質土器の小片がわずかに認められる。

1214(第88・90図; 図版39) A25CVに位置する。平面形は方形に近い不定形で、長辺約1.3m、短辺約1.1m、深さ12cmである。埋土はにぶい黄褐色シルト層と黄褐色シルト層である。東側の一部は1041-OSを切っている。



第90図 1214-OO 遺物図

出土遺物は瓦器椀2点(595)、皿2点(594)、土師質土器皿1点、釜1点、弥生土器高杯1点の他、土師質土器、須恵質土器の小片がある。

1270(第123図; 図版86) A25ES付近に位置する。調査区外にのびるため全容は不明である。検出しえたのは、5.7×1.2m分で、深さは約50cmである。埋土は暗灰黄色シルト層、黄灰色シルト層、灰黄褐色砂質シルト層、灰褐色砂層である。

出土遺物は瓦器椀2点、土師質土器釜体部片3点、甕体部片1点(788)、須恵質土器鉢体部片1点等がある。

1282(第123図; 図版38) A25CWに位置する。調査区外にのびるため平面形は明らかではないが、直径65cmの円形を呈するものと思われる。深さは15cmである。埋土は灰黄褐色粘質シルト層である。1012-OSを切る。出土遺物は認められない。

1416(第123図; 図版39) A25BVに位置する。平面形は楕円形と思われるが不明である。短径約120cm、深さ30~40cmである。黄色粘土層をベースとして掘り込まれた土坑であるが、出土遺物が認められないために時期不明である。しかし埋土が黄褐色系の粘質土層であり、付近の遺構と近似していることから中世に属すると考えられる。

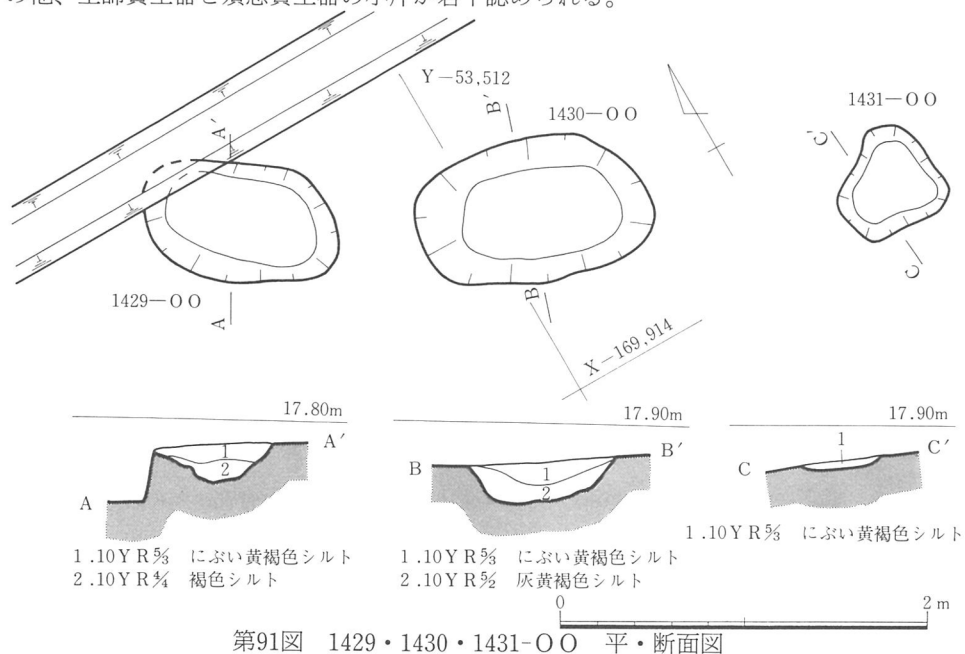
1429 (第91図；図版40) A25DV付近に位置する。平面形は楕円形に近い不定形である。長径106cm、短径66cm、深さ約20cmである。埋土は2層に分かれ上層は黄褐色系のシルト層、下層は褐色シルト層である。この土坑も1416-OOと同様出土遺物が認められないが、中世に属すると考えられる。

1430 (第91図；図版40) A25DV付近に位置する。平面形は楕円形を呈すると思われるが、南東部分を欠損している。長径約130cm、深さ22cmである。埋土は2層に分かれ、上層は黄褐色系のシルト層、下層は灰黄褐色シルト層である。この土坑も1416-OOと同様出土遺物が認められないが、中世に属すると考えられる。

1431 (第91図；図版41) A25DWに位置する。平面形は方形に近い不定形である。一辺約60cm、深さ約5cmである。埋土は黄褐色系のシルト層である。この土坑も1416-OOと同様出土遺物が認められないが、中世に属すると考えられる。

1443 (第89図；図版40・86) A20BU・BVに位置する。平面形は正方形に近い不定形である。一辺約1.3mである。埋土は5層に分かれるが、黄褐色系ないし褐色系のシルト層である。出土遺物は瓦器椀(780)、皿が少量認められる。

1618 (第123図；図版86) A20YP付近に位置する。平面形は方形に近い不定形で約2.2×1.3m、深さ約30cmである。埋土は明褐色シルト層である。出土遺物は瓦器椀2点(778)の他、土師質土器と須恵質土器の小片が若干認められる。



#### 4. 井戸 (OW)

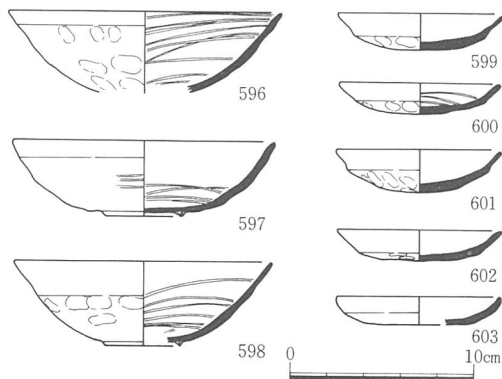
1 1 4 8 (第93・96図；図版42・88) A25C Pに位置する。掘方底部中央に曲物の井筒を据え、その周囲に石組の井側を持つ構造である。掘方の平面形はほぼ円形を呈し、上端部直径0.9m、底部直径0.7m、深さ0.7mである。井側石組は7～8段残存している。平面形は北西部分で石組が直線的に並ぶ箇所が認められるが、ほぼ円形を呈し、掘方底部より掘方壁に沿って直径15～25cm程度の河原石を西側では垂直に、東側ではやや上方に開きぎみに積み上げる。井筒の曲物は破損が著しく図示できなかったが、直径35cm、高さ20cm、厚さ0.3cmのものである。石組との隙間には灰色粗砂層の裏込め土が認められた。また南側の一部では、曲物の上端部の周囲に直径20cm前後の河原石を配する箇所が認められ、井戸が構築された当初は全体に巡っていたものと考えられる。埋土は大きく2層に分かれ、下層は曲物内の埋土で灰色粘土層、それより上層は褐色系の粘土層である。下層からは石組から転落した石材が検出された。北東側一部は1209-O X、1605-O Lを切っている。

出土遺物は瓦器碗3点、土師質土器皿3点(612)、釜3点、瓦質土器甕1点、青磁碗1点(614)、平瓦2点があるがいずれも小片で、出土層位も一様でない。

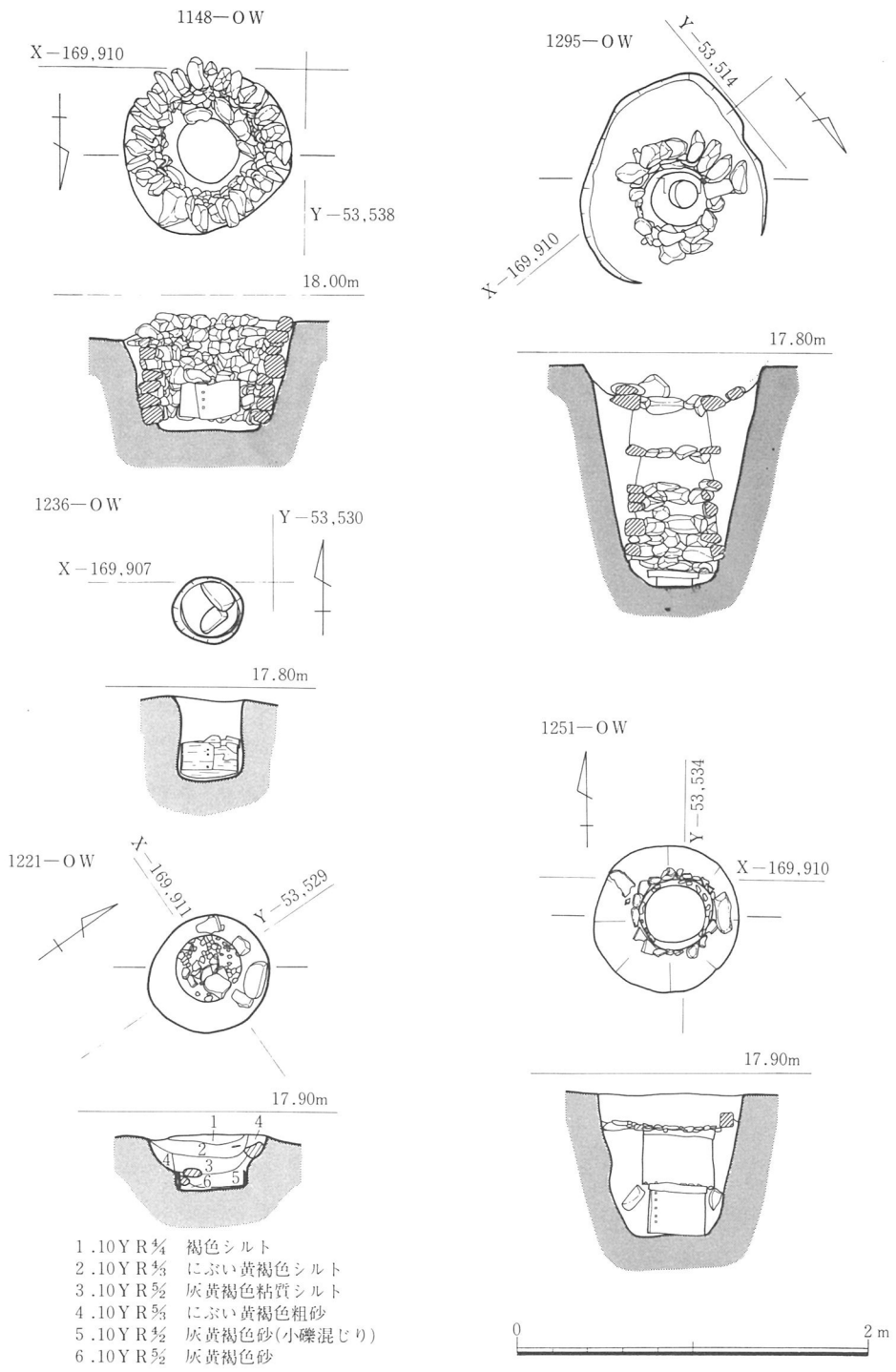
1 1 5 1 (第92・106図；図版44・88) A20Y Sに位置する。北側は調査区外におよぶため全容を明らかにできなかったが、井側に石組を用いる構造であると考えられる。掘方は円形を呈すると考えられ、上端部直径1.8m、深さ1m以上である。石組は直径10cm前後の河原石を円形に巡らす。井筒部分は明確にはわからなかったが、他の井戸の構造を考えると、曲物を使用していた可能性が高い。埋土は石組より上層で黄褐色系の粘質シルト層である。

出土遺物は瓦器碗81点(596～598)、皿11点(599～602)、土師質土器皿16点(603)、釜2点、黒色土器碗2点、平瓦2点、丸瓦2点があるが、出土層位は一様ではない。

1 2 0 4 (第94・95図；図版44・88) A25D S・D Tに位置する素掘りのものである。平面形はほぼ楕円形を呈する。直径は0.9m、深さは1.8mである。この井戸の構築された場所は河川(1641-O R)のベース面上にあたり、湧水層はこ



第92図 1151-OW 遺物図



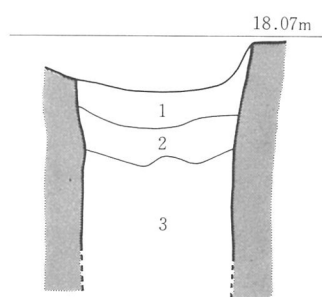
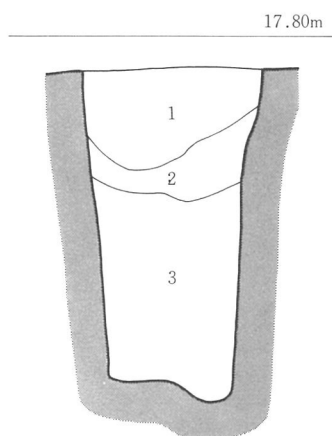
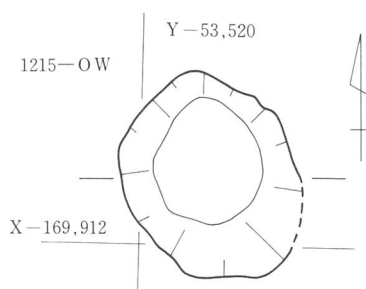
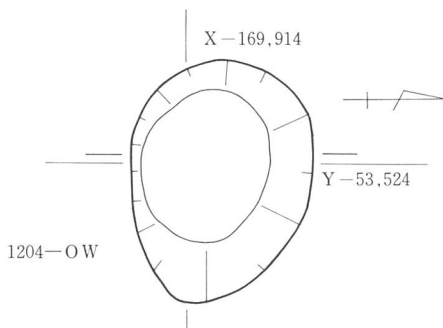
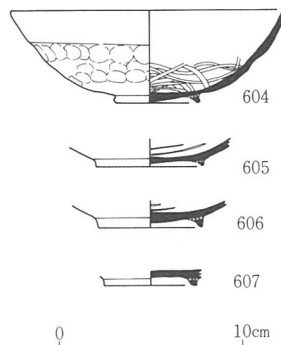
第93図 1148・1221・1236・1251・1295-OW 平・断面図

の井戸の底面よりさらに下層に位置すると推測され、実際に井戸として機能していたとは考え難い。埋土は3層に分かれ、下層より緑灰色粘質シルト層、黄褐色粘土層、褐色粘土層であるが、上層の2層には灰黄色砂礫層がブロック状に認められ、人為的に埋め戻されたことが窺える。

出土遺物は瓦器椀8点(604~607)、土師質土器釜2点である。瓦器椀604は井戸上端部より30cm程下のテラス部に伏せて置いた状態で出土している。

1215 (第82・95・96図；図版44・88) A25CUに位置する、素掘りのものである。平面形は円形を呈し、直径1m、深さ1.4m以上である。この井戸の構築された場所も1204-O

W同様であり、実際に井戸として機能していたかは問題が 第94図 1204-OW 遺物図



- 1. 2.5Y% 黄灰色シルト(小礫混じり)
- 2. 10YR% 灰黄褐色粘質シルト
- 3. 10G% 暗緑灰色粘質シルト

- 1. 2.5Y% オリーブ褐色粘土(10YR% 灰黄褐色砂礫混じり)
- 2. 10YR% 明黄褐色粘土(10YR% 灰黄褐色砂礫混じり)
- 3. 10G% 暗緑灰色粘質シルト



第95図 1204・1215-OW 平・断面図

ある。埋土は3層に分かれ、下層より暗緑灰色粘質シルト層、灰黄褐色粘質シルト層、黄灰色シルト層である。また灰黄褐色粘質シルト層中には灰色系の粘土がブロック状に認められ、この井戸が人為的に埋めもどされたことが窺える。

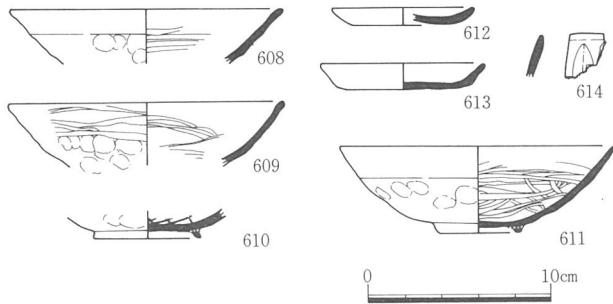
出土遺物は瓦器椀36点(608~610・790・791)、皿2点、土師質土器皿15点、釜1点、平瓦1点、丸瓦3点等があるが、いずれも小片で出土層位は一樣ではない。

1220(第123図; 図版44・88) A20YO・YPに位置する、素掘りのものである。平面形はほぼ円形を呈し、直径1m、深さ0.9mである。この井戸の構築された場所は、河川(1641-OR)のベース面にあたり、湧水層はこの井戸の底面よりかなり下層と推定され実際に井戸として機能していたかは問題である。埋土は上層が黄褐色系の粘質シルト層、下層が褐色系の粘土層である。

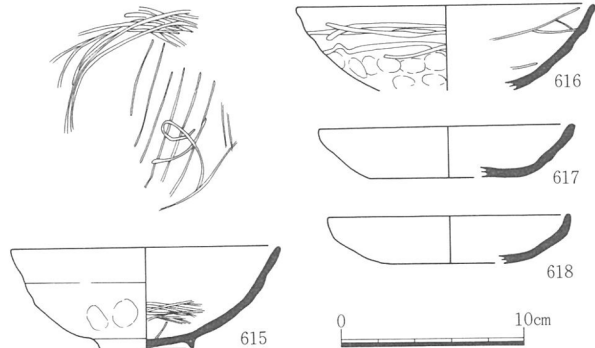
出土遺物は瓦器椀1点(792)、土師質土器釜1点、白磁椀1点(793)、平瓦1点が認められるが、いずれも小片で出土層位は一樣ではない。

1221(第93・97図; 図版43・88) A25CRに位置する。掘方底部に曲物を井筒として据える構造である。掘方の平面形はほぼ円形、断面形はすり鉢状を呈し、上端部直径0.7m、底部直径0.4m、深さ0.2mである。曲物は破損が著しく図示できなかったが、直

径37cm、高さ10cm、厚さ0.3cmのもので、掘方の壁に沿って据えられている。井筒の底には直径約3cmの円礫や土師質土器釜の体部片を全体に敷いている状況で検出された。井筒の上部構造については明確ではないが、北側の一部で曲物の上端部の縁に沿って直径10~20cm程度の河原石を並べている状況が認められ、井側として1~2段程の石組を持っていた可能性がある。埋土は大きく3層に分かれ、下層より灰黄褐色砂層、灰黄褐色粘質シルト層、にぶい黄褐色シルト層で、曲物内灰



第96図 1148・1215・1236・1295-OW 遺物図



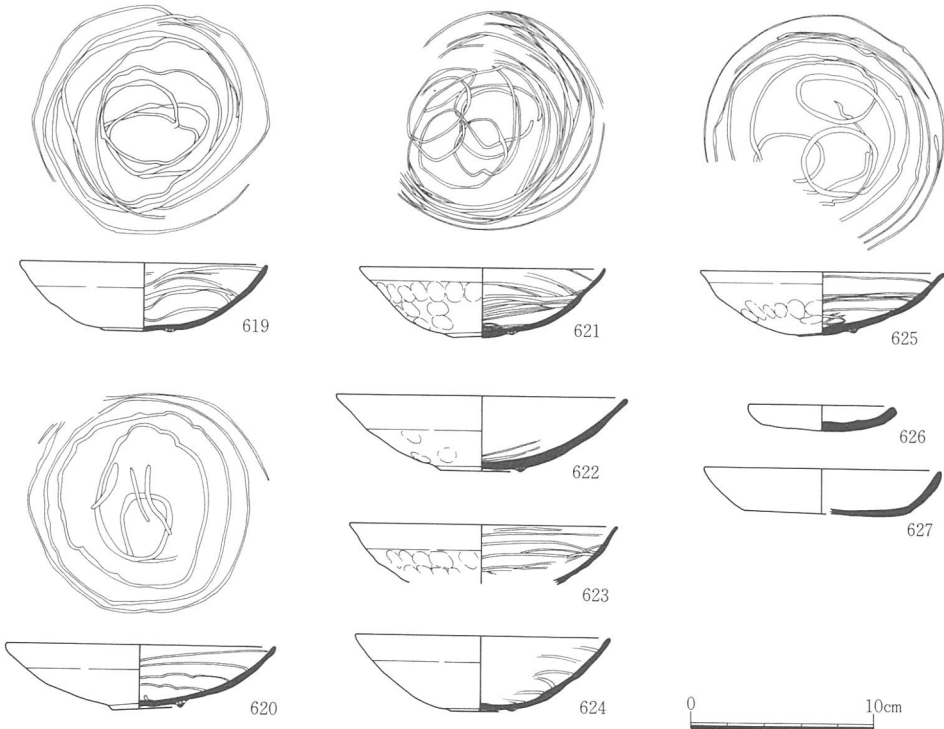
第97図 1221-OW 遺物図

黄褐色粘質シルト層中からは、上部構造の使用石材と考えられる河原石が落ち込んだ状況で検出された。

出土遺物は瓦器椀6点(615・616)、土師質土器皿7点(617・618)、釜2点があるが、出土層位は一様でない。

1 2 3 6 (第93・96図; 図版43・88) A25BRに位置する。掘方底部に曲物を井筒として据える構造である。掘方の平面形は円形を呈し、上端部直径40cm、底部直径35cm、深さ45cmである。曲物は破損が著しく図示できなかったが、直径33cm、高さ20cm、厚さ0.3cmのもので、掘方の壁に沿って据えられている。井筒の上部構造については不明な点が多いが、掘方の壁に曲物が沿って据えられているため、曲物の上部に石組の井側を構築することは困難であり、曲物をもう一段重ねていた可能性もある。埋土は灰黄褐色シルト層1層で、曲物内の底より直径30cm前後の河原石が2個落ち込んだ状況で検出された。出土遺物は瓦器椀6点(611)があるが、出土層位は一様ではない。

1 2 5 1 (第93・98・108・113図; 図版43・89・96) A25CQに位置する。掘方底部より曲物二段を井筒および井側として据える構造である。掘方の平面形はほぼ円形を呈し、



第98図 1251-OW 遺物図



上端部直径0.4m、底部直径0.4m、深さ0.8mである。曲物はいずれも破損が著しく図示できなかったが、井筒となる下段の曲物は直径32cm、高さ30cm、厚さ0.3cm、井側となる上段の曲物は直径40cm、高さ30cm、厚さ0.3cmである。井側、井筒全体の深さは64cmである。下段の曲物の上端部の周囲には縁に沿って、直径約4cmの円礫が粗く一列に敷き並べられ、上段の曲物の上端部の周囲にも直径約8cmの円礫や平瓦の小片を比較的密に敷き並べており、各段ごとに曲物周囲の裏込めが行なわれたことが推定できる。埋土は大きく3層に分かれ、曲物内は底より10cm程の厚さで灰色砂層、その上層には灰黄褐色砂質シルト層が厚く堆積し、最上層には灰黄褐色系の砂層が堆積していた。北東側の一部は1209-OX、1605-OLを切っている。

出土遺物は瓦器椀23点(619～625)、土師質土器皿2点(626・627)、釜3点、須恵質土器甕1点、軒平瓦1点(745)、平瓦2点、丸瓦1点、櫛1点(810)がある。この内瓦器椀4点(619～621・625)、土師質土器皿2点(626・627)は完形品あるいはそれに近いもので、底より約20cm上部で口縁部を上にし、重なるようにして集中的に出土しており、曲物内の埋土が単一的であることも考え合わせると、井戸廃絶後に一括投棄され、同時に井戸も埋められていることが推定される。その他の遺物はいずれも小片で出土層位も一様ではない。

1295 (第88・93・96図；図版42・89) A25CVに位置する。掘方の底部に曲物二段を井筒として据え、その上部に石組の井側を用いる構造である。掘方の平面形は楕円形を呈し上端部長径1.3m、短径1m、底部直径0.7m、深さ1.3m以上である。井筒曲物は破損が著しく図示できなかったが、下段のものは直径25cm、高さ5cm、厚さ0.3cm、上段のものは直径35cm、高さ4cm、厚さ0.3cmである。井側は円形を呈し、直径40cm、深さ1mであるが、石組が認められる部分とそうでない部分がある。下段は、直径10～20cmの河原石を井筒曲物の上端部の縁に沿って8～9段程ほぼ垂直に約50cm積み上げ、中段は底より70cm付近で一段、上段は二段程積み上げている。石組の認められない部分の構造については不明確な点が多いが、1251-OWのように曲物が使用されていた可能性が高い。上段石組の裏込め土は褐色系のシルト層である。埋土は大きく3層に分かれ、下層より灰黄褐色粘土層、黄褐色粘質シルト層、灰黄褐色シルト層である。

出土遺物は瓦器椀10点、皿1点、土師質土器皿4点(613)、釜2点、黒色土器椀1点があるがほとんどのものは小片で、出土層位も一様ではない。また最下層からは破損が著しく図示できなかったが、直径15cm、高さ9cm、厚さ0.2cmの曲物の容器が出土している。

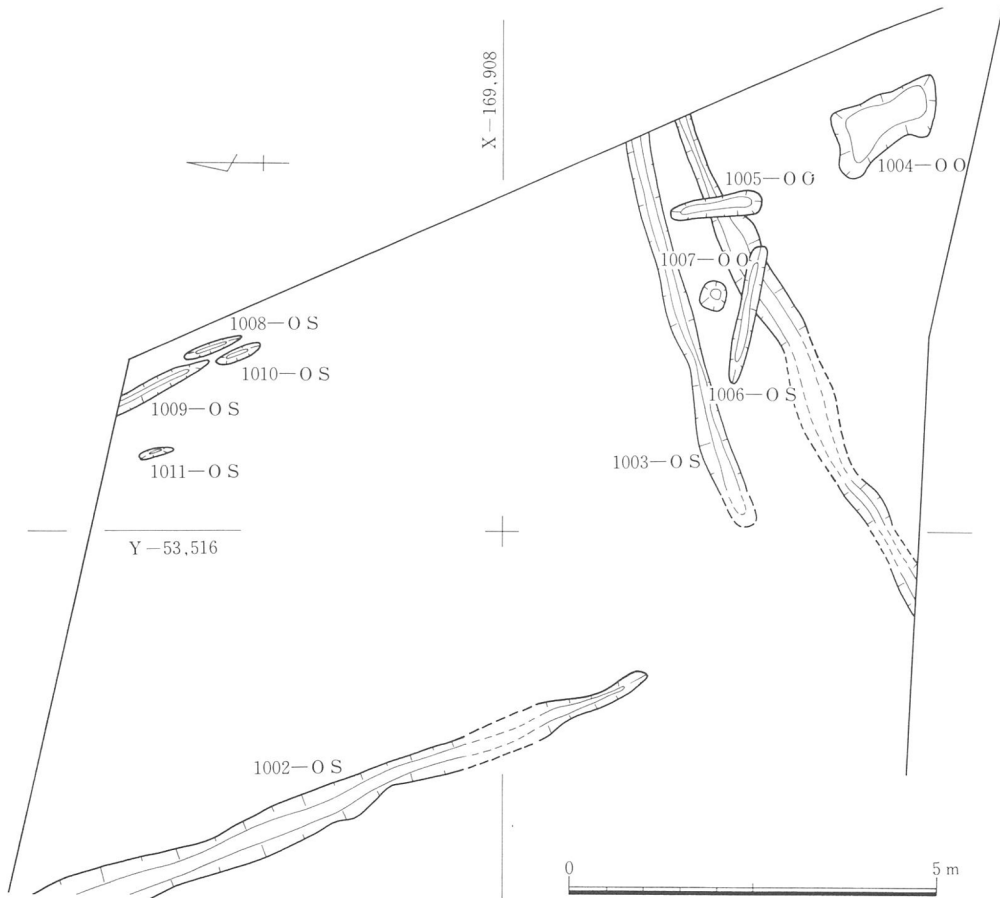
5. 溝 (OS)

505 (第119図) A19AE~PT (I~II区) にかけて位置する。幅約1m、深さ約15cmである。埋土は灰褐色粘質土層である。I区東端で510-OSを切る。出土遺物は極めて少ないが、瓦器を含む包含層をベースにしている。

510 (第119図) A19DH~FJ にかけて位置する。幅80cm程度であるが、505-OSに切られているために長さ、深さ等は不明である。出土遺物は少なく、瓦器の小片が1点、土師質土器甕体部片が数点あるのみである。

520 (第119図) A19BE~CG にかけて位置する。全長約4.4m、幅10~15cm、深さ約10cmである。出土遺物は認められないが、505-OSと同一面から検出された。

1002 (第99図; 図版90) A25BT 付近に位置する。V区の遺構の中では上層遺構とされるものである。北西から南東方向のもので、長さ約9.5m分を検出した。幅は約60cm、



第99図 1004・1005・1007-OO、1002・1003・1006・1008~1011-OS 平面図

深さは約20cmである。埋土はにぶい黄橙色土層である。出土遺物は瓦器椀7点、皿1点(798)、土師質土器皿5点、釜1点、丸瓦1点等がある。

1003 (第99図; 図版41・89) A25C V付近に位置する。V区の中では上層遺構とされるものである。北東から南西方向のもので、長さ約5.5m分を検出した。幅は約30cm、深さは約5cmである。埋土は灰白色細砂層である。出土遺物は瓦器椀17点、皿6点(794)、土師質土器釜6点、平瓦2点等がある。

1006 (第99図; 図版41・90) A25C Vに位置する。V区の遺構の中では上層遺構とされるものである。長さ3.7m、幅50cm、深さ6cmのものである。埋土は灰黄色土層で、10~25cm大の礫を包含する。出土遺物は瓦器椀1点(800)、土師質土器皿2点、釜1点、平瓦3点である。

1008 (第99図) A25A V・B Vに位置する。V区の遺構の中では上層遺構とされるものである。北西から南東方向のもので、長さは約80cm、幅は約10cm、深さは約5cmである。埋土は灰黄褐色粘質シルト層である。出土遺物は認められない。

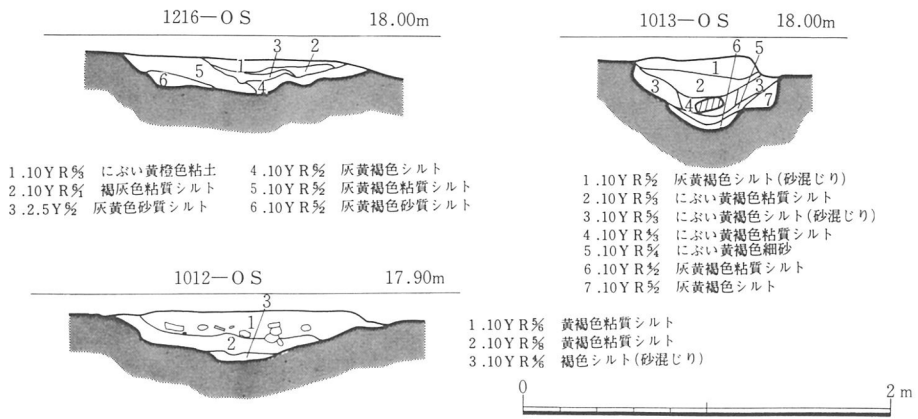
1009 (第99図) A25A Vに位置する。V区の遺構の中では上層遺構とされるものである。北西から南東方向のもので、長さは1.2m分を検出した。幅は約10cm、深さは約5cmである。埋土は灰黄褐色粘質シルト層である。出土遺物は認められない。

1010 (第99図) A25B Vに位置する。V区の遺構の中では上層遺構とされるものである。北西から南東方向のもので、長さは約60cm、幅約10cm、深さ約5cmである。埋土は灰黄褐色粘質シルト層である。出土遺物は認められない。

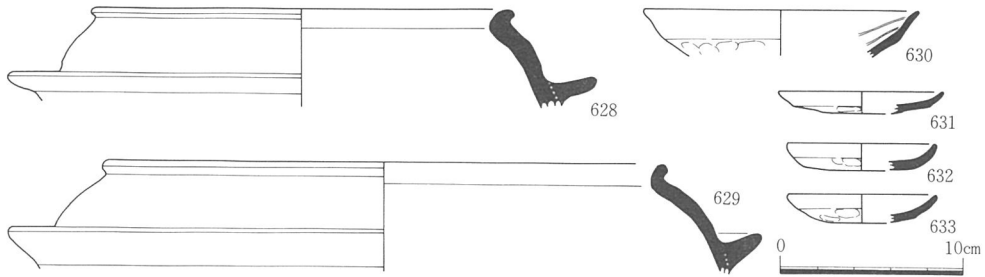
1011 (第99図) A25A Vに位置する。V区の遺構の中では上層遺構とされるものである。北西から南東方向のもので、長さは約50cm、幅約10cm、深さ約5cmである。埋土は灰黄褐色粘質シルト層である。出土遺物は認められない。

1012 (第100・101図; 図版89・90) A25D V付近に位置する。北東から南西方向のもので、長さ約6m分を検出した。幅は1.4~1.7m、深さは約30cmである。埋土は褐色系のシルト層である。1429・1430-O Oを切る。出土遺物は瓦器椀74点(630)、皿3点(631)、土師質土器皿13点(632・633)、釜26点(628・629)、黒色土器椀体部片1点、瓦質土器釜1点、須恵質土器鉢1点、平瓦19点、丸瓦4点等がある。

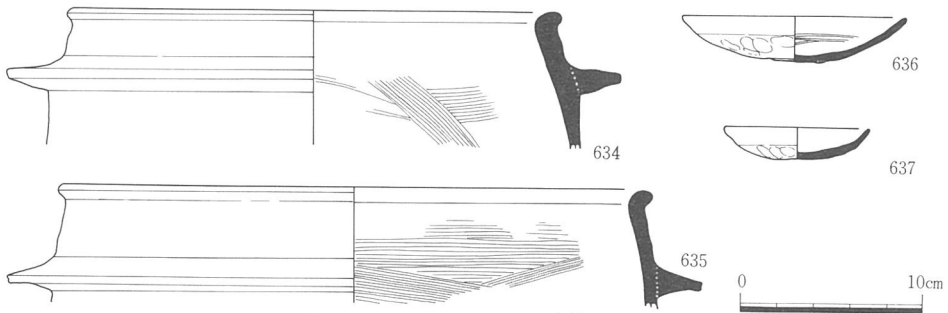
1013 (第100・102図; 図版89) A25D T付近に位置する。北東から南西方向のもので、長さ約7.8m、幅60~90cm、深さ約40cmである。埋土は灰黄褐色シルト層、にぶい黄褐色粘質シルト層、灰黄褐色粘質シルト層等である。北東部では1014-O O、1038-O Pを



第100図 1012・1013・1216-O S 断面図



第101図 1012-O S 遺物図



第102図 1013-O S 遺物図

切る。出土遺物は瓦器椀34点(636)、皿3点(637)、土師質土器皿24点、釜13点(634・635)、瓦質土器鉢1点、須恵質土器甕体部片2点、白磁椀1点、平瓦9点、丸瓦1点等がある。

1017(第89図;図版90) A25A T付近に位置する。北西から南東方向のもので、長さ約4.3m分を検出した。幅は約50cm、深さは約20cmである。埋土は2層で、上層はにぶい黄褐色シルト層、下層は褐色シルト層である。出土遺物は瓦器椀3点、土師質土器皿6点

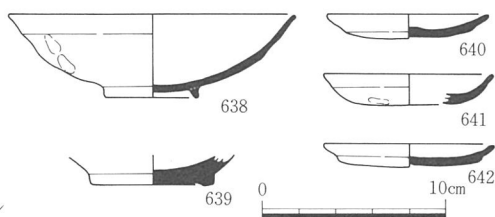
(799)、釜 1 点等がある。

1 0 1 8 (第123図；図版90) A25C Uに位置する。北西から南東方向のもので、長さ約1.9m分を検出した。幅は約20cm、深さは約15cmである。埋土はにぶい黄褐色シルト層と褐色シルト層である。出土遺物は瓦器椀 3 点 (797) の他、黒色土器椀体部片 1 点等がある。

1 0 1 9 (第123図) A25D T付近に位置する。北西から南東方向のもので、長さ約4.5m分を検出した。幅は約1m、深さは約15cmである。埋土は灰黄褐色のシルト層および砂層、中礫層である。出土遺物は認められないが、1021-O O、1013-O S、1273-O Bの柱穴である1252-O Pに切られる。

1 0 2 0 (第82図) A25C Tに位置する。長さ約1.2m、幅約30cm、深さ約3cmである。埋土はにぶい黄灰色の細礫混じりシルト層である。出土遺物は認められない。

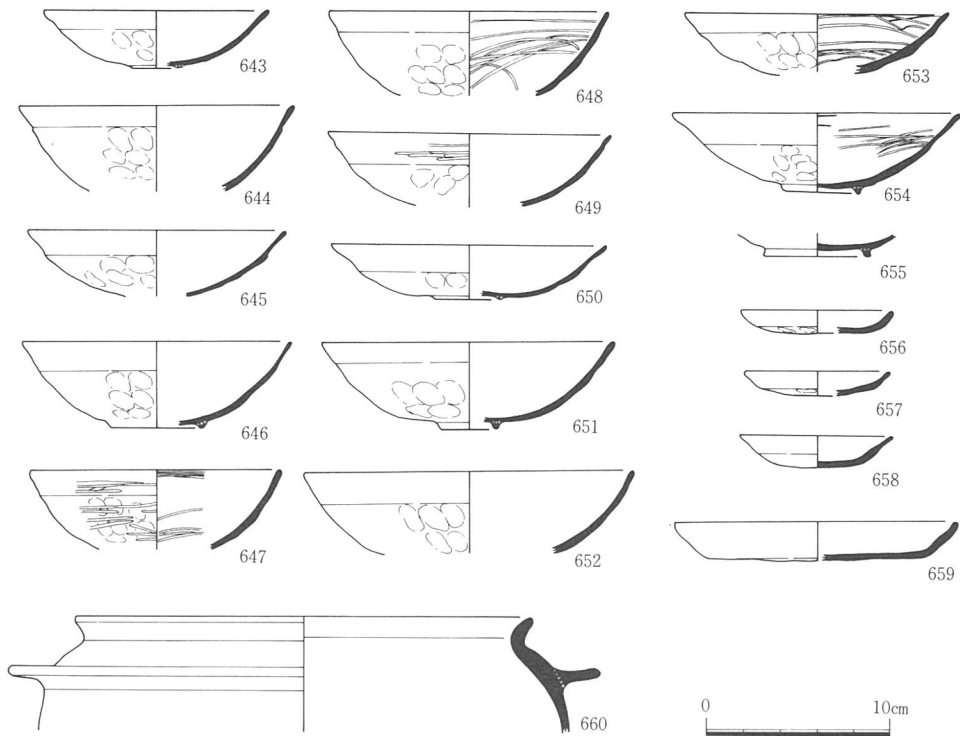
1 0 4 1 (第88・103図；図版91) A25D U付近に位置する。北東から南西方向のもので、長さ約8.8m分を検出した。幅は南東部で約40cm、北東部で約1.1mである。深さは10~20cmである。埋土は黄褐色シル



ト層である。北東部では1200-O Oに切られる。 第103図 1041-O S 遺物図

出土遺物は瓦器椀55点 (638)、皿 6 点 (640・641)、土師質土器皿17点 (642)、釜22点、黒色土器椀 1 点、瓦質土器釜 1 点、白磁椀 1 点 (639)、須恵質土器甕体部片 3 点等がある。この溝の方向が1273-O Bの方向にほぼ近いことやこれらの出土遺物、あるいはこの溝を境にして北方で多数の遺構が検出されることなどから1273-O Bを中心とする土地区画があり、その南東辺にあたるものであると思われる。

1 2 1 6・1 2 1 9 (第100・104図；図版91) A20X R~A25D Qに位置する。北東から南西方向の溝が、A25A Oで「く」の字状に屈曲して、南東方向に至るもので、この屈曲部を境にして前者を1219-O S、後者を1216-O Sとする。検出長は1219-O S部分で約13m、1216-O S部分で約15mである。幅は屈曲部付近で最大となり約2mであるが、その他の部分はほぼ0.5~1mである。深さは20~30cmである。埋土は一様でなく、1219-O Sの北東部ではにぶい黄褐色シルト層であるが、屈曲部付近は灰黄色系あるいは明褐色系のシルト層である。また1216-O Sの中央付近はにぶい黄橙色粘土層、褐灰色粘質シルト層の他、灰黄色系のシルト層である。



第104図 1216・1219-O S 遺物図

出土遺物は1216-O S部分では瓦器碗126点（643～646・648～650・652～654）、皿4点、土師質土器皿68点（656・659）、釜11点（660）、黒色土器碗1点、瓦質土器甕体部片1点、須恵質土器鉢4点、甕体部片1点、平瓦9点、弥生土器甕1点の他、土師質土器、須恵質土器の小片があり、1219-O S部分では瓦器碗90点（647・651・655）、皿2点、土師質土器皿80点（657・658）、釜6点、須恵質土器鉢2点、甕体部片6点、白磁碗体部片1点、須恵器杯1点の他、土師質土器、須恵質土器の小片がある。この溝の方向が1273-O Bの方向とほぼ同じであることやこれらの出土遺物、あるいはこの溝を境にして東方で多数の遺構が検出されることなどから1273-O Bを中心とする土地区画があり、その北西辺と南西辺にあたるものと思われる。

1 2 3 3（第123図；図版90） A25 C S付近に位置する。北西から南東方向のもので、長さ約5m分を検出した。幅は50cm前後、深さは約10cmである。埋土は褐色粗砂層である。

出土遺物は瓦器碗2点（795）、皿1点（796）、土師質土器皿1点、釜体部片11点、土師器壺1点、甕1点、弥生土器壺1点、甕3点等がある。

1 4 0 7（第123図；図版46・92） A25 A V・B Vに位置する。検出長は約1.1m、幅約40

cm、深さ約3cmである。埋土は褐色シルト層である。出土遺物は認められない。

1410 (第123図) A25BVに位置する。北西から南東方向のもので、検出長は約1m、幅約20cm、深さ約15cmである。埋土は黄褐色粘質シルト層である。出土遺物は認められない。

1632 (第123図；図版90) A20YN付近に位置する。北西から南東方向のもので、わずかに蛇行している。長さは約35m分を検出した。幅は50～80cm、深さは10～20cmである。埋土は黄褐色シルト層である。出土遺物は瓦器椀1点、皿1点(804)、黒色土器椀1点(803)、須恵質土器鉢2点(805)、平瓦3点等がある。

1633 (第123図) A25BO付近に位置する。北西から南東方向のもので、長さ約15m分を検出した。幅は約70cm、深さは約35cmである。埋土は2層で上層はにぶい黄褐色シルト層、下層は褐灰色シルト層である。北西部では1632-OSを切る。出土遺物は瓦器椀4点、土師質土器釜22点、瓦質土器釜1点、甕体部片3点、平瓦7点、丸瓦3点等がある。

1634 (第123図) A20XM付近に位置する北西から南東方向のものと思われる。長さは約13m分を検出した。幅は全幅を検出していないため不明であるが1.5m以上、深さは30cm以上である。埋土はにぶい黄褐色砂質シルト層である。1632-OSを切る。出土遺物は瓦器椀37点、土師質土器皿2点、釜36点、瓦質土器釜2点、須恵質土器鉢5点、甕体部片5点、平瓦17点、丸瓦5点、弥生土器甕4点等がある。

1635 (第123図) A25CO付近に位置する北西から南東方向のものである。長さは約11m分を検出した。幅は全幅を検出していないため不明であるが50cm以上、深さは30cm以上である。埋土は褐灰色砂層と黒褐色粘質シルト層との互層である。1632・1633-OSを切る。出土遺物は土師質土器皿1点、釜1点、瓦質土器釜体部片1点、平瓦1点がある。

1636 (図版90) A20XM付近に位置する北西から南東方向のものと思われる。長さは約5m分を検出した。幅は全幅を検出していないため不明であるが50cm以上、深さは40cm以上である。埋土はにぶい黄褐色砂質シルト層である。1634-OSを切る。出土遺物は瓦器椀1点、土師質土器釜10点、甕1点(801)、須恵質土器甕体部片1点(802)、平瓦6点、丸瓦1点等がある。

## 6. 水田遺構(OZ)

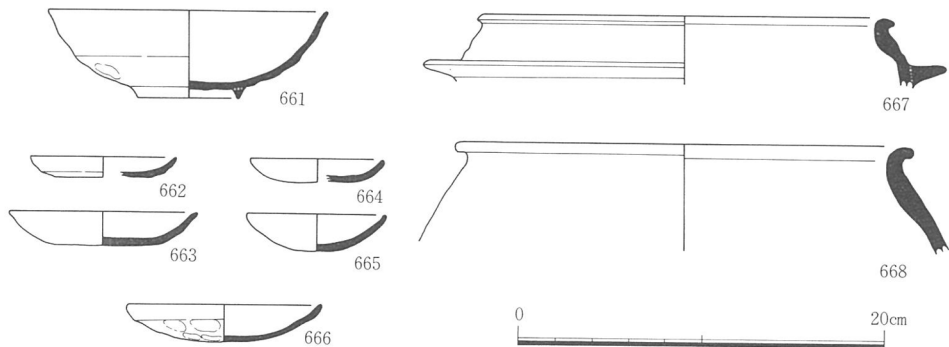
1000 (第105・123図；図版45・93・96) V区全体には灰黄色系の粘質シルト層と黄褐色系の粘質シルト層が3～10cmの厚さで交互に堆積していることが認められる。またA20XO付近では、それらの堆積層の下で1001-OO、1181・1183・1186・1194-OSといっ

た一定の方向性をもつ遺構が検出された。これらを総じて水田遺構と考える。堆積層はV区東半部では1002・1003・1006・1008～1011-O Sといった上層遺構上を厚さ約10cmで覆い、北西に向かってその厚さを増し約40cmとなる。これらの堆積層は水田の耕作土または床土が長年にわたり積み重ねられた結果であると考えられる。

出土遺物は瓦器椀126点(661)、皿11点(663)、土師質土器皿46点(662・664～666)、釜81点(667)、鉢1点、黒色土器椀6点、瓦質土器釜3点、甕1点(668)、須恵質土器鉢5点、甕4点、軒丸瓦2点、平瓦12点、丸瓦3点、貨銭1点(811)等がある。

堆積層下で検出された遺構はいずれも北東から南西方向あるいは北西から南東方向のもので、現在の調査区周辺の地割の方向と近似するものである。1181・1183・1186・1194-O Sは長さ1.3～5.3m、幅0.2～1.3m、深さ3～15cmで、埋土はいずれも黄褐色系のシルト層である。出土遺物は瓦器椀、皿、土師質土器皿、釜、鉢、黒色土器皿、須恵質土器鉢、平瓦等があるが、いずれも小片である。

1357(第122図;図版45) IV区西端部に位置する。小規模なピットが、A25UV付近を中心に直径約10～15mの範囲にわたって集中的に検出されたものである。ピットは直径5～10cm程度の円形あるいは楕円形を呈する。これらはA25TU・UU付近では密に、A25XT・UY付近では比較的粗く分布する傾向が認められるが、規則性は認められない。埋土は灰色系のシルト層あるいは砂層である。検出面は1360-OR最上層である褐色粘質シルト層の上面である。性格については、畦畔等が確認されておらず明確ではないが水田遺構の一部で、小規模なピットは稲株の痕跡である可能性が考えられる。時期は正確には把握できなかった。



第105図 1000-O Z 遺物図

## 7. 沼・その他の遺構(O L・O X)

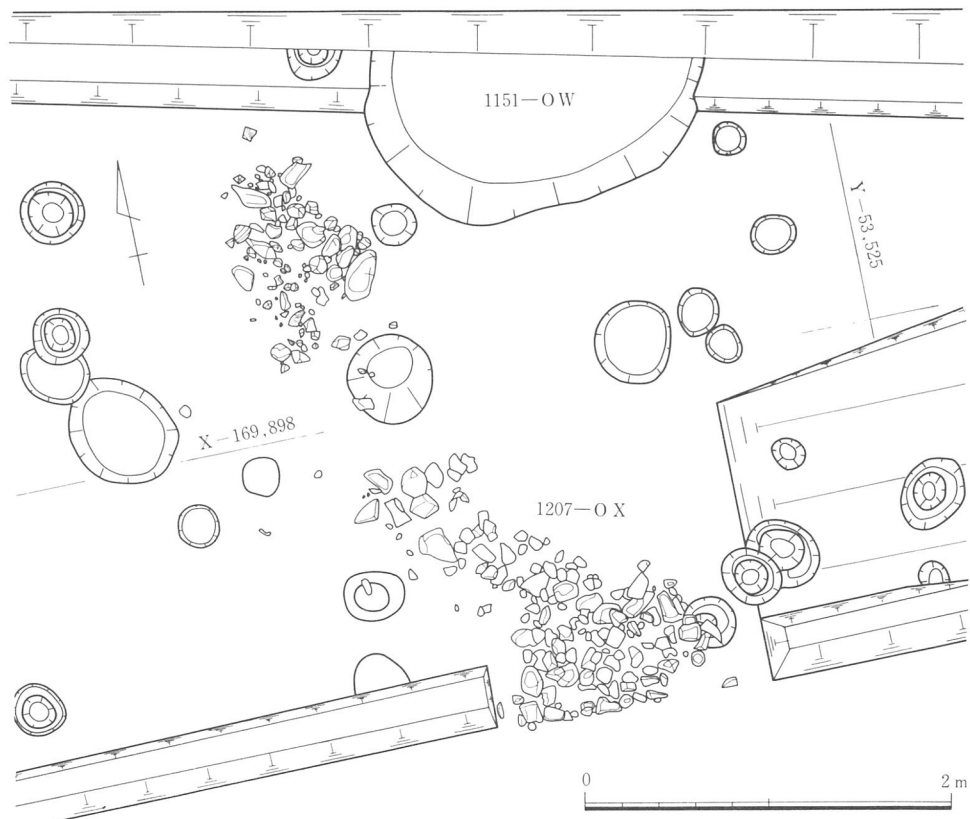
1205(第82図;図版46) A25CT・CUに位置する。長さ約1.1m、幅約30cmにわた



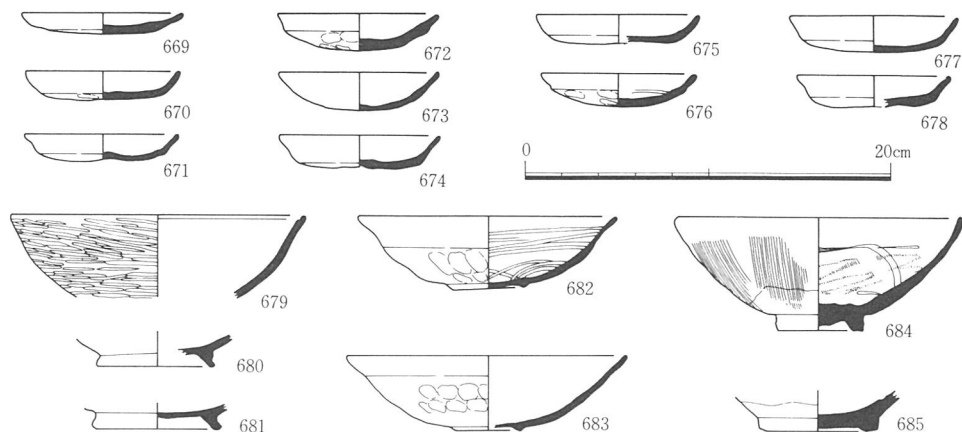
る石列で、15cm大の偏平な河原石で構成される。それらの石の上面には炭化物の付着が認められる。掘方は認められない。石列の方向はほぼ東西方向に近く、1273-O Bの方向とは異なり、直接的な関係は考えにくい。出土遺物も認められず、性格については不明である。

1 2 0 7 (第106・107図；図版46・92) A20Y R・Y Sに位置する。北西から南東方向に長さ約3.5m、幅約1mにわたって礫と遺物が散乱するものである。礫は3cm大のものから30cm大のものまでさまざま、その中に遺物が混在する状況である。掘方は認められない。

出土遺物は瓦器椀60点(682・683)、皿12点(671・674・676)、土師質土器皿97点(669・670・672・673・675・677)、釜3点、甕体部片1点、黒色土器椀14点(679・680・681)、皿1点(678)、須恵質土器鉢1点、甕体部片13点、青磁椀1点(684)、白磁椀1点(685)、平瓦25点、丸瓦3点等がある。



第106図 1151-OW、1207-O X 平面図



第107図 1207-O X 遺物図

1209・1605（第108・109・113図；図版46・93・96） 1605-O LはA25B Q付近くに位置する。1641-O Rの最上層にできた沼状の遺構である。平面形は楕円形に近い不定形で、長径約9m、短径約5.5m、深さ約1mのものである。埋土は灰黄色粘土層、黄灰色粘土層、灰色粘土層、浅黄色シルト層、褐色粗砂層、緑灰色粘土層である。

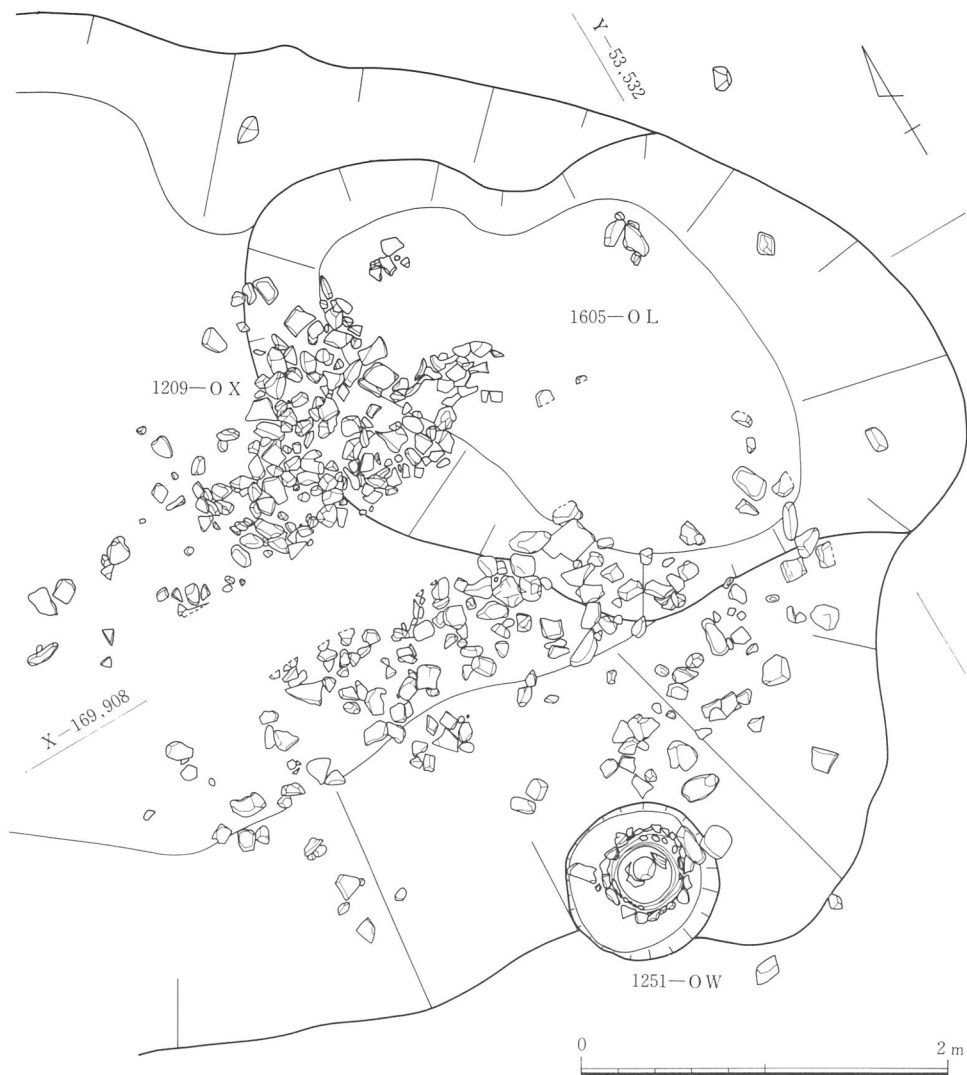
出土遺物は瓦器碗86点（698・699）、皿48点（701）、土師質土器皿16点（700・702）、釜10点、黒色土器碗6点、瓦質土器甕体部片1点、白磁碗1点（703）、軒平瓦1点（743）、平瓦5点、丸瓦3点等がある。

1209-O Xは1605-O Lの南東部直上で直径約4mの範囲にわたって多数の礫と遺物が散乱した状況で認められるものである。これらは1605-O Lの直上の土層である褐色粘質シルト層中に認められるもので、1605-O L上を整地した際に混入したものと思われる。

出土遺物は瓦器碗32点（689）、皿5点（686・687・688）、土師質土器皿28点、釜5点（691・692）、須恵質土器鉢2点（690）、甕体部片1点、青磁碗2点（693・694）、白磁碗2点（695・696）、軒平瓦2点（742・748・808・809）、軒丸瓦1点（739）、平瓦137点、丸瓦19点、土錘1点（697）、砥石2点がある。

#### 8. 包含層出土遺物（第110～113図；図版94～96）

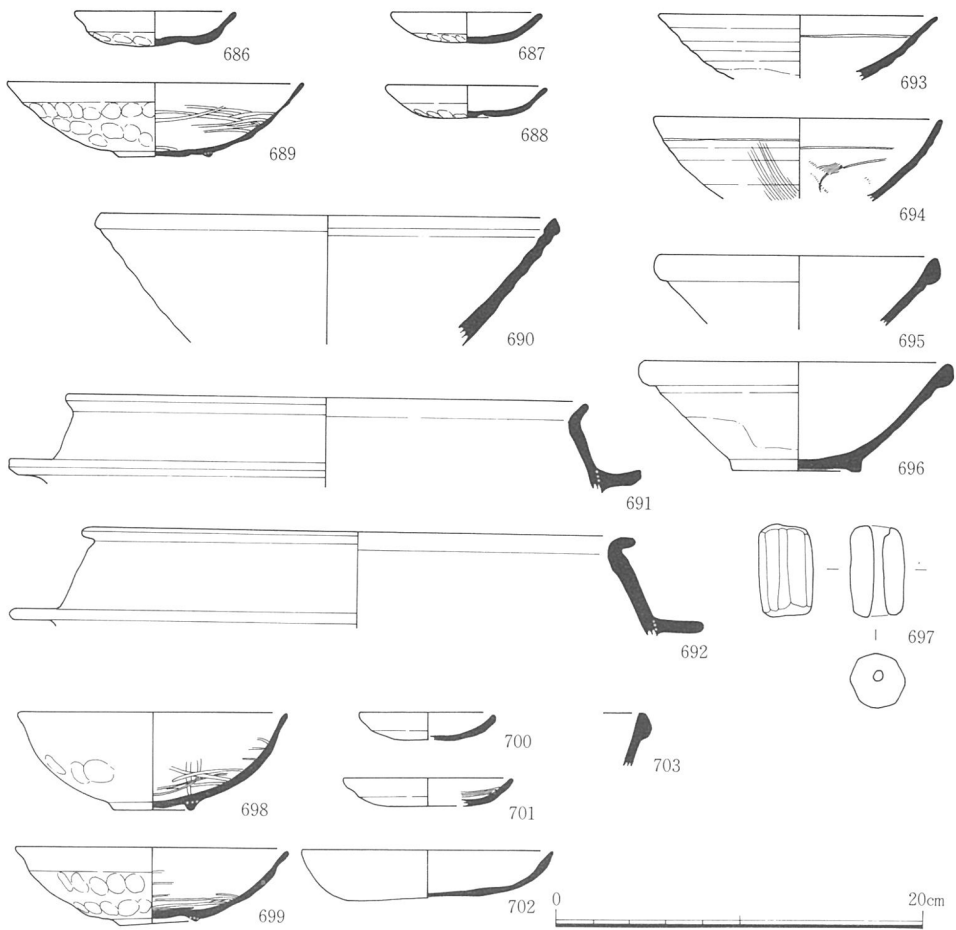
調査区において確認した堆積土層は、本章第1節において述べたように、最終遺構面に達するまでに基本的に4層に分かれる他、V区において整地土層と考えられるものなどを確認した。これらの土層はそれぞれに遺物を包含しており、以下それらについて各層別に述べる。なお第1層については現代の耕作土層であるため、その出土遺物についてはここでは割愛する。



第108図 1251-O W、1209-O X、1605-O L 平面図

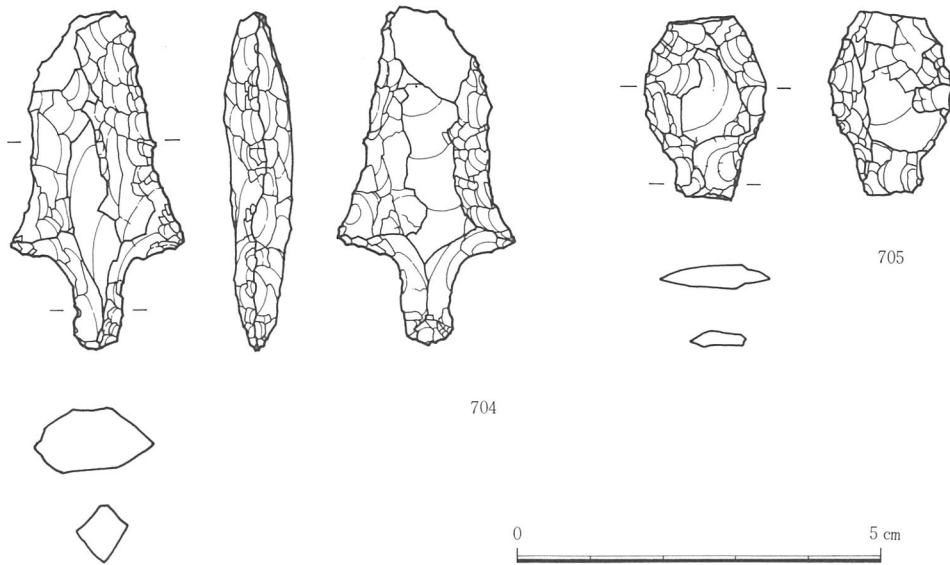
**第2層出土遺物** 弥生土器、土師器あるいは土師質土器、須恵器あるいは須恵質土器、黒色土器、瓦器、陶器、磁器、瓦等がある。その内最も多くの割合を占めるのが瓦器で、つづいて土師器あるいは土師質土器、須恵器あるいは須恵質土器の占める割合が多い。その他のものは量的には極わずかである。主として見られる器種は、土師質土器は皿、釜等、瓦器は椀、皿である。須恵器については杯が比較的多く認められる。なおその他の遺物の中には、青磁、白磁の他、石製品として砥石等が出土している。

**第3層出土遺物** 弥生土器、土師器あるいは土師質土器、須恵器あるいは須恵質土器、黒



第109図 1209-O X, 1605-O L 遺物図

色土器、瓦器、陶器、磁器、瓦等がある。その内多くの割合を占めるのが、第2層出土遺物と同じく瓦器で、つづいて土師器あるいは土師質土器、須恵器あるいは須恵質土器の占める割合が多い。その他のものについては弥生土器が第2層出土遺物に比べてその量を増すことが特徴的である。また地区別に見た場合、瓦器と土師質土器の出土量がV区において顕著に認められ、瓦の出土量も多い。器種としては土師器あるいは土師質土器では皿、釜、甕、瓦器では椀、皿、須恵器あるいは須恵質土器では甕、杯の出土が顕著である。なおその他の遺物として、土器あるいは土製品では青磁、白磁、製塩土器、土師質土器盤、軒平瓦、土錘、十能、石製品等では砥石、石帯、石鏃、サヌカイト剥片、鉄製品では釘等の出土も見られる。図示したものについては、土師器は711で、IV区から出土した甕の口縁部である。土師質土器は714・720・726で、714は皿、720は釜の口縁部から鏢部である。

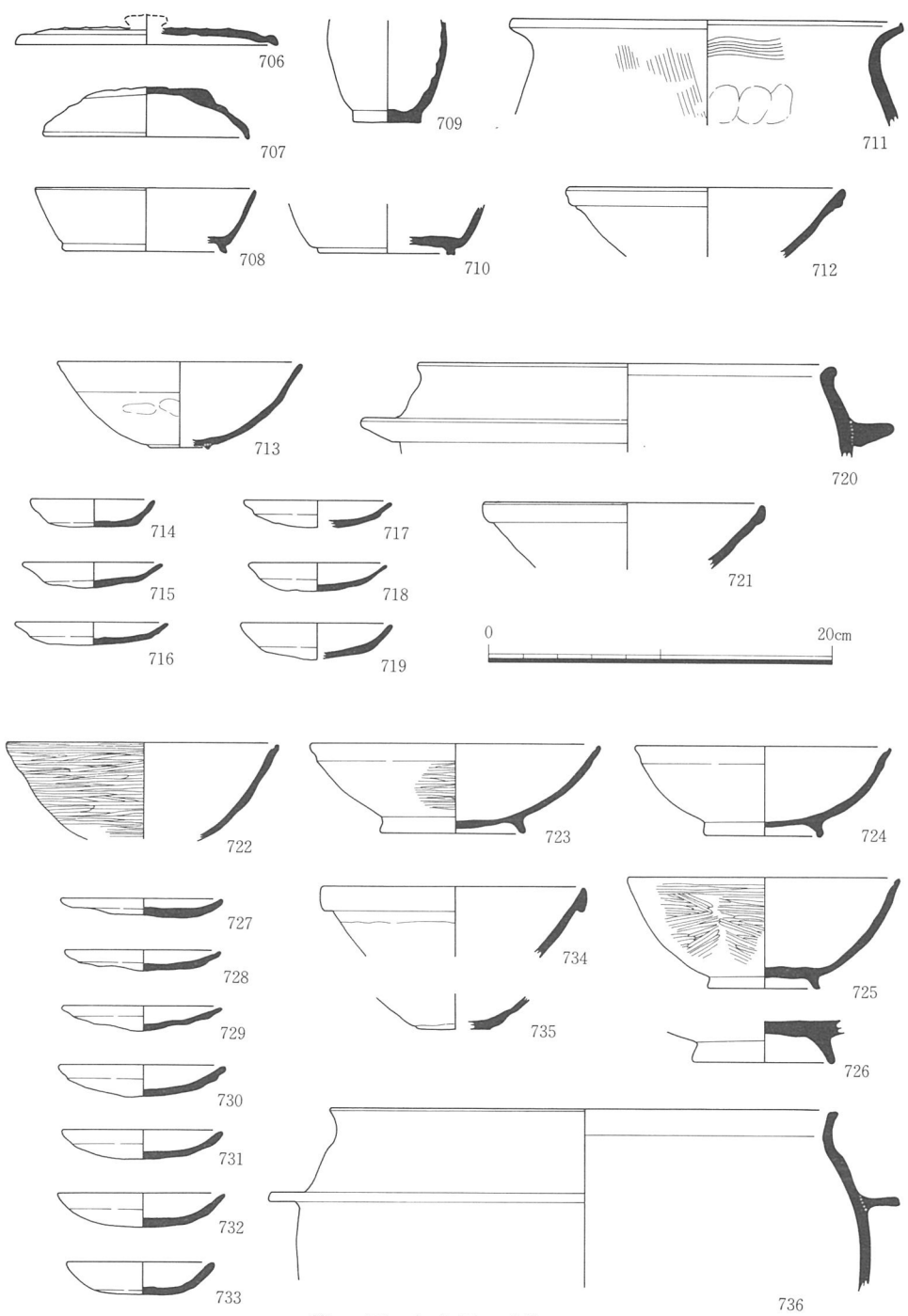


第110図 包含層 遺物図1

726については比較的高い高台がつく皿状のものの底部と思われる。いずれもV区から出土した。瓦器は713・715～719で、713は椀、715～719は皿である。須恵器は706～710・738で、706・707は杯蓋、708・710は杯身である。いずれもIV区から出土した。738はIII区から出土した杯身あるいは杯蓋の一部で墨書が認められる。712・721は白磁椀であり、712はIV区、721はV区から出土した。741・744・747は軒平瓦で、いずれもV区から出土したものである。なお741についてはV区中世整地土層から出土した完形品（740）と文様構成が酷似している。しかしこれらの軒平瓦は通常の軒瓦に比べると幅や厚さに対して長さが短く、形態を異にしている。737はIV区から出土した石帯である。704は石鏃で、III区から出土した。806・807は砥石で、V区から出土したものである。

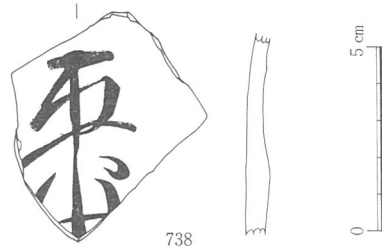
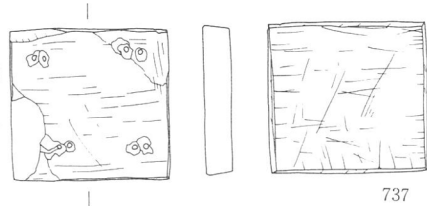
**第4層出土遺物** 弥生土器、土師器あるいは土師質土器、須恵器あるいは須恵質土器、瓦器、瓦等がある。ここでの遺物の出土の様相は、他層とは異なり、弥生土器の出土量の占める割合が大きい。つづいて土師器あるいは土師質土器、瓦器の出土量が多いが、数量的にはそれほど多いものとはならない。器種としては弥生土器では甕が多く、土師器あるいは土師質土器では皿、釜、甕、瓦器では椀、皿、須恵器では杯が多く認められる。なおその他の遺物としては、土錘、石鏃（705）等がある。

**V区中世整地土層出土遺物** 弥生土器、土師器あるいは土師質土器、須恵器あるいは須恵質土器、黒色土器、瓦器、磁器、瓦等がある。これらは大略的にみて本土層の上層部から

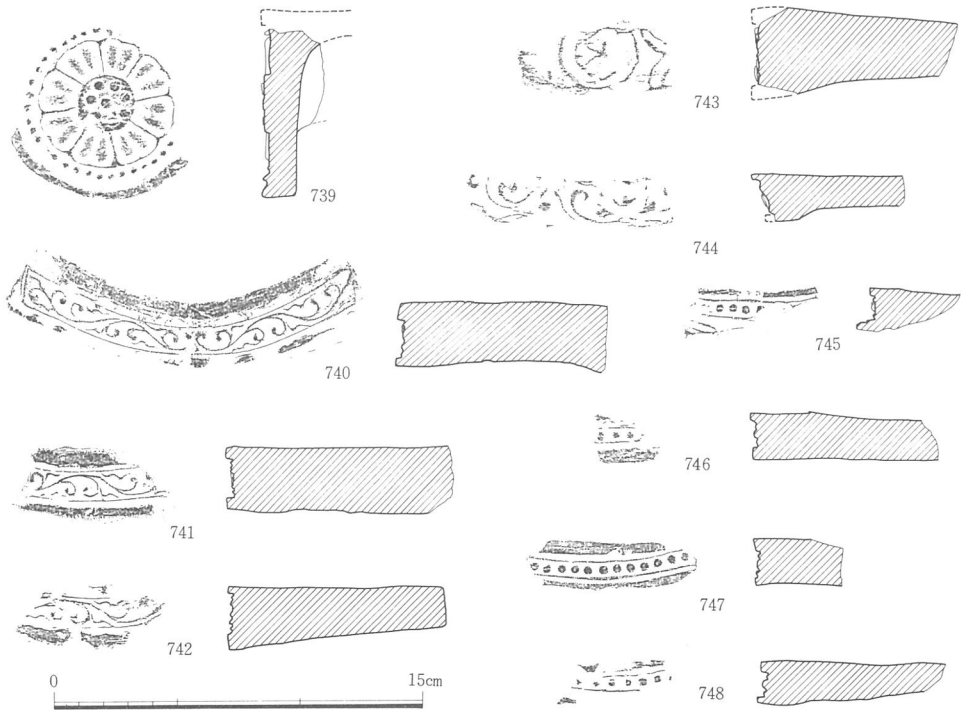


第111図 包含層 遺物図2

の出土が多く、下層部からの出土量は少ない。最も出土量の割合が大きいのは土師器あるいは土師質土器で、つづいて瓦器、黒色土器の出土量が多い。ただし下層部の出土遺物に限ってみるなら瓦器や黒色土器の出土量よりも弥生土器の出土量が上回っている。なおこの土層の出土遺物において特徴的なことは他の基本的な4層に比べ黒色土器の出土が顕著に認められることである。なおその他の遺物としては、白磁、軒平瓦の他、鉄製刀子がある。図示したものについては、727~733・736は土師質土器である。727~733は皿で、この内727・730は下層部から出土したものである。736は釜で、これも同じく下層部から出土した。722~725は黒色土器である。いずれも椀であるが、722・725は内外面とも黒色を呈するのに対し、723・724は内面のみ黒色を呈する。この内724のみ下層部から出土したものである。734・735はいずれも白磁椀である。740は第3層で説明した通りである。



第112図 包含層 遺物図 3



第113図 包含層、1005-O O、1251-O W、1209-O X、1605-O L 遺物図

## ピ ッ ト 法 量 表

\*太字番号は、掘立柱建物に伴うピット

No.	地 区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱 痕 径 (cm)	No.	地 区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱 痕 径 (cm)
516	A 19 CF	27×22	5	—	561	A 20 UC	14	16	—
517	A 19 DG	31×22	6	—	562	A 20 UC	17	16	—
518	A 19 DG	30×18	5	—	563	A 20 UC	20	16	—
519	A 19 EG	26	10	12	564	A 20 UB	12	6	—
523	A 20 TA	64以上	44以上	—	565	A 20 UB	32	16	—
524	A 20 SA	23	30	14	566	A 20 UB	20	20	—
525	A 20 TA	30	20	13	567	A 20 UC	20	21	14
526	A 20 TA	34	9	—	<b>568</b>	A 20 UC	42	20	12
527	A 20 TA	26	8	—	569	A 20 UC	30	14	—
528	A 20 TA	22	11	—	570	A 20 UC	8	5	—
529	A 20 TA	18	10	—	571	A 20 UB	17	6	—
530	A 20 TB	24	23	—	572	A 20 UB	9	5	—
531	A 20 TB	26	17	7	573	A 20 UC	13	6	—
532	A 20 TB	24	24	10	574	A 20 VC	20	16	—
534	A 20 TB	7	9	—	<b>575</b>	A 20 UC	43	12	16
535	A 20 UB	22	22	14	<b>576</b>	A 20 TC	46	20	16
536	A 20 UB	20	20	—	577	A 20 TC	40×22	7	—
537	A 20 UB	24	15	—	578	A 20 SD	34	21	—
<b>538</b>	A 20 TB	40	18	15	579	A 20 SD	25	10	—
<b>539</b>	A 20 UB	12	5	9	580	A 20 SD	12	7	—
540	A 20 TB	24	21	20	581	A 20 SD	6	7	—
542	A 20 TB	15×12	7	—	582	A 20 SD	18×12	5	—
<b>543</b>	A 20 TB	32	22	10	583	A 20 SE	40	12	—
544	A 20 SB	27×22	6	—	584	A 20 TD	38	16	—
545	A 20 TB	26	28	13	585	A 20 TD	22	8	—
546	A 20 TB	30	26	10	586	A 20 TD	12	5	—
547	A 20 SA	28	11	13	587	A 20 TD	15	4	—
548	A 20 SB	30	8	—	588	A 20 SE	42	17	—
<b>549</b>	A 20 TC	30	11	11	589	A 20 SE	22	8	—
550	A 20 TC	40	34	—	590	A 20 TD	26×19	5	—
551	A 20 SC	36	24	—	591	A 20 TD	34	14	—
552	A 20 RC	32	28	—	592	A 20 TD	46	32	13
553	A 20 RC	36	18	—	593	A 20 UD	44	21	—
554	A 20 SC	40	10	—	594	A 20 UD	33	19	—
555	A 20 TC	32	23	—	595	A 20 UD	22	14	—
556	A 20 TC	40	6	—	<b>596</b>	A 20 UD	28	18	14
557	A 20 TC	25	8	—	<b>597</b>	A 20 UC	36	16	14
<b>558</b>	A 20 TC	50	20	12	598	A 20 UC	10	6	—
<b>559</b>	A 20 UC	36	20	11	599	A 20 UC	26	19	—
560	A 20 UB	26	24	7	<b>600</b>	A 20 UC	36	21	14



No.	地区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱痕径 (cm)	No.	地区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱痕径 (cm)
601	A 20 VC	13	7	—	642	A 20 UE	12	8	—
602	A 20 VC	20	24	—	643	A 20 UE	15	2	—
<b>603</b>	A 20 VC	40	16	13	644	A 20 UE	15	3	—
604	A 20 VD	34	10	—	645	A 20 UE	32×22	3	—
605	A 20 VC	24	20	—	646	A 20 TE	46	22	—
606	A 20 VD	28	11	—	647	A 20 TE	36	6	—
607	A 20 UD	30	16	8	648	A 20 TE	18	6	—
608	A 20 UD	34	18	11	649	A 20 TE	8	4	—
609	A 20 VD	38	16	—	<b>650</b>	A 20 TF	44	30	21
610	A 20 VD	20	36	—	651	A 20 TF	12	4	—
611	A 20 VD	17	7	—	652	A 20 TF	14	4	—
612	A 20 VD	17	20	—	653	A 20 TF	12	4	—
614	A 20 VD	26	26	9	<b>654</b>	A 20 TF	40	24	19
615	A 20 VD	28	11	—	655	A 20 TF	40	5	—
616	A 20 VD	14	11	—	<b>656</b>	A 20 UF	30	22	13
617	A 20 VC	24	14	—	657	A 20 UF	32×18	4	—
618	A 20 VD	16	26	—	658	A 20 UF	11	9	—
619	A 20 VD	14	18	—	659	A 20 UF	26	6	—
620	A 20 WD	20	26	—	660	A 20 UF	26×20	6	—
621	A 20 VD	16	18	—	661	A 20 VE	24	18	8
<b>622</b>	A 20 VD	22	14	12	662	A 20 VF	28	5	—
623	A 20 VD	20	22	11	663	A 20 VE	18	20	—
624	A 20 VD	28	32	—	664	A 20 WE	23	14	—
625	A 20 VD	14	30	—	665	A 20 WE	20	9	—
626	A 20 VD	20	34	—	666	A 20 WE	20	5	—
<b>627</b>	A 20 VD	40	19	15	668	A 20 WE	36	25	11
628	A 20 VD	16	20	—	669	A 20 WE	26	27	11
629	A 20 VD	18	2	—	<b>670</b>	A 20 WE	50	20	11
630	A 20 VD	33×23	6	—	671	A 20 WE	18	12	—
631	A 20 VD	16	20	—	672	A 20 WE	14	12	—
632	A 20 WD	16	24	—	673	A 20 WE	16	18	—
633	A 20 WD	23	16	11	<b>674</b>	A 20 XE	30	18	14
<b>634</b>	A 20 WD	30	12	12	<b>675</b>	A 20 XE	20	5	—
635	A 20 WE	16	12	—	676	A 20 WE	16	20	—
636	A 20 VE	13	11	—	677	A 20 XF	15	23	—
<b>637</b>	A 20 VE	40	22	16	<b>678</b>	A 20 WE	26	19	—
638	A 20 UD	30	24	—	<b>679</b>	A 20 WF	20	17	6
639	A 20 UE	26	16	15	680	A 20 UF	10	10	—
640	A 20 UE	31	20	14	<b>681</b>	A 20 UF	39	25	14
641	A 20 UE	24	20	—	682	A 20 UF	20×13	6	—

No.	地区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱径 (cm)
683	A 20 UF	36	20	17
684	A 20 UG	18	4	—
685	A 20 UG	40	6	—
686	A 20 UG	38	22	16
687	A 20 TG	24	36	9
688	A 20 TG	35	21	16
689	A 20 TG	26	16	11
690	A 20 TG	58	32	17
691	A 20 TG	22	16	—
692	A 20 TG	22	20	16
693	A 20 TG	19	18	—
694	A 20 TG	24	5	—
695	A 20 TG	18	10	—
696	A 20 TG	30	13	—
697	A 20 TG	27	20	13
698	A 20 TG	23	20	12
699	A 20 TG	30	31	10
700	A 20 TH	22	14	—
701	A 20 TH	24	11	—
702	A 20 TH	22	10	—
703	A 20 TH	30	12	—
704	A 20 TH	34	18	—
705	A 20 TH	40	18	—
706	A 20 TH	38	20	10
707	A 20 UH	28	20	11
708	A 20 UH	30	20	12
709	A 20 UH	28	24	—
710	A 20 UG	36×28	7	—
711	A 20 UG	30	22	13
712	A 20 UG	36	16	—
713	A 20 UG	50×36	5	—
714	A 20 WG	30	18	13
715	A 20 WG	30	10	12
716	A 20 WG	40	22	17
717	A 20 WF	32	22	—
718	A 20 XF	38×28	8	18
719	A 20 XF	14	20	—
720	A 20 XF	21	20	—
721	A 20 XF	24	18	13
722	A 20 XE	24	20	9

No.	地区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱径 (cm)
723	A 20 XE	24	10	—
724	A 20 XF	22	22	13
725	A 20 XF	22	7	14
726	A 20 XG	23	43	—
727	A 20 WG	20	17	9
728	A 20 WG	15	18	—
729	A 20 WG	12	18	—
730	A 20 WG	16	18	—
731	A 20 VG	44	20	—
732	A 20 VG	38	18	—
733	A 20 VG	28	13	—
734	A 20 VG	22	10	—
735	A 20 VG	32	24	16
736	A 20 UG	24	13	—
737	A 20 UH	35×26	25	12
738	A 20 UH	32	24	17
739	A 20 UH	20×32	24	14
740	A 20 UH	14	8	—
741	A 20 UH	14	16	—
742	A 20 UH	14	16	—
743	A 20 UH	18	16	—
744	A 20 UH	30	18	—
745	A 20 UH	19	15	—
746	A 20 UH	23	20	—
747	A 20 UH	15	2	—
748	A 20 UH	13	6	—
749	A 20 UH	12	7	—
750	A 20 UH	15	2	—
751	A 20 UH	15	4	—
752	A 20 UH	28	5	—
753	A 20 VH	24	18	13
754	A 20 VH	29	9	12
755	A 20 VH	25	21	16
756	A 20 VH	20	14	—
757	A 20 VH	30	22	—
758	A 20 VH	20	17	—
759	A 20 VH	26	12	—
760	A 20 UG	27	27	—
761	A 20 VH	12	7	—
762	A 20 VH	20	20	—

No.	地区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱痕径 (cm)	No.	地区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱痕径 (cm)
763	A 20 WH	22	16	——	805	A 20 XH	18	4	——
764	A 20 WG	12	12	——	806	A 20 XH	28	9	——
765	A 20 WG	11	5	——	807	A 20 XH	24×12	4	——
766	A 20 XG	30	6	——	808	A 20 XH	28×20	4	——
767	A 20 XH	26	5	——	809	A 20 XH	13	4	——
768	A 20 YF	18	24	——	810	A 20 XH	11	3	——
769	A 20 YF	25×14	5	——	811	A 20 XI	17	11	——
770	A 20 YF	29×20	8	12	812	A 20 XI	22	11	——
771	A 20 YG	15	8	——	813	A 20 XI	16	5	——
772	A 20 YG	60×22	13	9	814	A 20 XI	32×20	5	——
773	A 20 YG	20×16	5	——	815	A 20 XH	22	12	——
774	A 20 YG	20	8	——	816	A 20 WH	18	8	——
775	A 20 YG	18×14	7	——	817	A 20 WH	19	8	——
776	A 20 AG	42	20	——	818	A 20 WH	14	7	——
777	A 20 YG	20	14	——	819	A 20 WH	14	3	——
778	A 20 YG	23	11	——	820	A 20 WH	20	9	——
779	A 20 YG	32	12	——	821	A 20 WI	20	8	——
780	A 20 YH	32	24	15	822	A 20 WH	64	6	——
781	A 20 YH	12	7	——	823	A 20 WH	12	6	——
782	A 20 YH	31	11	——	824	A 20 WH	12	7	——
783	A 20 YH	16	11	——	825	A 20 WH	18	16	——
784	A 25 AG	17	12	——	826	A 20 VH	9	5	——
785	A 25 AH	21	12	——	827	A 20 VH	8	5	——
786	A 25 AH	44	21	——	828	A 20 VH	38	15	——
787	A 25 AH	18	9	——	829	A 20 WI	46×30	8	——
788	A 25 AH	19	8	——	830	A 20 WI	70×50	18	28×23
789	A 20 YH	60	12	——	831	A 20 WI	28×14	7	——
790	A 25 AH	42	20	——	832	A 20 VI	22	16	——
791	A 25 AH	28	18	——	833	A 20 VI	26	10	——
792	A 25 BI	16	10	——	834	A 20 VI	18	16	——
793	A 25 BI	22	10	——	835	A 20 VI	21	10	——
794	A 25 BI	22	9	——	836	A 20 VI	28×24	5	——
795	A 25 AI	65×34	3	——	837	A 20 VI	26	16	——
796	A 25 AI	40×28	7	——	838	A 20 VI	24	14	——
797	A 25 AI	32×26	8	——	839	A 20 VI	40×35	9	——
798	A 25 AJ	34	8	——	840	A 20 VI	27	12	6
799	A 20 YH	30	18	——	841	A 20 VI	24×15	9	——
800	A 20 XH	24	7	——	842	A 20 VI	20	6	——
801	A 20 XH	24×17	4	——	843	A 20 VI	18	30	——
802	A 20 XH	18	10	——	844	A 20 VI	30	18	——

No.	地区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱径 (cm)	No.	地区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱径 (cm)
845	A 20 VJ	28	12	15	886	A 20 TF	27	20	—
846	A 20 VJ	30	16	—	887	A 20 UF	26	23	—
847	A 20 VJ	25	14	—	888	A 20 TF	22	7	—
848	A 20 VJ	15×8	5	—	889	A 20 TF	20	14	—
849	A 20 VI	22	8	—	890	A 20 TF	30	7	—
850	A 20 WI	26	11	—	891	A 20 TF	20	6	—
851	A 20 WI	34×28	9	—	892	A 20 TF	24	26	16
852	A 20 WI	20	8	—	893	A 20 TF	22	10	—
853	A 20 WI	48	7	—	<b>894</b>	A 20 VD	26	28	13
854	A 20 WI	16	6	—	<b>895</b>	A 20 WE	34	20	10
855	A 20 WI	15	8	—	896	A 20 UB	30	16	—
856	A 20 WI	18	9	—	897	A 20 TB	21	26	—
857	A 20 WI	28	7	—	898	A 20 TB	22	26	—
858	A 20 WJ	15	6	—	899	A 20 TB	30	35	—
859	A 20 WJ	12	4	—	900	A 20 UE	10	4	—
860	A 20 WJ	23×11	6	—	901	A 20 TH	24	5	—
861	A 20 WK	28	8	—	902	A 20 VE	22	11	—
862	A 20 VK	38×25	9	—	903	A 20 XG	22	3	—
863	A 20 WK	18×13	4	—	904	A 20 WG	18	20	8
864	A 20 WI	28×21	8	—	905	A 20 YF	23	30	—
865	A 20 WI	30×25	8	—	906	A 20 WH	25	8	—
866	A 20 WI	10	7	—	907	A 20 WI	26	11	—
867	A 20 WI	30	8	—	908	A 20 XI	30	24	—
868	A 20 WI	14	6	—	909	A 20 YG	9	4	—
869	A 20 WJ	17	7	—	<b>910</b>	A 20 VG	26	20	—
870	A 20 WJ	15	7	—	913	A 20 UE	32	6	—
871	A 20 SB	24	18	—	917	A 20 TF	32	3	—
872	A 20 SB	30	11	—	<b>918</b>	A 20 TF	32	30	17
874	A 20 RC	30	11	—	932	A 20 VG	28	22	—
875	A 20 RC	28	14	13	<b>1022</b>	A 25 CT	26	35	18
876	A 20 YI	23	14	—	<b>1023</b>	A 25 CT	26	20	14
877	A 20 SC	26	35	8	1024	A 25 CT	22	12	9
878	A 20 SC	24	6	—	1025	A 25 CT	20	19	12
879	A 20 SC	22	12	—	1026	A 25 CT	28	15	17
880	A 20 SD	18	14	—	1027	A 25 CT	26	24	—
881	A 20 SD	50×40	4	—	1028	A 25 CT	14	18	—
882	A 20 SD	24	12	—	<b>1029</b>	A 25 CT	24	27	15
883	A 20 SD	30	22	—	1030	A 25 CT	26×21	11	15×12
884	A 20 TD	25	22	—	1031	A 25 CU	25	32	10
885	A 20 TE	18	12	—	<b>1032</b>	A 25 CT	27	30	—

No.	地 区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱 痕 径 (cm)	No.	地 区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱 痕 径 (cm)
1033	A 25 CT	32	14	—	1082	A 25 CU	20	20	—
1034	A 25 CT	30	4	—	1083	A 25 AU	26	57	15
1035	A 25 CU	18	7	—	1084	A 25 AU	30	28	12
1036	A 25 BU	28×18	5	—	1085	A 25 BU	16	23	—
1038	A 25 DU	38	12	—	1086	A 25 BU	28	37	15
1039	A 25 CU	26	8	13	1087	A 25 BU	24	27	—
1046	A 25 CU	21	11	—	1088	A 25 BU	20	22	—
1047	A 25 CU	22	12	13	1089	A 25 BU	22	22	11
1048	A 25 CU	18	18	—	1090	A 25 BU	22	22	—
1049	A 25 CU	20	27	—	<b>1091</b>	A 25 BU	30	40	13
1050	A 25 CU	25×10	3	—	1092	A 25 BU	36×23	8	—
1051	A 25 CU	18	6	—	1093	A 25 BU	22	19	12
1052	A 25 CU	16	8	—	1094	A 25 BU	14	16	—
1053	A 25 CU	19	8	—	1095	A 25 BU	26	25	—
1054	A 25 CU	12	8	—	1096	A 25 BU	30	20	16
1055	A 25 AP	23×20	4	10	<b>1097</b>	A 25 BU	53	32	—
1056	A 25 CU	61×53	18	—	1098	A 25 BU	26	25	—
1058	A 25 CU	20	20	—	1099	A 25 BU	24	26	—
1059	A 25 CU	20	21	—	1100	A 25 BU	18	18	16
1060	A 25 CU	22	30	10	1101	A 25 BU	24	22	—
1061	A 25 CU	20	10	—	1102	A 25 BU	14	18	11
1062	A 25 CU	13	10	—	1103	A 25 BU	18	20	16
<b>1063</b>	A 25 BT	24	20	17	1104	A 25 BU	36	22	—
1064	A 25 BT	12	18	—	1106	A 25 CV	30	26	15
1065	A 25 BT	21	21	—	1107	A 25 CV	20	28	13
1066	A 25 BT	20	44	16	1108	A 25 CV	16	13	—
1067	A 25 AT	25	5	—	1109	A 25 CV	19	20	—
1068	A 25 AT	30	50	15	1110	A 25 CV	20	29	13
1069	A 25 AT	17	19	—	1111	A 25 CV	18	22	—
1070	A 25 AT	28	24	—	1113	A 25 CV	20	19	12
1071	A 25 AT	16	8	—	1114	A 25 CV	19	5	—
1072	A 25 AT	26	26	—	1115	A 25 CV	21	4	—
<b>1074</b>	A 25 BT	41	36	16	1116	A 25 CV	20	4	—
1075	A 25 BT	20	18	—	1117	A 25 BV	22	14	12
<b>1076</b>	A 25 BT	21	9	11	1118	A 25 BV	12	15	—
1077	A 25 BU	20	19	11	1119	A 25 BV	30	27	19
1078	A 25 BU	15	17	—	1120	A 25 BV	29	20	10
1079	A 25 CP	24×20	5	—	1121	A 25 BV	30	14	—
1080	A 25 CU	30	17	—	1122	A 25 BV	15	18	—
1081	A 25 CU	20	14	—	1123	A 25 AV	24	21	—

No.	地 区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱 痕 径 (cm)	No.	地 区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱 痕 径 (cm)
1124	A 25 BV	11	14	——	1172	A 25 BQ	2 8	10	——
1125	A 25 BV	15	22	——	1173	A 25 BU	28×2 2	8	——
1126	A 25 BV	24	50	——	1174	A 20 YQ	1 4	6	——
1127	A 25 BV	9	14	——	1175	A 20 YQ	1 3	6	——
1128	A 25 BV	24	26	14	1176	A 20 YQ	2 1	28	12
1129	A 25 BV	20	23	——	1177	A 20 YQ	2 6	8	——
1130	A 25 BV	18	27	13	1178	A 20 YQ	1 6	16	——
1131	A 25 BV	12	24	——	1179	A 20 YQ	1 6	6	——
1132	A 25 BV	30	28	——	1180	A 20 YQ	2 4	14	——
1133	A 25 BV	24	26	12	1187	A 20 XO	1 9	10	——
1134	A 25 BV	9	18	——	1188	A 20 XO	16×1 2	3	——
1135	A 25 BV	22	14以上	12	1189	A 20 XO	2 2	3	——
1136	A 25 BV	28	31	14	1190	A 20 XO	16×1 2	4	——
1137	A 25 BV	26	29	20	1192	A 20 YO	1 8	5	——
1138	A 25 AV	20	20	——	1193	A 20 YN	2 6	6	15
1139	A 25 AV	24	22	——	1195	A 25 AO	4 8	2	——
1140	A 25 AV	16	20	——	1196	A 25 BU	2 0	7	14
1141	A 25 BV	30	18	24	1198	A 25 BO	3 1	不明	——
1142	A 25 BV	21	26	16	1199	A 25 CU	3 2	46	——
1143	A 25 BV	16	16	——	1202	A 25 DW	2 6	6	14
1144	A 25 BV	23	22	——	1203	A 25 BU	2 4	26	——
1145	A 25 BV	12	15	——	1206	A 25 CT	2 0	20	10
1146	A 25 BV	19	20	——	1212	A 25 BW	4 0以上	39	——
1147	A 25 BV	18	40	——	1213	A 25 BV	1 6	18	11
1152	A 20 YS	24	10	——	1217	A 25 AV	2 6	24	13
1153	A 20 YR	30	14	——	1218	A 25 AV	2 1	43	10
1155	A 20 YR	22	31	——	1222	A 25 CR	3 0	8	——
1156	A 20 YR	18	18	——	1223	A 25 CR	2 8	14	——
1157	A 20 YS	28	21	——	1224	A 25 CR	2 2	18	——
1158	A 25 AR	36	16	17	1225	A 25 CR	3 2	19	——
1161	A 25 AS	20	14	——	1226	A 25 CR	2 5	8	——
1162	A 25 AS	24	16	——	1227	A 25 CR	4 0	12	——
1163	A 25 AS	24	14	——	1228	A 25 CR	2 6	32	14
1164	A 25 AS	18	15	——	1229	A 25 CS	2 6	10	——
1165	A 25 AS	22	22	——	1230	A 25 CS	3 0	10	——
1167	A 25CS	20	1	——	1231	A 25 CR	2 5	6	——
1168	A 25AS	32	3	——	1232	A 25 CS	3 2	11	——
1169	A 25 DR	24	9	11	1234	A 25 CS	2 2	14	——
1170	A 25 AQ	38	7	——	1235	A 25 BR	1 4	22	——
1171	A 25 AQ	36×2 8	6	——	1237	A 25 BR	3 0	12	14

No.	地区	掘方径(cm)	深さ(cm)	柱痕径(cm)	No.	地区	掘方径(cm)	深さ(cm)	柱痕径(cm)
1238	A 25 AR	24	8	—	1284	A 25 YP	42×17以上	5	—
1239	A 25 AR	24	14	—	1285	A 25 DQ	32	34	—
1240	A 25 AS	22	16	10	1286	A 25 DQ	32	21	—
1241	A 25 AS	20	16	—	1287	A 25 BS	24	21	—
1242	A 25 AS	32	20	17	1288	A 25 BS	22	20	20
1243	A 25 AS	52	24	—	1289	A 25 CP	34	10	—
<b>1244</b>	A 25 AS	28	35	15	1290	A 25 DR	30	16	—
1245	A 25 BS	32	16	—	1292	A 25 DR	32	5	—
1246	A 25 BS	28	20	13	1293	A 25 DR	32	11	—
1247	A 25 BR	30	14	—	1294	A 25 DR	40	11	—
<b>1248</b>	A 25 BS	40	32	13	1296	A 25 AQ	30	6	—
1249	A 25 BS	38	16	—	1297	A 25 AP	30	21	—
1250	A 25 BU	22	6	—	1298	A 25 AT	30	55	15
<b>1252</b>	A 25 DT	46	21	—	<b>1299</b>	A 25 AT	32	15	18
1253	A 25 DS	26×20	8	—	<b>1300</b>	A 20 WE	24	4	—
1254	A 25 DR	38	6	—	1301	A 25 AF	26	25	9
1255	A 25 DR	42×14以上	12	—	1302	A 25 AF	16	11	7
1256	A 25 BT	26	34	—	1303	A 25 AF	19	22	9
1257	A 25 BT	28	26	—	1304	A 25 AE	12	18	—
1258	A 25 AT	27	9	13	1305	A 25 AF	14	21	8
1260	A 25 DR	40以上	23	—	1306	A 25 AE	16	8	6
1262	A 25 DR	50以上	5	—	1307	A 25 AE	18	12	6
1263	A 25 CP	36	28	—	1308	A 25 AE	17	16	11
1264	A 25 AR	30	36	15	1309	A 20 FE	12	18	—
1265	A 25 BS	26	24	—	1310	A 20 FE	24	26	—
1266	A 25 XO	22	5	—	1311	A 20 WB	42	19	—
1267	A 25 BS	24	21	16	1312	A 20 WB	34	18	12
1268	A 25 BS	24	19	—	1313	A 20 WB	26	14	—
1269	A 25 BS	26	16	—	1314	A 20 VA	26	17	—
<b>1271</b>	A 25 DR	26	10	—	1315	A 20 VA	36	22	11
1272	A 25 BT	26	15	—	1316	A 20 UY	35	16	14
1274	A 25 BU	38	12	—	1317	A 19 UY	35	24	14
<b>1275</b>	A 25 CU	32	31	16	1318	A 20 XE	16	15	—
1276	A 25 AV	16	22	—	1319	A 20 XE	14	16	—
1277	A 25 AV	20	16	12	1320	A 20 XE	20	19	12
1278	A 25 BV	34	16	16	1321	A 20 XE	18	22	10
<b>1279</b>	A 25 CU	37	4	—	1322	A 20 XE	18	20	—
1280	A 25 BT	21	9	—	1323	A 20 XE	21	7	—
1281	A 25 BT	32	14	14	1324	A 20 XE	32×24	3	—
1283	A 25 CU	26	18	—	1325	A 20 XE	20	18	—

No.	地区	掘方径(cm)	深さ(cm)	柱痕径(cm)	No.	地区	掘方径(cm)	深さ(cm)	柱痕径(cm)
1326	A 20 XE	24	16	—	1411	A 25 BV	26	10	12
1327	A 20 XE	22	16	11	1412	A 25 BV	23	10	13
1328	A 20 XE	14	5	—	1413	A 25 BV	24	10	11
1329	A 20 XE	24	22	10	1414	A 25 BV	21	8	10
1330	A 20 WD	28	12	—	1419	A 25 BV	30	19	—
1331	A 20 WD	30	10	—	1420	A 25 BV	22	14	—
1332	A 20 WD	30	8	—	1421	A 25 CV	20	57	12
1333	A 20 WC	34×29	7	—	1422	A 25 CV	22	16	—
1334	A 20 VB	17	5	—	1423	A 25 CV	22以上	39	—
1335	A 20 VC	22	18	—	<b>1424</b>	A 25 CV	25	14	—
1336	A 20 UB	20	14	—	1425	A 25 CV	24	14	—
1337	A 20 UB	26	10	—	1426	A 25 CV	20	11	13
1338	A 20 UA	23	14	—	1427	A 25 CW	24	22	17
1339	A 20 UA	20	34	9	1428	A 25 CW	16	12	—
1340	A 19 SX	28	7	—	1432	A 25 AU	22	16	20
1341	A 19 SX	21	5	—	1434	A 25 AU	26	14	—
1342	A 20 UB	26	11	—	1435	A 25 AU	23	5	—
1343	A 20 UB	21	12	—	1436	A 25 AU	40	13	—
1344	A 20 UB	15	10	—	1437	A 25 AU	18	8	14
1345	A 20 YB	24	5	—	1438	A 25 AU	24	14	—
1346	A 20 XA	26×20	6	9	1439	A 25 AU	13	4	—
<b>1347</b>	A 19 XY	28	38	13	1440	A 25 AU	16	13	—
<b>1348</b>	A 19 WY	33	37	13	1441	A 25 BU	16	16	—
<b>1349</b>	A 19 WX	38	26	14	1442	A 25 BU	15	14	—
<b>1350</b>	A 19 WX	40	44	9	1444	A 25 AU	20以上	14	—
<b>1351</b>	A 19 WW	38	54	16	1445	A 25 AU	30	10	20
<b>1352</b>	A 19 WY	32	30	10	1446	A 25 AU	24	10	14
<b>1353</b>	A 19 WY	28	35	12	1447	A 25 AU	24	9	12
<b>1354</b>	A 19 VX	30	17	14	1448	A 25 AU	24	15	16
<b>1355</b>	A 19 VX	34	43	18	<b>1449</b>	A 25 AU	22	16	—
1356	A 19 VW	26×21	7	—	1450	A 25 AU	24×14	15	12
1400	A 25 AQ	22	6	—	1451	A 25 AU	17	15	—
1401	A 25 AQ	24	6	—	1452	A 25 AU	48	15	39
1402	A 25 AQ	33	12	—	1453	A 25 AU	16	15	—
1403	A 25 AQ	33	14	—	1454	A 25 AU	16	15	—
1404	A 25 AQ	42	27	—	1455	A 25 AU	19	17	—
1405	A 25 AV	20	18	—	1456	A 25 BU	13	17	—
1406	A 25 AV	30	18	—	1457	A 25 BU	40	18	27
1408	A 25 AV	16	12	—	1458	A 25 BU	26×20	33	—
1409	A 25 BV	34	14	—	1459	A 25 BU	26	18	—



No.	地区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱痕径 (cm)	No.	地区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱痕径 (cm)
1461	A 25 BU	18	29	11	1501	A 25 AT	28	12	12
1462	A 25 BT	18	16	—	1502	A 25 AT	29	32	—
1463	A 25 BU	22	14	11	1503	A 25 AT	20	17	—
1464	A 25 BU	21	30	11	1504	A 25 AT	18	16	—
1465	A 25 BU	18	16	—	1505	A 25 AT	46	24	—
1466	A 25 BU	13	16	—	1506	A 25 AT	30	22	—
1467	A 25 BU	28以上	7	21	1507	A 25 AT	18	20	—
1468	A 25 BU	24	18	—	1508	A 25 AT	20	24	17
<b>1469</b>	A 25 BU	42×36	23	—	1509	A 25 AT	14	16	—
1470	A 25 AU	16	17	—	1510	A 25 AT	13	16	—
1471	A 25 BU	14	14	—	1513	A 25 AT	12	20	—
1472	A 25 BU	20	19	—	1515	A 25 BT	22	30	13
1473	A 25 AU	20	20	—	1517	A 25 BT	25	20	14
1474	A 25 AU	24	19	—	1518	A 25 BT	18	26	13
1475	A 25 AU	20	16	—	1519	A 25 BT	22	28	17
1476	A 25 AU	8以上	8	—	1520	A 25 BT	19	16	—
1477	A 25 AU	9	7	—	1521	A 25 BT	22×18	32	—
1478	A 25 AU	17	13	—	1522	A 25 BT	28	17	20
<b>1479</b>	A 25 AU	20	14	9	1523	A 25 BT	14	41	—
1480	A 25 AU	25	30	13	1525	A 25 BT	24	47	18
1481	A 25 AU	21	12	—	1526	A 25 BT	16	14	—
1482	A 25 AT	24	23	—	1527	A 25 BT	22	20	16
1483	A 25 AT	21	21	—	1528	A 25 BT	17	15	—
1484	A 25 AU	18	12	—	1530	A 25 CT	17	12	—
1485	A 25 AU	17	13	—	1531	A 25 CU	24	23	—
1486	A 25 AT	15	20	—	1532	A 25 CU	24	20	—
1487	A 25 AU	13	36	—	1533	A 25 CU	21	19	18
1488	A 25 AT	23	16	17	1536	A 25 CT	15	20	—
1489	A 25 AT	20	20	—	1537	A 20 YS	24	8	15
1490	A 25 AT	24	30	14	1538	A 20 YS	18	8	—
1491	A 25 AT	8	6	—	1539	A 20 YS	22	10	—
<b>1492</b>	A 25 AT	35×26	19	15	1540	A 20 YS	23	14	—
1493	A 25 AT	32×27	30	22×13	1541	A 20 YS	18	13	—
1494	A 25 AT	22	30	16	<b>1542</b>	A 20 YS	44	24	—
1495	A 25 AT	25	29	15	1543	A 20 YS	15	13	—
1496	A 25 AT	14	25	—	1544	A 20 YS	40	14	20
1497	A 25 AT	24	28	20	<b>1545</b>	A 20 YS	17	14	—
1498	A 25 AT	17	16	—	1546	A 20 YS	40	15	24
1499	A 25 AT	28	25	17	1547	A 20 YS	30	26	19
1500	A 25 AT	16	12	11	1548	A 20 YS	29	6	12以上

No.	地区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱痕径 (cm)
1549	A 20 YS	30	17	16
1550	A 20 YR	30	21	26
<b>1551</b>	A 20 YR	28	16	17
1552	A 20 YR	32	14	—
1553	A 20 YR	50	21	—
1554	A 20 YR	22	18	10
1555	A 20 XR	28	20	—
1556	A 20 XR	22	10	17
1557	A 20 YR	34	12	—
1558	A 20 YR	24	18	10
<b>1559</b>	A 20 YR	24	40	—
1560	A 20 YR	20	15	—
1561	A 20 YR	17	15	—
1562	A 20 YR	18	16	—
1563	A 20 YR	26	18	17
1564	A 20 YR	30	22	18
1565	A 25 AS	31	17	—
<b>1566</b>	A 25 AS	25	16	14
1567	A 25 AS	27×31以上	10	—
1568	A 25 AS	37	4	—
1569	A 25 AS	40	22	—
1572	A 25 AS	20	28	—
<b>1573</b>	A 25 AS	34	18	22
1577	A 25 AS	22	13	14
1579	A 25 AR	26	8	15
<b>1580</b>	A 25 AR	32	16	21
1581	A 25 AR	32×26	3	—
1582	A 25 AR	30	14	18
1583	A 25 AR	26	10	16
1584	A 25 AR	26	9	—
1585	A 25 BS	21×16	36	—
1586	A 25 BS	24	10	20
1587	A 20 YQ	18	27	—
1588	A 20 YQ	23	14	15
1589	A 20 YQ	26	19	13

No.	地区	掘方径 (cm)	深さ (cm)	柱痕径 (cm)
1591	A 20 YQ	27	20	16
1592	A 20 YQ	25×20	28	16×13
1593	A 20 YQ	29	22	21
1594	A 20 YP	34	26	18
1595	A 20 XP	45	15	—
1597	A 25 AQ	32	25	17
1598	A 25 AQ	22	19	12
1599	A 25 AP	35×27	12	—
1602	A 25 AP	24	16	16
1603	A 25 AP	24	12	15
1604	A 25 BQ	20	20	—
1606	A 25 BS	29×20以上	19	—
1607	A 25 AT	34×20以上	不明	—
1608	A 25 AS	22×12以上	36	—
<b>1609</b>	A 25 AS	30	50	22
1610	A 25 BS	30×13以上	37	—
1611	A 25 BS	34×25以上	35	15
1613	A 25 AU	24	13	—
<b>1614</b>	A 25 BS	24	17	—
<b>1615</b>	A 20 YR	25	6	16
1617	A 25 AQ	24	16	—
1622	A 25 BU	20	27	16
1623	A 25 CU	28×20以上	30	17
<b>1624</b>	A 25 CU	38×23 以上 以上	26	13
1625	A 20 YS	46	38	21
1626	A 25 AU	26	26以上	8
1628	A 25 AS	22	16	—
1629	A 25 AT	36×12 以上 以上	6	—
1630	A 20 YP	40	19	—
<b>1638</b>	A 20 YS	29	18	16
1639	A 25 BU	18	8	—
1640	A 25 BU	26	6	12
1642	A 25 AR	24	7	16
1643	A 25 BU	26	8	12
1646	A 25 CS	31×22	19	—

## 第IV章 ま と め (第114～118図)

西大路遺跡の発掘調査は、大阪府教育委員会による第1次調査<sup>1</sup>に始まり今回の調査で三度目をむかえる。今回の調査は、従来の調査に比べて面積的にも広範囲におよび弥生時代後期から中世にかけて、なかば断絶期はあるものの当時の集落を確認することができた。特に、弥生時代後期から古墳時代前期にかけては自然河川が幾度となく氾濫を繰り返し、沖積段丘を形成する過程での土地利用、洪積段丘との有機的なつながりを知る重要な資料を得たと言える。検出した遺構は多岐にわたり、その内訳は竪穴住居、掘立柱建物、ピット、井戸、土坑、溝、自然河川、水利施設、水田、土器溜等である。これらの遺構に伴って多量の遺物を出土した。その量は、遺物整理箱に約300箱にのぼり、弥生時代後期の遺物が出土遺物全体の約70%を占める。以下、今回の発掘調査の成果をもとに西大路遺跡の変遷を述べる。

今回の発掘調査において弥生時代中期以前に遡る遺構、遺物は極めて少なく、旧石器および縄文時代に属するものは全く認められなかった。最も古い時期に属する遺物としては、弥生時代後期の自然河川(501-O R・926-O R)内から混入品として少量出土した弥生時代中期の土器である。しかしこの時期に相当する確実な遺構は認められなかった。ただ、I区において弥生時代後期の遺構面より約30cm下面から検出された土坑(923-O O)が、後期以前に位置付けることができるが、出土遺物が少なく明確な時期を決定するには至っていない。現段階において西大路遺跡の弥生時代中期以前の様相を知る資料はほとんどなく、今後の調査に委ねなければならない。

弥生時代後期になると遺跡の様相も一変し、人間の生活の痕跡も活発に見られるようになる。集落が出現して古墳時代前期に廃絶するまでの間をI～V期に区分できる。

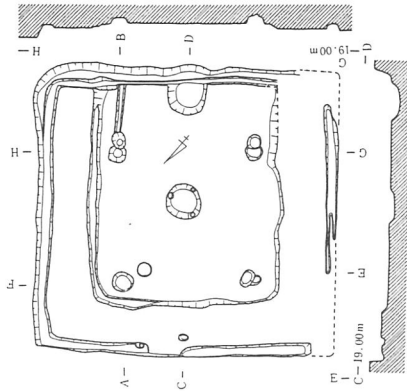
I期 IV区の北東部に大型の円形プランをもつ竪穴住居(919-O D)が出現する。住居形態はほぼ中央に円形の深い土坑状の炉をもち、その回りに堤を巡らすもので、このような炉の形態は従来は和歌山県内に検出例が多い<sup>2</sup>とされていたが、近年の調査では兒子池東遺跡<sup>3</sup>(岸和田市)や滑瀬遺跡<sup>4</sup>(泉南市)等泉南地域にも類例が増加しつつある。919-O Dの立地条件を見ると、幅10m程度の舌状の細長くのびるやや小高い所に選地している。環境的にも非常に不安定であったと思われるし、集落全体としても小規模なものが想定される。

この時期の土器は、919-OD出土ののを見ると、量的には少ないが壺・甕・高杯がそろっている。壺は拡張した口縁端部に擬凹線文を施す広口壺と長頸壺がある。高杯は大型で内湾しながら立ち上がる杯部下半からやや屈曲して直線的に短くのびる口縁部が付く。脚柱部は中空で、杯部との接合部は円盤充填法による。

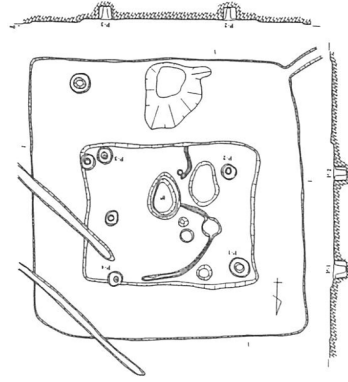
II期 I区の北西の土坑(521-OO)とIV区の北西に自然河川(926-OR)がある。926-OR上層の平安時代後期の建物群が遺構保存されたために、平面的なプランは把握できなかったが、トレンチ調査によって川幅、深さと遺物を確認している。この時期の遺物は壺は広口壺の中に頸部を直立させるものが出現する。長頸壺も存在する。高杯は口縁部がI期に比べて外反する傾向を示し、杯部の段が明瞭になる。さらに量的には少ないが、椀型の杯部を持つ高杯が認められる。

III期 I区の東端とIII区西北端に竪穴住居(506・1375-OD)、III区の土坑1385-OOとII区からIII区の東部にかけてのびる自然河川(922-OR)がある。竪穴住居は方形プランを持ち一辺4m程度である。2棟共他の遺構にきられており、住居の構造等不明な点が多いが、どちらも壁際に不定形に近い長方形をした貯蔵穴をもつ。この時期の遺物は、壺は926-OR出土ののを見ると、いわゆる「二重口縁」と呼ばれる器形が出現する。また、広口壺の中に体部と頸部の接点部分に断面が「三角形」の凸帯をめぐらせるものが認められる。文様は円形浮文を施したものが目立つ。長頸壺は量的にはやや減少する傾向にあるが、まだ存在する。高杯は全体に小型化の傾向が認められる。杯部の段がより明瞭になり、杯部の屈曲部から上方の外反度がさらに進む。遺物から見たこの時期の大きな特徴としては今までの器種構成に製塩土器が加わることである。製塩土器は上部の形態は不明であるが、脚台はほぼ直線的に下って外側に開く、比較的高いものである。

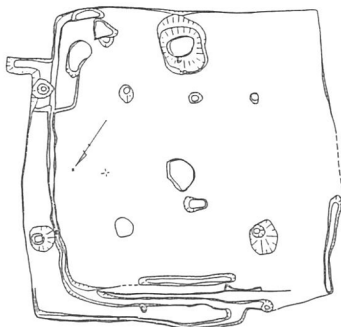
IV期 今回の発掘調査の中で遺構、遺物共に最も豊富な時期である。遺構の検出状況はI区とIII区にまとまっており、竪穴住居(1368・1384・1370-OD)、土坑(507・1372・1379・1364-OO)、土器溜(533-OX)等がある。竪穴住居は方形プランの中では最も大型で、一辺の長さが6m程度である。住居の構造はいわゆる「ベッド」付きの住居と呼ばれるもので、住居の二方あるいは三方を一段高くし、幅1m、高さ10cm程度のテラス状にしている。テラスの設置されない一方には貯蔵穴が設けられている。炉は住居のほぼ中央にあり、円形を呈して浅い。この形態を持つ竪穴住居の類例は泉州地域においても数例確認されている。府中遺跡<sup>5</sup>、和気遺跡<sup>6</sup>(和泉市)、豊中遺跡<sup>7</sup>、古池北遺跡<sup>8</sup>(泉大津市)が西大路遺跡の近隣で検出されている例である。1368-ODは焼失家屋であるために住居の内部



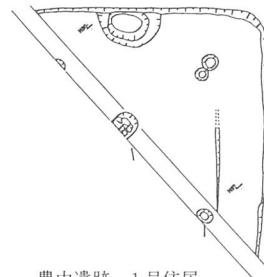
府中遺跡 1号住居



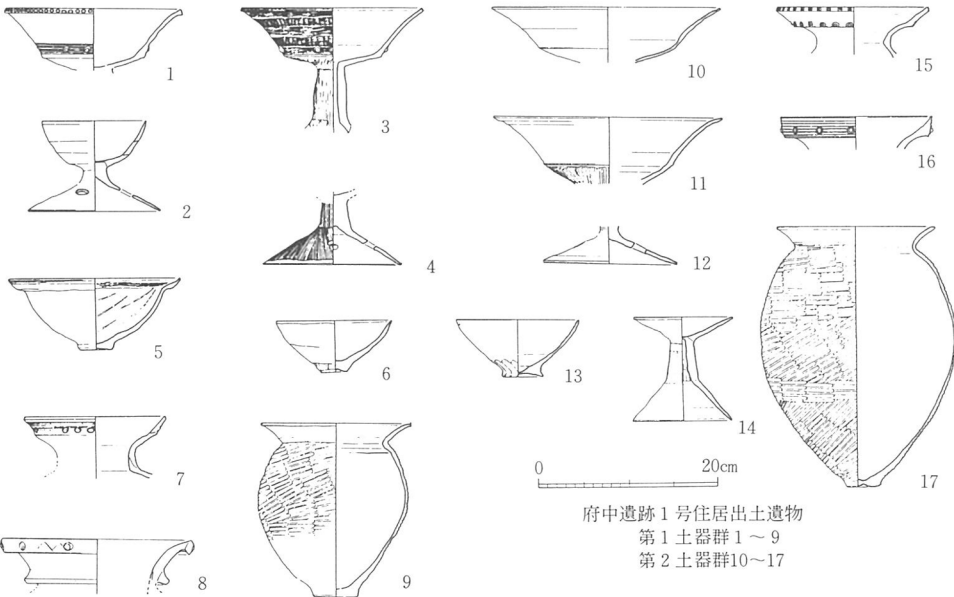
和気遺跡第ⅢM調査区SBK-01



古池北遺跡 1号住居



豊中遺跡 1号住居



府中遺跡 1号住居出土遺物  
第1土器群 1~9  
第2土器群 10~17

第114図 「ベッド」付き竪穴住居集成図<sup>9</sup>

構造は正確には把握できなかったが、南西部分が一段高くテラスを付していたと考えられる。この時期の遺物としては、約300点以上にのぼる土器を一括出土した533-O Xおよび竪穴住居出土品を中心に見る。壺は「二重口縁」形が主流となり、文様は円形浮文を施す。Ⅲ期まで存在した長頸壺は出土していない。高杯は、杯部の形態が段を持つものと椀型を呈するものが3：1程度の割合で混在する。前者の口縁部の外反度はさらに増し長くなる。脚部の形態は両者とも裾が大きく広がり、杯部の口縁部より外へ広がるものもある。また、1370-OD出土の中に小型の高杯が2点認められる。甕の形態はⅠ期からほとんど目立った変化を示さないが、この時期になると大きさに大・中・小と大きく3グループに分れる。製塩土器はⅢ期の脚台に比べると低いものが増える傾向にある。鉢は形態的に甕の下半部と区別のつかないものが533-O Xでは主流であるが、1370-ODでは丸底を呈するものが2点含まれる。1370-ODの土器はⅣ期の中でやや新しい様相を示す一群かもしれない。今回の発掘調査で出土した土器の中には「上田町Ⅱ式」の甕および「小型三種」の土器群は1点も認められなかった。したがって、確実な「庄内式」として捉えることができる土器群を決定できない。最も変化の著しい器種である高杯の形態と「ベッド」付き竪穴住居が限定された短期間だけに存在する傾向があること等からⅣ期を「庄内式」の併行期として考えたい。

V期 Ⅲ区西端の竪穴住居(1367-OD)とⅢ区からⅣ区にかけて見られる自然河川(1360-OR)と河川内部に設けられた水利施設(925-OI)さらにこれから派生する溝(503-OS)がある。竪穴住居は今回の調査で検出された中で最も小型である。住居の構造も中央に不定形のごく浅い炉が認められる以外は、貯蔵穴もない。この時期の遺物は量的には少ないが、甕は「布留式」と平底で外面に粗いタタキ目を残す前段階まで主流であったものが混在する。V期をもって西大路遺跡は一旦断絶期をむかえる。

古墳時代前期に集落が廃絶してからは、V区に奈良時代の自然河川(1647-OR)が見られる以外は、少量の遺物が中世の包含層に混じって出土している程度である。

次に集落としての新たな様相を見せ始めるのは、平安時代後期以降である。Ⅳ区一帯に5棟の掘立柱建物と多数のピットが検出されている。この集落は柱穴からの出土遺物の極めて少ないのに加えて、付近一帯は後世の削平が著しく遺構面の上部にあるべき包含層も認められなかった。しかし建物と建物の間には重複関係があること、建物にはまとまらないが多数のピットがあること、建物に付随する井戸等の施設が見られないことから集落の範囲はさらに調査区外に広がる可能性があること等から、ある程度の時期幅をもって存

続していたと考えられる。また、建物の方位が現在わずかに残る付近の条里区画とほぼ一致する。建物が条里の方向に規制されたとすれば、この地域の条里が平安時代後期まで遡ると言える。

中世になるとV区に再び集落が出現する。建物、井戸、土坑とこれらの施設を取り囲む溝が検出されている。建物は2棟であるが他にも多数のピットがあること、機能していたと考えられる井戸が時期を異にして6基あること、建物および付随する施設を囲む溝が位置を少しずつ変えて3条あることを総合すると、集落の存続時期を4時期に区分できる。

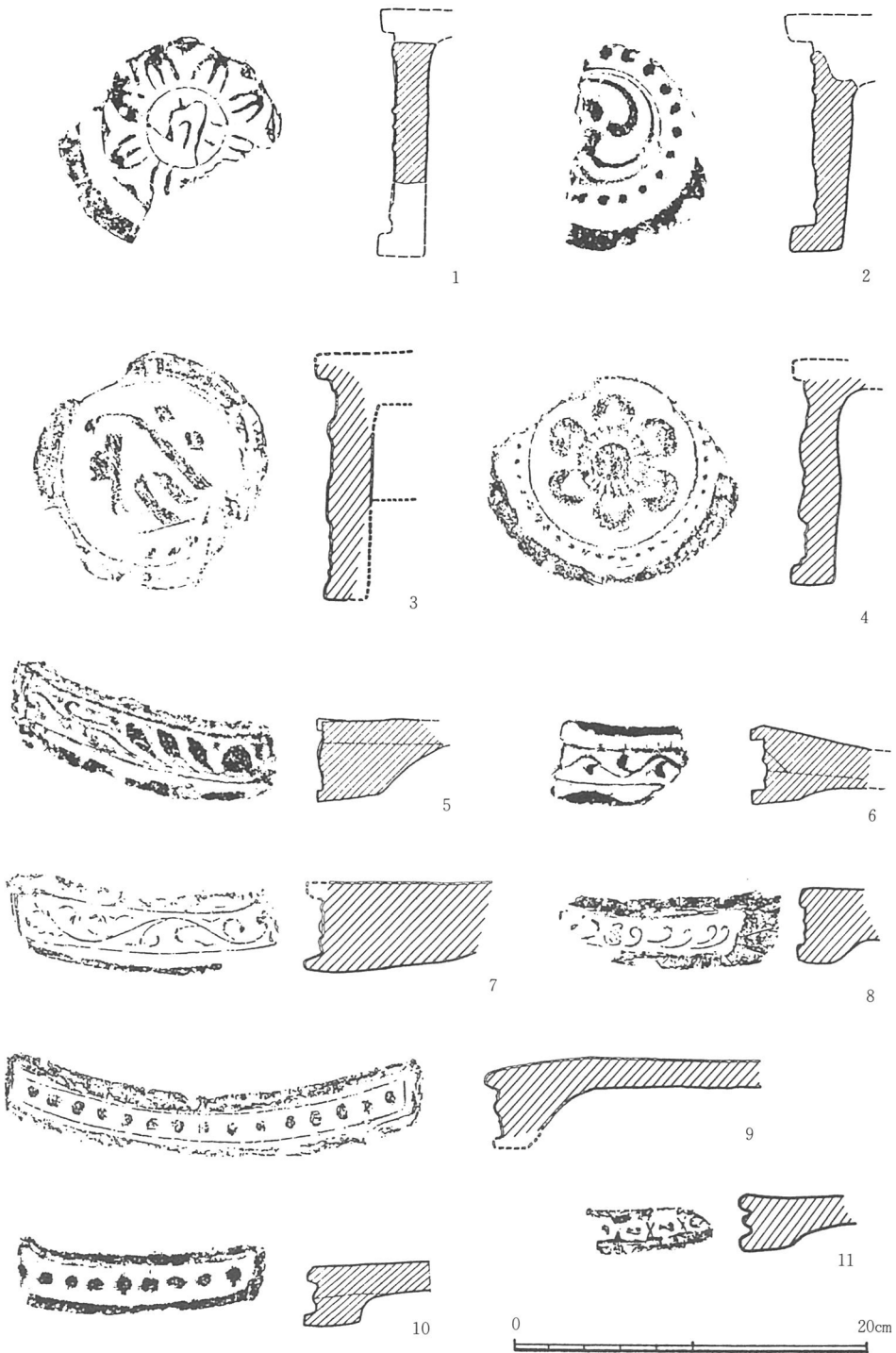
I期 建物(1273・1369-O B)、井戸(1148・1221・1236-OW)、土坑(1214・1150-O O)、溝(1041・1216・1219-O S<sup>10</sup>)等の遺構がある。V区は先にも述べたように、古墳時代と奈良時代の自然河川が下層にあり不安定な場所であるために、まず整地を行なっている。沼状遺構が埋められたのもこの整地作業の一環であろう。したがって集落は出現段階において、まず整地作業を行なったうえで、2棟の建物(主屋、副屋)、井戸、これらを取り囲む区画溝が、備わっていたと考えられる。13世紀中頃。

II期 主屋(1273-O B)はI期のまま存続していたと思われるが、副屋(1369-O B)はこの時期に相当する井戸(1151-OW)にきられていることから、すでに消滅しているか別の建物に建て替えられていると思われる。区画溝は1012-O Sに掘り替えられている。土坑は1160-O Oがある。13世紀後半。

III期 建物、区画溝の存在は不明であるが、井戸(1251-OW)、土坑(1014・1149-O O)が新しく出現する。14世紀初頭。

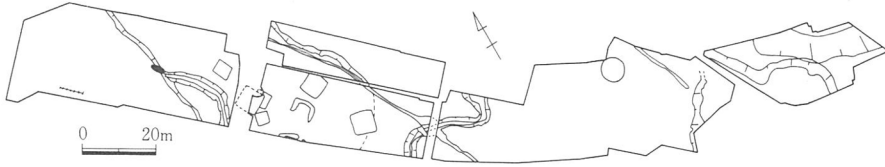
IV期 区画溝(1013-O S)は新しく掘り替えられる。土坑(1200-O O)がある。これらの遺構はI～II期の主屋に接する位置にあることから、この時期には主屋、副屋とも立て替えられていたことは確実である。14世紀中頃。

最後に、IV区およびV区の集落と牛滝川を挟んで隣接する今木廃寺との関係について若干触れておく。今木廃寺は、かつて玉谷哲氏が瓦等の遺物を今木菅原神社内で採集したことによって存在を伝えられるようになった。以後、岸和田市教育委員会<sup>12</sup>と大阪府教育委員会<sup>13</sup>および当協会<sup>14</sup>によって発掘調査がなされたが、遺物や遺構から寺の存在は明らかにされつつあるものの、実体を明らかにするには至っていない。しかし、大阪府教育委員会の調査によると、寺の存続期間は「12世紀後半に建立され・・・14世紀末に突然廃絶してしまう」<sup>15</sup>とされている。この期間は西大路遺跡で検出された集落の時期ともほぼ合致し、今木廃寺と密接にかかわっていた可能性を指摘できる。

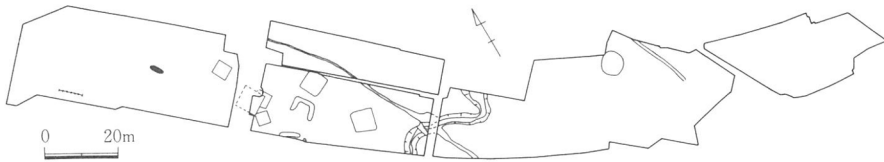


第115図 今木廃寺遺物図

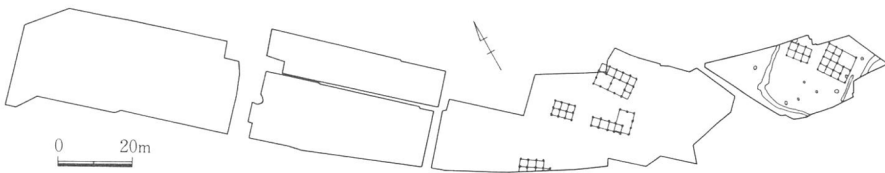




第116図 遺構変遷図 1



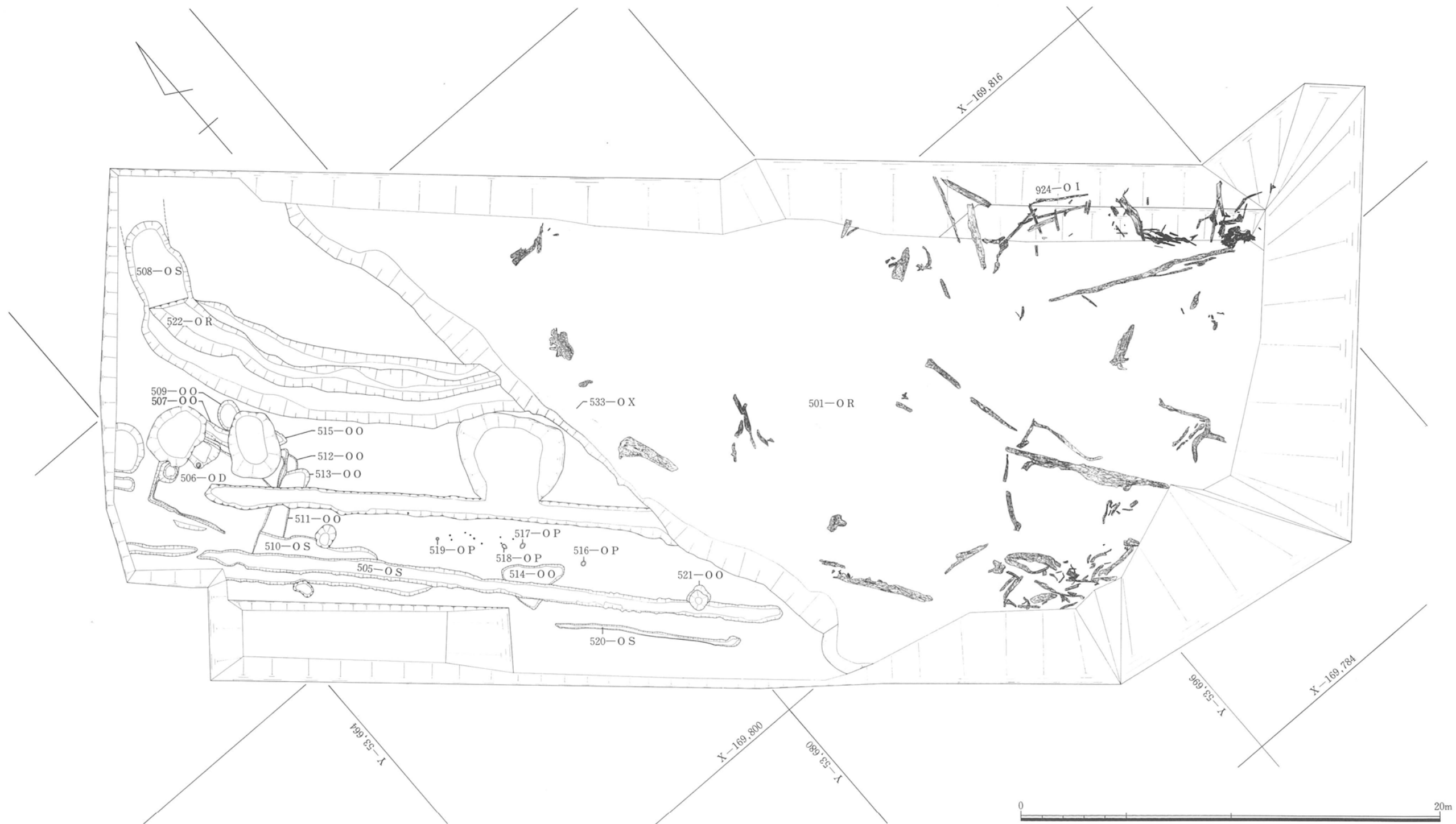
第117図 遺構変遷図 2



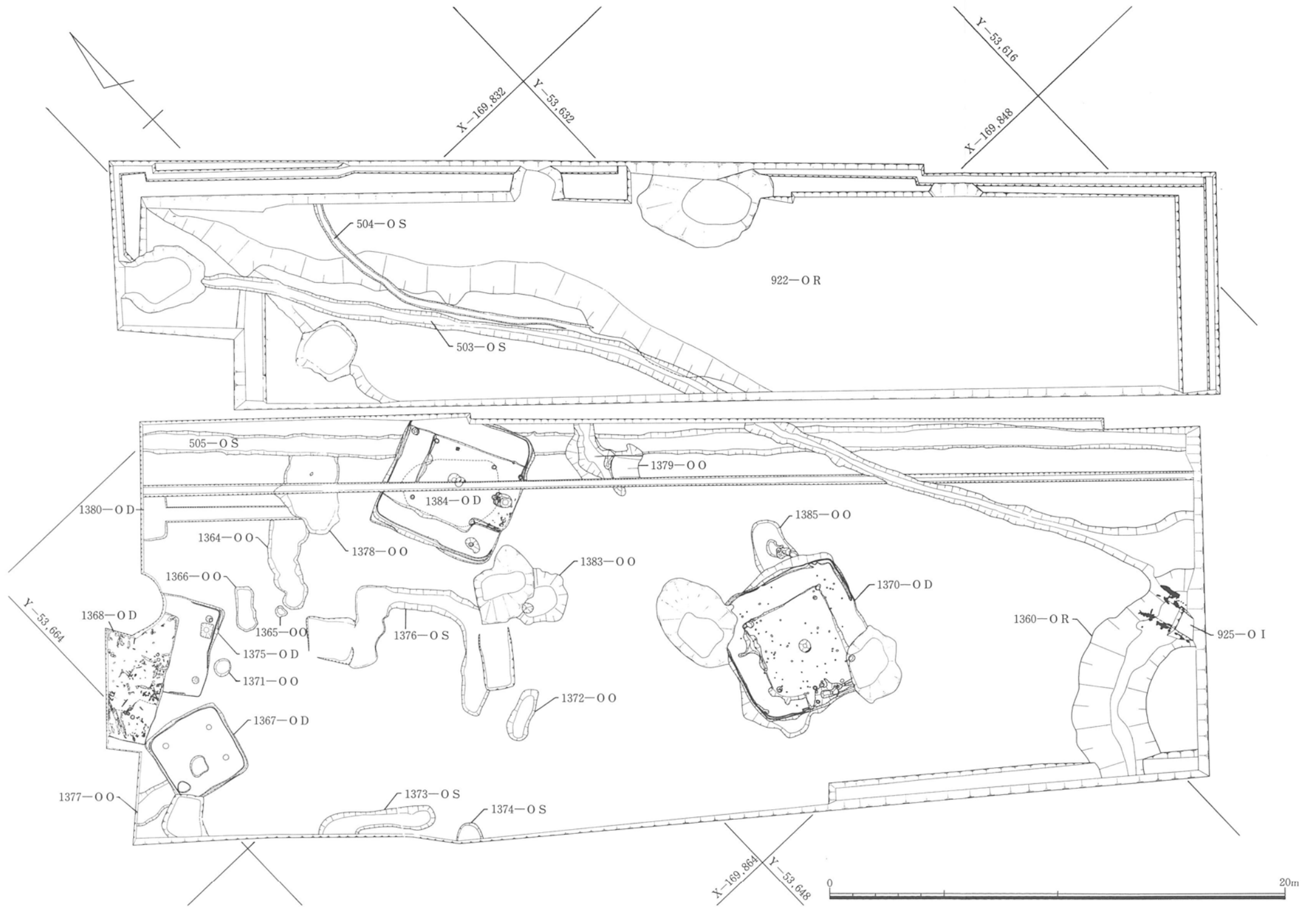
第118図 遺構変遷図 3

- 註1 大阪府教育委員会『今木廃寺跡発掘調査概要』1985・3
- 2 本協会富加見泰彦技師の御教示による。
- 3 大阪府教育委員会藤永正明技師の御教示による。
- 4 大阪府教育委員会・(財)大阪府埋蔵文化財協会『滑瀬遺跡』一発掘調査報告書一 1987
- 5 和泉市教育委員会『府中遺跡発掘調査概要・II』1978・3
- 6 大阪府教育委員会『和気遺跡発掘調査概要報告書』1985・3
- 7 豊中・古池遺跡調査会『豊中・古池遺跡発掘調査概報』そのIII 1976・3
- 8 大阪府教育委員会『古池北遺跡調査概要』1974
- 9 ここに掲載した竪穴住居のうち、府中遺跡例は和泉市教育委員会『府中遺跡発掘調査概要・II』〔図版四 1号住居〕1978から、和気遺跡例は大阪府教育委員会『和気遺跡発掘調査概要報告書』〔第19図 第III (M) 調査区S B K-01平・断面図〕1985から、古池北遺跡例は大阪府教育委員会『古池北遺跡調査概要』〔図版十一 1号住居址〕1974から、豊中遺跡例は豊中・古池遺跡調査会『豊中・古池遺跡そのIII』〔図版一五 1号・2号住居址遺構〕1976からそれぞれ抜粋引用したものである。遺物については和泉市教育委員会『府中遺跡発掘調査概要・II』〔図版六～九〕1978から抜粋引用したものである。なお遺物番号については新たに通し番号を付した。
- 10 1216・1219-O S出土遺物に時期幅が認められ、他の区画溝に比べて溝幅も広いことから3時期の溝が重複していると考えられる。
- 11 岸和田市『市内出土遺物図録』玉谷哲所蔵資料 1976
- 12 岸和田市教育委員会『岸和田市文化財調査概要 8・昭和57年度発掘調査概要』
- 13 大阪府教育委員会『今木廃寺跡発掘調査概要』1985・3
- 14 (財)大阪府埋蔵文化財協会『西大路遺跡・今木廃寺遺跡』一発掘調査事業報告書一 1985
- 15 大阪府教育委員会『今木廃寺跡発掘調査概要』〔第4章 まとめ〕1985・3
- 16 ここに掲載した遺物は、1、2、5、6、10については、岸和田市教育委員会『岸和田市文化財調査概要 8・昭和57年度発掘調査概要』〔第4図 出土遺物実測図〕から、3、4については、大阪府教育委員会『今木廃寺跡発掘調査概要』〔図版六 出土軒丸瓦実測図〕1985から、7、8、9、11については、同書〔図版七 出土軒平瓦・鬼瓦・埴実測図〕からそれぞれ抜粋引用したものである。なお遺物番号については新たに通し番号を付した。

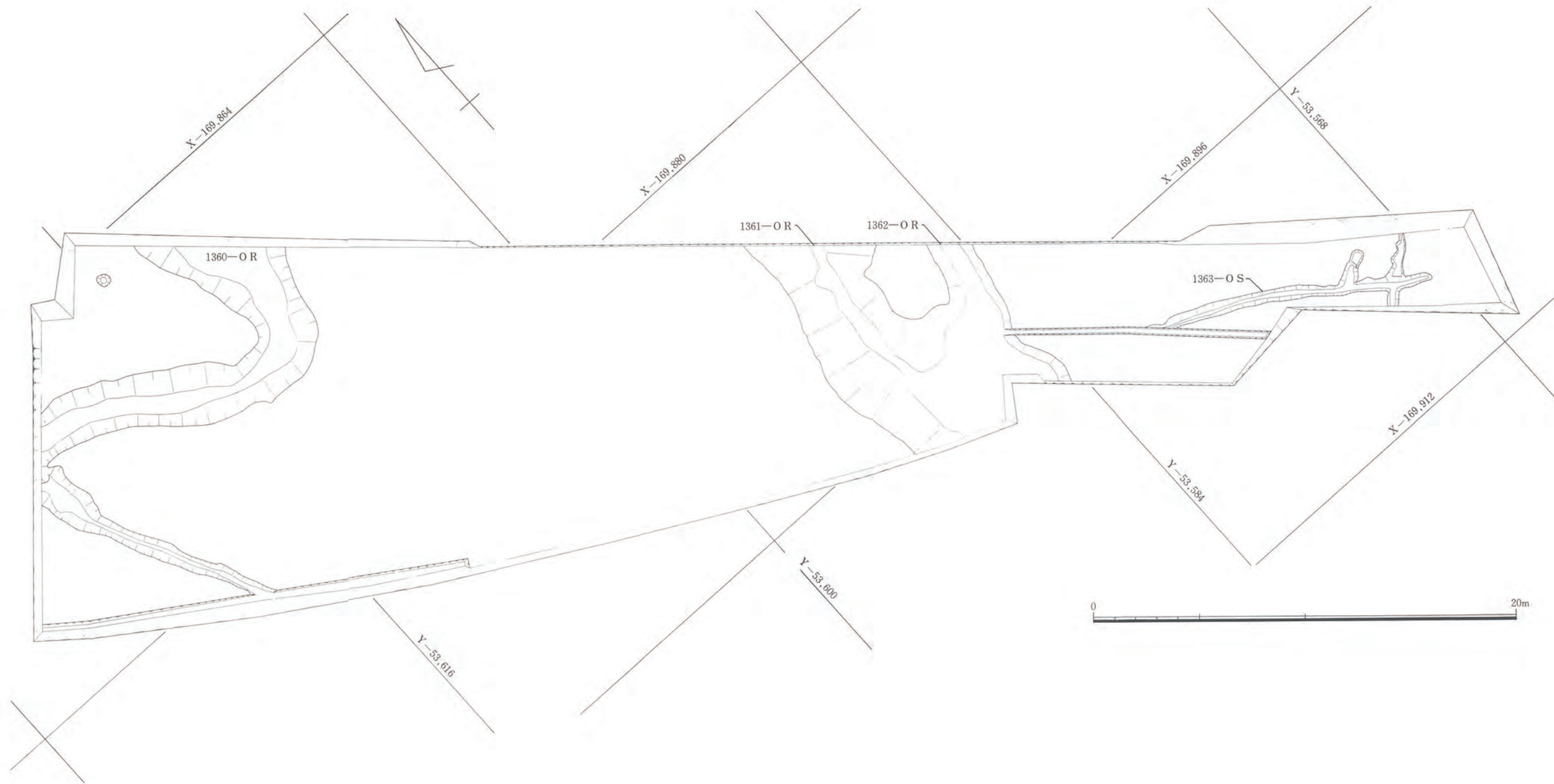




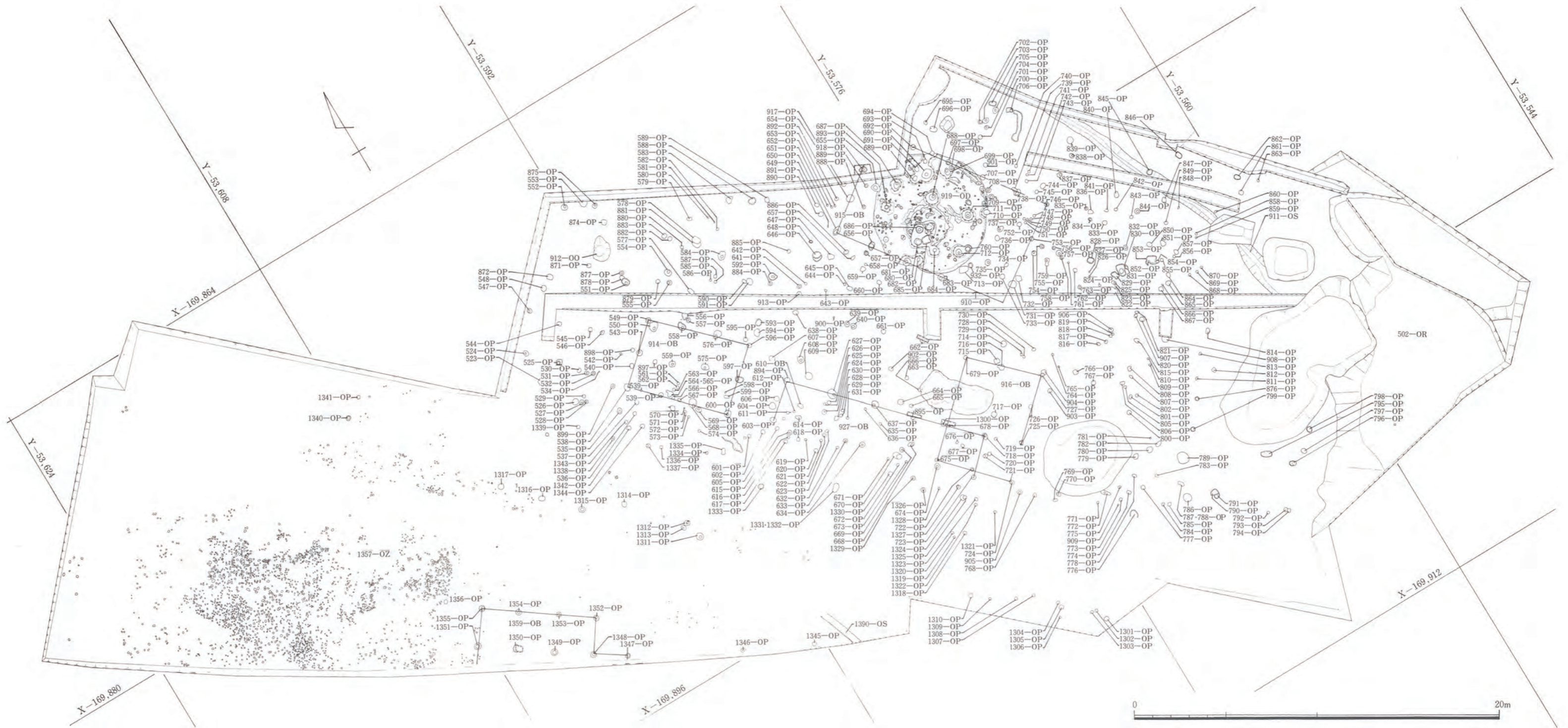
第119図 遺構全体図1 (I区、1/200)



第120図 遺構全体図2 (Ⅱ・Ⅲ区、1/200)



第121図 遺構全体図3 (IV区南部下層、1/200)



第122図 遺構全体図4 (IV区、1/200)